

浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-00	表紙・図面リスト	A-05	矩計図-1	S-01	構造設計標準仕様	E-01	特記仕様書(1)	M-01	機械設備 特記仕様書1
A-特01	改修特記仕様書(その1)	A-06	矩計図-2	S-02	新鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	E-02	特記仕様書(2)	M-02	機械設備 特記仕様書2
A-特02	改修特記仕様書(その2)	A-07	平面詳細図-1(教室7→配膳室)	S-03	新鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	E-03	配置図・案内図	M-03	配置図・案内図・凡例
A-特03	改修特記仕様書(その3)	A-08	平面詳細図-2(理科室→普通教室)	S-04	新鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)	E-04	1階電灯分岐設備図	M-04	機械設備 1階平面図
A-特04	改修特記仕様書(その4)	A-09	展開図-1	S-05	鉄骨構造標準図(1)	E-05	1階コンセント分岐設備図	M-05	給排水衛生設備 平面詳細図1
A-特05	改修特記仕様書(その5)	A-10	展開図-2	S-06	鉄骨構造標準図(2)	E-06	(配膳室部)改修前後1階電灯分岐設備図 (太陽光回路部)	M-06	給排水衛生設備 平面詳細図2
A-特06	改修特記仕様書(その6)	A-11	天井伏図-1	S-07	ISベース設計施工標準図(1)	E-07	照明器具姿図・電灯分電盤結線図	M-07	空調和設備・換気設備 平面詳細図
A-特07	改修特記仕様書(その7)	A-12	天井伏図-2	S-08	ISベース設計施工標準図(2)	E-08	1階動力設備図		
A-特08	改修特記仕様書(その8)	A-13	建具表-1	S-09	杭伏図・基礎伏図・柱型・地中梁リスト・基礎リスト ・杭仕様・共通事項	E-09	動力盤単線結線図		
A-特09	改修特記仕様書(その9)	A-14	建具表-2	S-10	R階梁伏図・軸組図・部材リスト・鉄骨詳細図 ・断面リスト	E-10	1階構内交換設備図		
A-特10	改修特記仕様書(その10)	A-15	家具伏図	S-11	仕口要領図	E-11	(配膳室部)改修後1階拡声・誘導支援設備図		
A-特11	改修特記仕様書(その11)	A-16	家具図-1			E-12	(普通教室改修前後)1階拡声・誘導支援 ・テレビ共同受信設備図		
A-特12	改修特記仕様書(その12)	A-17	家具図-2			E-13	1階自動火災報知設備図		
A-01	案内図・配置図・工事概要	A-18	家具図-3						
A-02	平面図	A-19	家具図-4(撤去図)						
A-03	仕上表	A-20	外構図						
A-04	立面図								

株式会社 川島隆太郎建築事務所

[illegible]

2

仮設工事

騒音・粉じん等の対策

足場等

防音パネル

防音シート

防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲

図示による

「手すり先行工法等に関するガイドライン」について
(厚生労働省 令和5年12月26日)の「(別紙)手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。

外部足場

設置する
(設置範囲)

工事に必要な範囲

図示による

設置しない

防護シート

設置する
(設置範囲)

工事に必要な範囲

図示による

設置しない

内部足場

設置する
(※脚立、足場板等)

設置しない

材料、撤去材等の運搬方法

種類(・A種・B種・C種・D種・E種)

C種: 利用可能なエレベーター
(・図示による)

D種: 利用可能な階段
(・図示による)

既存部分の養生

養生方法等

既存部分

養生方法(※ビニルシート、合板)

既存家具、既存設備等

養生方法(※ビニルシート等)

既存ブラインド、カーテン等

養生方法(・ビニルシート等)

保管場所(・図示による)

固定された備品、机、ロッカー等の移動

図示による

既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

仮設間仕切り

仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所

図示による

仮設間仕切りの種別と材質等

種別

仕上げ(厚さmm)

塗装

充填材

A種

せこうボード

種類(・)

厚さ(・mm ※9.5mm)

無し

片面

合板

材質

厚さ(・mm ※9mm)

B種

C種

防煙シート

仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質

仕上げ

塗装

設置箇所

※木製

※合板張り程度

無し

か所

片面

図示による

3

防水改修工事

施工数量調査

調査範囲

図示による

調査方法

図示による

既存部分の破壊を行った場合の補修方法

図示による

調査報告書(提出部数・2部)

降雨等に対する養生方法(とい共)

既存防水の処理

既存保護層の撤去

行う(範囲・図示による)

行わない

既存防水層の撤去

行う(範囲・図示による)

行わない

既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去

行う(・M4AS・M4ASI・M4C・M4DI・L4X)

行わない

既存下地の処理

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等

図示による

POS工法及びPPOS工法(機械的固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理

※改修標準仕様書3.2.6(4)(イ)(g)①～③による

設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理

※監督職員と協議する

図示による

アスファルト防水

新設防水層(屋根保護絶縁工法)の種別

改修工法

新設種別

施工箇所

断熱材

絶縁用シート

P2A

A-1

A-2

A-3

P1B

B-1

B-2

P2AI

AI-1

AI-2

AI-3

P1BI

BI-1

BI-2

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.3.3～表3.3.6による

JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分

※R種

厚さ()mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.4による

JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分

※R種

厚さ()mm以上

平場の保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ

※水下

80mm以上

床タイル張り

※水下

60mm以上

立上り部の保護方法

乾式保護材(品質・性能、試験方法は別表による)

窯業系パネルI類(厚さ()mm 幅()mm)

れんが押え(※JIS R 1250)

コンクリート押え

モルタル押え(屋内)

新設防水層(屋根露出工法)の種別

改修工法

新設種別

施工箇所

断熱材

仕上塗料

種類

使用量

高日射反射率防水

備考

M4C

C-1

C-2

C-3

C-4

アスファルトルーフィング類の製造所の仕様

アスファルトルーフィング類の製造所の仕様

適用する

M3D

D-1

POD

D-2

適用する

脱気装置

設ける

設けない

改修用ドレン

設ける

設けない

PODI

DI-1

M3DI

DI-2

M4DI

改修標準仕様書3.3.2(9)(種類)

(厚さ)(mm)

適用する

脱気装置

設ける

設けない

改修用ドレン

設ける

設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.3.7～表3.3.9による

JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分

※R種

厚さ()mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による

JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分

※R種

厚さ()mm以上

絶縁断熱工法のルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置

※図示による

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

種類

※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

設置数量

※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

(個)

屋内防水

防水層の種別

改修工法

種別

施工箇所

PIE

E-1

P2E

E-2

保護層

設ける(※図示による)

設けない

E-1の工程3を行う部位

※貯水槽、浴室等常時水に接する部位

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法

※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度

屋上排水溝

図示による

改質アスファルトシート防水

新設防水層(屋根露出防水)の種別

改修工法

新設種別

施工箇所

断熱材

仕上塗料

種類

使用量

高日射反射率防水

備考

M4AS

AS-T1

AS-T2

AS-J2

改質アスファルトシート類の製造所の仕様

改質アスファルトシート類の製造所の仕様

適用する

M3AS

AS-T3

AS-T4

AS-J1

適用する

脱気装置

設ける

設けない

改修用ドレン

設ける

設けない

POAS

AS-T3

AS-T4

AS-J1

AS-J3

適用する

脱気装置

設ける

設けない

改修用ドレン

設ける

設けない

M3ASI

ASI-T1

M4ASI

POASI

改修標準仕様書3.4.2(3)(種類)

(厚さ)(mm)

適用する

脱気装置

設ける

設けない

改修用ドレン

設ける

設けない

防湿層

設ける

設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分

※R種

厚さ()mm以上

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分

※R種

厚さ()mm以上

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分

※R種

厚さ()mm以上

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法

※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

種類

※改質アスファルトシート類の製造所の指定

設置数量

※改質アスファルトシート類の製造所の指定

(個)

絶縁断熱工法の防湿用シート

設置する

設置しない

NOTE

青森県第2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島 芳正

青森県

(工事名) 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事

改修特記仕様書(その2)

A-特02

※

※

[illegible]

5	建具 改修 工事	改修工法	[5.1.3] [5.1.6]	網戸等	[5.2.3、5.3.3]	鋼製軽量建具	[5.2.2] [5.5.2～4]	木製建具	[5.7.2～4]																															
		<table><tr><td>既存建具の種類</td><td>かぶせ工法</td><td>撤去工法</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>アルミニウム製建具</td><td>・</td><td>○</td><td>建具表による</td></tr><tr><td>樹脂製建具</td><td></td><td>・</td><td>建具表による</td></tr><tr><td>鋼製建具</td><td>・外部</td><td>・</td><td>建具表による</td></tr><tr><td></td><td>・内部</td><td>・</td><td>建具表による</td></tr><tr><td>鋼製軽量建具</td><td>・</td><td>・</td><td>建具表による</td></tr><tr><td>ステンレス製建具</td><td>○</td><td>・</td><td>建具表による</td></tr><tr><td>木製建具</td><td></td><td>○</td><td>建具表による</td></tr></table>			既存建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	アルミニウム製建具	・	○	建具表による	樹脂製建具		・	建具表による	鋼製建具	・外部	・	建具表による		・内部	・	建具表による	鋼製軽量建具	・	・	建具表による	ステンレス製建具	○	・	建具表による	木製建具		○	建具表による	樹脂製建具	性能値等 耐風圧性の等級（ ） 気密性の等級（ ） 水密性の等級（ ） 外部に面する建具の種類 ・A種（建具符号 建具表による ） ・B種（建具符号 建具表による ） ・C種（建具符号 建具表による ） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・T-1 T-2 ） （建具符号 建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ ☐ 断熱性の等級（・H-4 H-5 H-6 H-7 H-8 ） （建具符号 建具表による ） 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 枠の見込み寸法 建具表による 。	性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する（建具符号 建具表による ） ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ ☐ 断熱性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による	性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する（建具符号 建具表による ） ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ ☐ 断熱性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
		既存建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																			
		アルミニウム製建具	・	○	建具表による																																			
		樹脂製建具		・	建具表による																																			
鋼製建具	・外部	・	建具表による																																					
	・内部	・	建具表による																																					
鋼製軽量建具	・	・	建具表による																																					
ステンレス製建具	○	・	建具表による																																					
木製建具		○	建具表による																																					
防火戸	新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示による 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示による 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。 ・再使用（ ・ブラインドボックス ） ・指定する [5.1.4] 適用箇所（ ・建具表による ） ・指定しない 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・連動させる 適用箇所（ ・建具表による ） ・連動させない	鋼製建具	性能値等 耐風圧性の等級（ ） 気密性の等級（ ） 水密性の等級（ ） 外部に面する建具の種類 ・A種（建具符号 建具表による ） ・B種（建具符号 建具表による ） ・C種（建具符号 建具表による ） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・T-1 T-2 ） （建具符号 建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ ☐ 断熱性の等級（・H-4 H-5 H-6 H-7 H-8 ） （建具符号 建具表による ） 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 枠の見込み寸法 建具表による 。	性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する（建具符号 建具表による ） ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ ☐ 断熱性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による	性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する（建具符号 建具表による ） ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ ☐ 断熱性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による																																			
見本の製作等	建具見本の製作 行う（建具符号： ） 行わない 建具見本製作の目的等：（ ） 特殊な建具の仮組 行う（建具符号： ） 行わない	鋼製建具	性能値等 耐風圧性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 気密性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 水密性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 外部に面する建具の種類 ・A種（建具符号 建具表による ） ・B種（建具符号 建具表による ） ・C種（建具符号 建具表による ） 枠の見込み寸法 ○建具表による 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ ☐ 断熱性の等級（ ） （建具符号 建具表による ）	性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する（建具符号 建具表による ） ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ ☐ 断熱性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による	性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する（建具符号 建具表による ） ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ ☐ 断熱性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による																																			
防犯建物部品	適用する ○建具表による [5.1.7] 適用しない	鋼製建具	性能値等 耐風圧性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 気密性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 水密性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 外部に面する建具の種類 ・A種（建具符号 建具表による ） ・B種（建具符号 建具表による ） ・C種（建具符号 建具表による ） 枠の見込み寸法 ○建具表による 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ ☐ 断熱性の等級（ ） （建具符号 建具表による ）	性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する（建具符号 建具表による ） ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ ☐ 断熱性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による	性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する（建具符号 建具表による ） ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ ☐ 断熱性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による																																			
アルミニウム製建具	性能値等 [5.2.2～5] [表 5.2.2] 耐風圧性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 気密性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 水密性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 外部に面する建具の種類 ・A種（建具符号 建具表による ） ・B種（建具符号 建具表による ） ・C種（建具符号 建具表による ） 枠の見込み寸法 ○建具表による 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ ☐ 断熱性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種別（改修標準仕様書 表5.2.2） ・BB-1種 ・BB-2種（着色： ・標準色 ・特注色） 屋内の建具 種別（開封標準仕様書 表5.2.2） ○BC-1種 ・BC-2種 ・BC-2種（着色： ・標準色 ・特注色） 結露水の処理方法 ・水貯め式 ・排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による 。	鋼製建具	性能値等 耐風圧性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 気密性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 水密性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 外部に面する建具の種類 ・A種（建具符号 建具表による ） ・B種（建具符号 建具表による ） ・C種（建具符号 建具表による ） 枠の見込み寸法 ○建具表による 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ ☐ 断熱性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による	性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する（建具符号 建具表による ） ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ ☐ 断熱性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による	性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する（建具符号 建具表による ） ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 断熱ドア・断熱サッシ ☐ 断熱性の等級（ ） （建具符号 建具表による ） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による																																			
NOTE																																								
青森県第2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741) 6497 FAX 017(742) 1877		管理建築士 1級建築士登録113986号 川島 芳正		青森県																																				

●建具用金物	金物の種類及び見え掛り部の材質等 [5. 8. 1～3] ※改修標準仕様書 表5. 8. 1により適用は建具表による ・ 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書 表5. 8. 2による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書 表5. 8. 3による ・建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書 表5. 8. 4による ・建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※改修標準仕様書 表5. 8. 5による ・建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ○建具表による ・ ・シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠 (品質・性能、試験方法は別表による) ・クローザ類 (品質・性能、試験方法は別表による)	・自閉式上吊り 引戸装置	性能値等 [5. 10. 3] ※改修標準仕様書 表5. 10. 1 ・以下による 手動開き力 () 手動閉じ力 () 閉じ速度の調整 () 制動区間 () 開閉繰返し () 耐衝撃性 ()	●ガラス [3. 7][5. 14. 2～4] ○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による ・ ・型板ガラスの厚さによる種類 ・建具表による ○網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の 表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による ・ ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせ ガラスの合計厚さ及び特性による種類 ・建具表による 落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による 種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類 ○強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類、厚さの呼びに よる種類及び特性による種類 ○建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ○Ⅰ類 ・Ⅲ類 ・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ・建具表による 性能による種類 ・1種 ・2種 ・複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラス の厚さ ・建具表による 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ・G ・S 封入気体の種類 ・空気 ・アルゴン ・ ・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類 ・建具表による 日射熱遮蔽性による区分 ・1種 ・2種 ・3種 耐久性による区分 (日射熱遮蔽性による区分が2種の場合) ・A類 ・B類 ・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による ・ ガラスの留め材及び溝の大きさ	・ガラス端部の小口加工 対象箇所 ・建具表による ・図示による 仕上げの程度 ()
	マスターキー [5. 8. 4] ・製作する ○製作しない ・既存のマスターキーに合わせる 鍵の製作本数 ※各室3本1組 (室名札付き) 鍵箱 ・なし ・あり	○軽量シャッター [5. 12. 2～4] 開閉方式の種類 ※手動式 ○電動式 (手動併用) 耐風圧強度 (500) pa 安全装置 (電動シャッター) ・急降下停止装置 (設置箇所 ・建具表による) ※障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による) スラットの材質の種類 ○JIS G 3312 (塗装熔融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装熔融55%アルミニウムー亜鉛合金 めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※AZ90) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形	●ガラス用 フィルム	壁用金属枠及び補強材 ※図示による 力骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 ※径5. 5mm 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 (・白 ・グレー) シーリングの種類 (・SR-1 ・PS-1) 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ※図示による 形状 ※図示による 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示による ・ 工法 1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1. 15 ・1. 3) 倍の風圧力に対応した工法	
	戸の開閉方式 [5. 9. 2、3] ・建具表による ・引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書 表5. 9. 1 (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 種類・開閉方式 () 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () ・車椅子使用者用便房出入り口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書 表5. 9. 2 (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () ・引き戸用検出装置 性能値 ※改修標準仕様書 表5. 9. 3 (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 耐電圧 () 防錆 () 防滴 () 電源 () 引き戸用検出装置の種類 (改修標準仕様書 表5. 9. 4) ・建具表による ・ タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房用操作スイッチの種類 ・大形押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ 凍結防止措置 ・行う ・行わない	○オーバーヘッド ドア [5. 13. 2、3] セクション材料による区分風圧力による強さの区分開閉方式による区分収納形式による区分ガイドレールの材料 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラス タイプ ・50 ・75 ・100 ・125 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バネ付形 ※熔融亜鉛 めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による)	・ガラスブロック 積み [5. 14. 5] 呼び寸法 (mm)厚さ (mm)色調目地幅 (mm)伸縮調整目地位置 (mm)防火性能 ・160×160 ・95 ・200×200 ・95	品質は、JIS A 5759Iによる。	
	NOT E				

青森県第2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	管理建築士 1級建築士登録113986号 川島 芳正	青森県	(工事名) 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事	A-特07
			改修特記仕様書 (その7)	

6

内装改修工事

改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま
・図示による

既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の除去
※仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示による 除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法
・機械的除去工法
・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、改修標準仕様書 4章 外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲
※図示による

既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り（全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による）
・

木下地等の表面仕上げ

見え掛り面の表面仕上げの程度
※ブレーナー加工仕上げ
適用部材（部位）（ ）
・超自動機械かんな掛け仕上げ
適用部材（部位）（ ）
・サンダー掛け仕上げ
適用部材（部位）（ ）

木材の施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.5.2(1)(ウ)による
・

製材

・JAS 1083-5 に基づく下地用製材
施工箇所 樹種名 等級 (材面の品質) 寸法 (mm) 含水率 保存処理
壁 赤松 ※2級 ※A種 ・B種 ・
※2級 ※A種 ・B種 ・
・JAS 1083-2 に基づく造作用製材
施工箇所 樹種名 等級 (材面の品質) 寸法 (mm) 含水率 保存処理
見え掛り面 ※上小節 ※A種 ・B種 ・
見え掛り面以外 ※小節以上 ※A種 ・B種 ・
・JAS 1083-6 に基づく広葉樹製材
施工箇所 樹種名 等級 (材面の品質) 寸法 (mm) 含水率 保存処理
※1等 ※10%以下 ・A種 ・B種 ・
※1等 ※10%以下 ・A種 ・B種 ・
・JAS 1083（製材）以外の製材
施工箇所 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理の適用 含水率
（ ） ・適用する ※A種
造作材の場合（※A種 ・B種） ・適用しない ・B種
（ ） ・適用する ※A種
造作材の場合（※A種 ・B種） ・適用しない ・B種
・

造作用集成材

・JAS 1152 に基づく造作用集成材
施工箇所 品名 樹種名 見付け材面 (面数) 寸法 (mm) 見付け材面の品質
※1等
・2等
※1等
・2等
・JAS 1152 に基づく化粧ばり造作用集成材
施工箇所 品名 材種名 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面 (面数) 寸法 (mm) 見付け材面の品質
化粧薄板：
芯材： ※1等
・2等
化粧薄板：
芯材： ※1等
・2等
・JAS 1152 以外の造作用集成材
施工箇所 材種名 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率
※15%以下
・
※15%以下
・
・JAS 1152 以外の化粧ばり造作用集成材
施工箇所 材種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質 含水率
化粧薄板：
芯材： ※15%以下
・
化粧薄板：
芯材： ※15%以下
・
・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材
施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の品質 防虫処理
・無（・1等 ・2等 ・3等） ・適用する（ ）
・有（・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・適用しない
・無（・1等 ・2等 ・3等） ・適用する（ ）
・有（・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・適用しない
・JAS 0701 以外の造作用単板積層材
施工箇所 寸法 (mm) 表面の品質 含水率 防虫処理
・無（ ） ・ ※14%以下 ・適用する（ ）
・有（・天然木化粧加工 ・塗装加工 ） ・適用しない
・無（ ） ・ ※14%以下 ・適用する（ ）
・有（・天然木化粧加工 ・塗装加工 ） ・適用しない

造作用単板積層材

合板等

・JAS 3079 に基づく直交集成板
施工箇所 品名 樹種名 強度等級 (曲げ性能) 種別 接着性能 (使用環境) 寸法 (mm)
・異等級構成直交集成板
・同一等級構成直交集成板
・A種構成
・B種構成
・A
・B
・C
・JAS 0233 に基づく普通合板
施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 板面の品質 単板の樹種名 防虫処理
※5.5
・ ※1類
・2類 広葉樹 ※2等以上
・ 針葉樹 ※C-D以上
・
※5.5
・ ※1類
・2類 広葉樹 ※2等以上
・ 針葉樹 ※C-D以上
・
・適用する（ ）
・適用しない
・適用する（ ）
・適用しない
・JAS 0233 に基づく構造用合板
施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 等級 板面の品質 曲げ強度 (強度等級) 防虫処理 単板の樹種名
※12
・ ※1類
・特類 ※2級以上
・ ※C-D以上
・
※12
・ ※1類
・特類 ※2級以上
・ ※C-D以上
・
・適用する（ ）
・適用しない
・適用する（ ）
・適用しない
屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。
・JAS 0233 に基づく化粧ばり構造用合板
施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理
・特類
・1類
・適用する（ ）
・適用しない
・特類
・1類
・適用する（ ）
・適用しない
屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。
・JAS 0233 に基づく天然木化粧合板
施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 化粧板に使用する単板の樹種名 防虫処理
・1類
・2類
・適用する（ ）
・適用しない
・1類
・2類
・適用する（ ）
・適用しない

接合具等

・JAS 0233 に基づく特殊加工化粧合板
施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 表面性能 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理
図示 3.0 1類
・2類
・F
・FW
・W
・SW
・オーバーレイ
・プリント
・塗装
・
・オーバーレイ
・プリント
・塗装
・
・適用する（ ）
・適用しない
・適用する（ ）
・適用しない
・JIS A 5908 に基づくパーティクルボード
施工箇所 種類 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 厚さ (mm)
※13タイプ
・ Mタイプ
・P
・
※15
・
※13タイプ
・ Mタイプ
・P
・
※15
・
・JAS 0360 に基づく構造用パネル
施工箇所 寸法 (mm) 曲げ性能（等級）（・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験）
・1級 ・2級 ・3級 ・4級
・1級 ・2級 ・3級 ・4級
・JIS A 5905 に基づくMDF
施工箇所 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ (mm)
造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し
諸金物の形状、寸法及び材質
かすがい
※改修標準仕様書 表6.5.3に示す程度の市販品
・
座金
※改修標準仕様書 表6.5.4に示す程度の市販品
・
箱金物及び短冊金物
※改修標準仕様書 表6.5.5に示す程度の市販品
・
接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆
・

NOTE

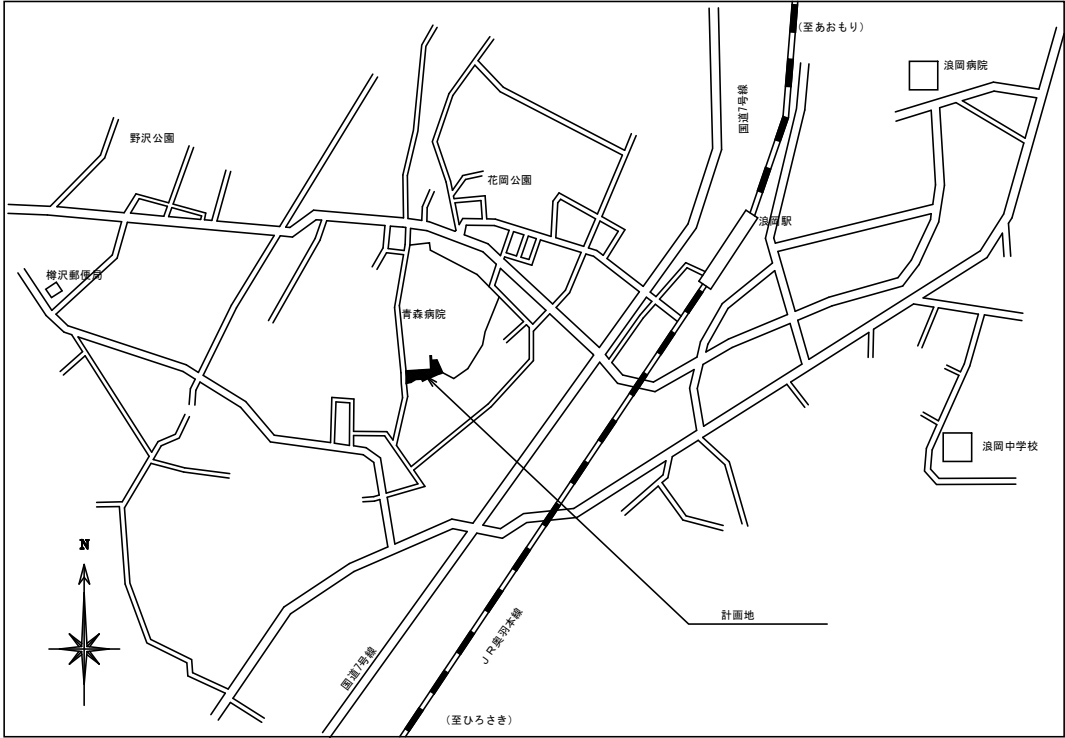
青森県第2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877 管理建築士 1級建築士登録113986号 川島 芳正 青森県

(工事名) 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事

改修特記仕様書（その8）

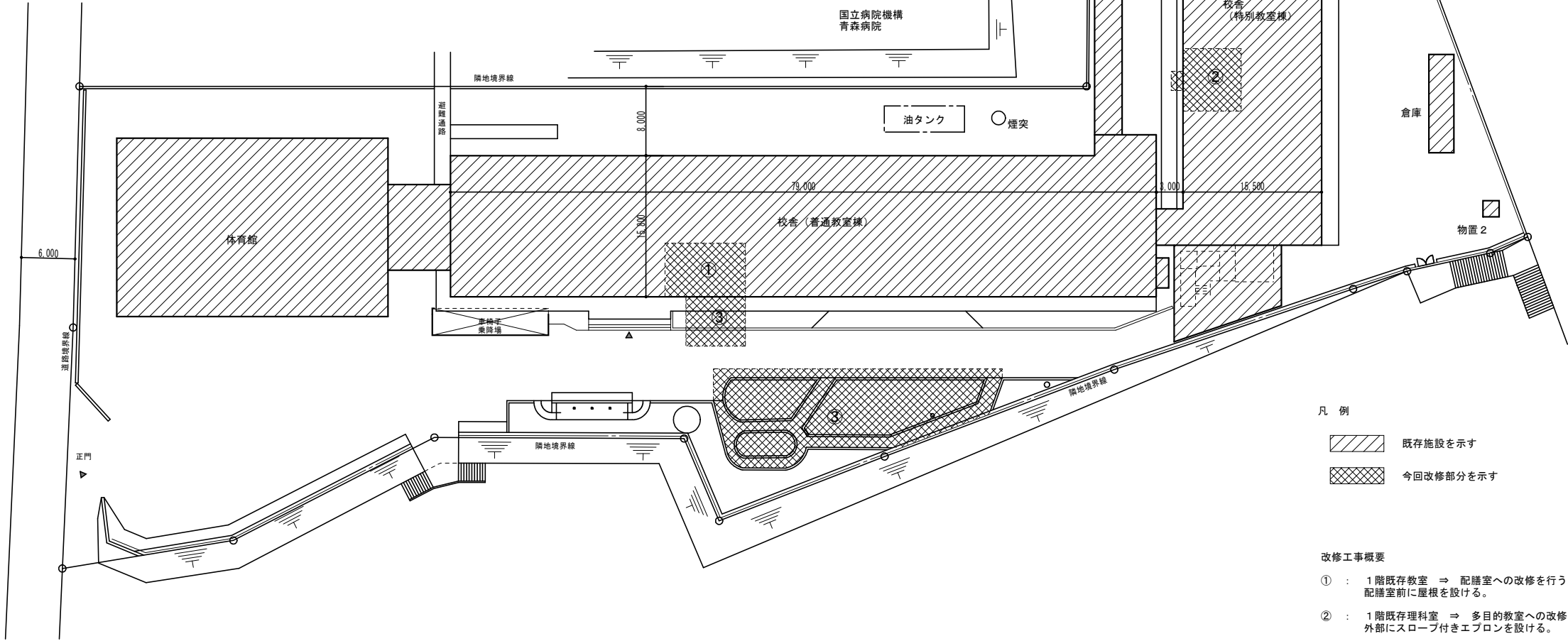
A-特08
※
※

[illegible]



案内図

凡 例
工事対象位置を示す



配置図 1:300

凡 例
既存施設を示す
今回改修部分を示す

- 改修工事概要
- ① : 1階既存教室 ⇒ 配膳室への改修を行う。
配膳室前に屋根を設ける。
 - ② : 1階既存理科室 ⇒ 多目的教室への改修を行う。
外部にスロープ付きエプロンを設ける。
 - ③ : 既存外構施設撤去（一部移設）の上、アスファルト舗装へ改修を行う。

面積表 (㎡)	校 舎	体育館・渡り廊下	渡り廊下	物置 1	倉庫	物置 2	現況合計 ※	今回増築分	総合計
構造・階数	RC造一部S造、 00造2階建て	S造2階建て	S造平屋建て	S造平屋建て	S造平屋建て	S造平屋建て		S造平屋建て	
耐火種別	耐火建築物	準耐火建築物 (a-2)	準耐火建築物 (b-2)	その他	その他	その他		その他	
建築面積	2,183.18	667.20	190.88	64.80	30.84	3.25	3,140.15	6.60	3,146.75
床面積									
1 階	1,854.12	667.20	21.60	64.80	30.84	3.25	2,641.81	9.60	2,651.41
2 階	1,833.75	72.87	190.88				2,097.50		2,097.50
P H 1 階	62.40						62.40		62.40
P H 2 階	62.40						62.40		62.40
合 計	3,812.67	740.07	212.48	64.80	30.84	3.25	4,864.11	9.60	4,873.71
敷地面積									7,578.51

※（平成27年3月25日 計画通知概要書による）

NOTE

工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017 (741) 6497
FAX 017 (742) 1877

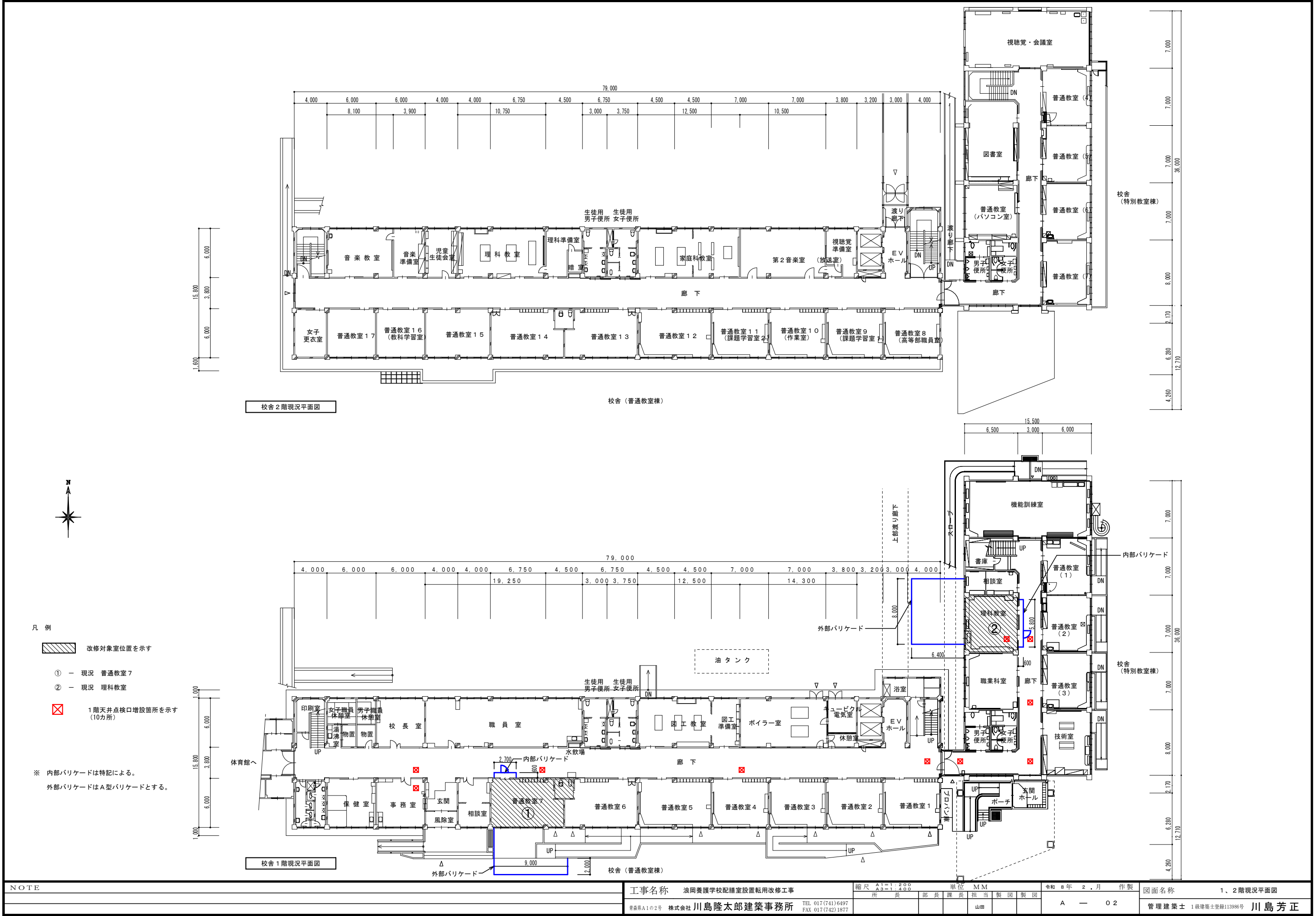
縮尺 A1=1:300
A3=1:600
所 長

単位 MM
部 長 課 長 担 当 製 図 製 図

令和 8 年 2 月 作製
A — 0 1

図面名称 配置図、案内図、工事概要

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正



外 部 仕 上 表

部 位	校 舎 （ 小 中 学 部 ）		普 通 教 室 棟 （ 高 等 部 ）	
	現 況	改 修 後	現 況	改 修 後
屋根	コンクリートスラブの上モルタルt-30塗り アスファルト防水（A-1）断熱材入USD工法の上、防水層保護 t-120豆砂利コンクリート打設同時仕上げ φ40×100×100溶接金網挿入 錆鉄製ルーフドレン φ100堅型	現況のまま	平場部：デッキコンクリート下地 露出断熱改質アスファルト防水（ノンケトル冷熱併用工法、高反射塗装仕上げ） 立上り部：デラクリート t-12+モルタル金ゴテ t-30下地 露出断熱改質アスファルト防水（ノンケトル冷熱併用工法、高反射塗装仕上げ）・立上り用脱気シート×4ヶ所 たて引用高耐食性錆鉄製ルーフドレン φ100 水切：t-2.0アルミ製水切カバー（電解着色品）	現況のまま
軒天	コンクリート打放し マスチック塗装	現況のまま	鉄骨見え掛かり部分DP デッキ裏部分：溶融亜鉛メッキ品表し	現況のまま
外壁	コンクリート打放し マスチック塗装	現況のまま、一部補修（改修部より周囲1m程度）	一般部：押出成形セメント版フラットパネル t-60×600（縦張り）工場塗装品 幕板：C形横鋼縁下地 t-15金属サイディング縦張り（ガルスパン同等品）	現況のまま、一部撤去、補修（改修部より周囲1m程度）
建具	アルミ製建具、鋼製建具	現況のまま、一部撤去のうえ軽量スチールシャッター取付	アルミ製建具、鋼製建具	現況のまま、一部撤去のうえアルミ製建具取付
根廻り	コンクリート打放し	現況のまま、一部補修	コンクリート打ち放し補修の上、複層仕上げ塗材E吹付け、化粧縦目地@3,000内外	現況のまま、一部補修
その他		配膳室前屋根（新設） 屋根：カラーガルバリウム鋼板折板 t-1.0 ハゼ168 タイトフレーム×8 鉄骨部：鎖止め塗装のうえDP塗装 ブラットホーム：コンクリート金ゴテ、 階段部：段鼻タイル 防鳥ネット（10mm目）3面、鳥除けトゲシート（梁上）		外部出入口用エプロン：コンクリート金ゴテ、 階段部：段鼻タイル、SUS製手摺

内 部 仕 上 表

撤去資材を示す

一部撤去資材を示す

棟	階	改 修 前 （ 既 存 ）					改 修 後							
		室 名	部 位	下 地	仕 上	備 考	室 名	部 位	下 地	仕 上	備 考			
校 舎（小 中 学 部）	1 階	普通教室（CR7）	天井	LGS	化粧石膏ボード t-9 塩ビ製廻り縁	天井高 = 3,000	配膳室	天井	LGS（既存再利用）	化粧石膏ボード t-9.5 塩ビ製廻り縁	新設間仕切り壁周囲1m撤去の上復旧 既存全面再塗装（再利用）	天井高 = 3,000		
			壁	木製銅縁	シナ合板 t-6目透かし張り OP ビニル巾木	巾木高 = 100		壁	木製銅縁（既存再利用）	シナ合板 t-6目透かし張り EPG ビニル巾木（全周）	新設間仕切り壁周囲1m撤去の上復旧 既存全面再塗装（再利用）	巾木高 = 100		
			床	モルタル金ゴテ	長尺塩ビ床シート t-2.5	FLからの高さ : FL±0		床	モルタル金ゴテ	長尺塩ビ床シート t-2.5	既存撤去の上新設	FLからの高さ : FL±0		
			家具備品等	棚、テレビ台、戸棚、ディライトスクリーン、UD白板3.6×1.2、掲示板、掃除用具庫、天井点検口450角				家具備品等	ラック、LOWラック×2台、シューズボックス×2台、SUS製カランバック、掃除用具入（既存再利用）、冷凍庫（別途工事）					
		ユーティリティー	天井	LGS	石綿セメント板 t-5 VP（※レベル3、非破砕での撤去を行う） 塩ビ製廻り縁	天井高 = 2,630	調理室	天井	LGS（既存再利用）	化粧石膏ボード t-9.5 塩ビ製廻り縁	新設間仕切り壁周囲1m撤去の上復旧 既存全面再塗装（再利用）	天井高 = 3,000		
			壁	コンクリート+モルタル	磁器質100角タイル張り	カランバック		壁	木製銅縁	シナ合板 t-6目透かし張り EPG 流し台前：キッチンパネル t-5 (H=900) 張り ビニル巾木（全周）	新設間仕切り壁周囲1m撤去の上復旧 既存全面再塗装（再利用）	巾木高 = 100		
			床	モルタル	磁器質モザイク床タイル50角	FLからの高さ : FL±0		床	モルタル金ゴテ	長尺塩ビ床シート t-2.5	既存撤去の上新設	FLからの高さ : FL±0		
			家具備品等					家具備品等	調理台L=2700（シンク×2）、SUS製カランバック、消毒保管庫（別途工事）					
			前室	天井		化粧石膏ボード t-9.5 塩ビ製廻り縁	既存撤去の上新設	天井高 = 3,000	作業員室	天井	LGS	化粧石膏ボード t-9.5 塩ビ製廻り縁	既存撤去の上新設	天井高 = 2,600
				壁		木製銅縁	シナ合板 t-6目透かし張り EPG ビニル巾木（全周）	既存全面再塗装（再利用）		巾木高 = 100	壁	磁器質100角タイル（既存）	メラミン不燃化粧板 t-3（接着剤改修工法） ビニル巾木（全周）	カランバック 巾木高 = 100
	床		モルタル金ゴテ	長尺塩ビ床シート t-2.5	既存撤去の上新設	FLからの高さ : FL±0	床			磁器質床タイル（既存）	モルタル金ゴテ+長尺塩ビ床シート t-2.5	FLからの高さ : FL±0		
	家具備品等					家具備品等	牛乳保管庫（別途工事）							
	普通教室棟（高等部）	1 階	理科教室	天井	LGS	有孔石膏ボード+石膏ボード t-9目透かし張り EP 塩ビ製廻り縁	天井高 = 3,000	普通教室	天井	LGS	有孔石膏ボード+石膏ボード t-9.5 目透かし張り EP 塩ビ製廻り縁	既存温水配管周囲以外撤去の上復旧 既存全面再塗装（再利用）	天井高 = 3,000	
				壁	木製銅縁 木製銅縁	シナ合板 t-6目透かし張り OP シナ合板 t-6目透かし張り OP			壁	木製銅縁（既存再利用）	シナ合板 t-6目透かし張り EPG	新設間仕切り壁周囲1m撤去の上復旧 既存全面再塗装（再利用）	巾木高 = 100	
				床	モルタル金ゴテ	長尺塩ビ床シート t-2.5	FLからの高さ : FL±0		床	モルタル金ゴテ	長尺塩ビ床シート t-2.5	既存撤去の上新設	FLからの高さ : FL±0	
				家具備品等	棚、戸棚、ディライトスクリーン、掲示板、テレビ台、白板3.6×1.2、掃除用具庫				家具備品等	戸棚、UD白板3.6×1.2、天井点検口450角、掃除用具庫（既存再利用）、白板3.6×1.2（既存再利用）、SUS製カランバック				

【略 号】

DP	耐候性塗料塗り	CL	クリアラッカー塗り	GB-R	せっこうボード（不燃認定品）	GB-D（S）	化粧せっこうボード（ステラートライト模様）（準不燃認定品）		
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	GB-S	シージングせっこうボード（準不燃認定品）	不燃GB-D（S）	化粧せっこうボード（ステラートライト模様）（不燃認定品）		
SOP	合成樹脂調合ベイト塗り	OS	オイルステイン塗り	GB-S（不燃）	シージングせっこうボード（不燃認定品）	FK	けい酸カルシウム板（不燃認定品）		
EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	WP	木材保護塗料塗り	GB-FWR	強化せっこうボード（防水性・防カビ性付加）（不燃認定品）	DR（T）	ロックウール化粧吸音板（直張りタイプ）（不燃認定品）		
EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り			GB-R-H	普通硬質せっこうボード（不燃認定品）	DR	ロックウール化粧吸音板（不燃認定品）		

NOTE

工事名称

浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事

縮尺

—

単位

MM

令和 8 年 2 月 作製

図面名称

仕 上 表

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017 (741) 6497
FAX 017 (742) 1877

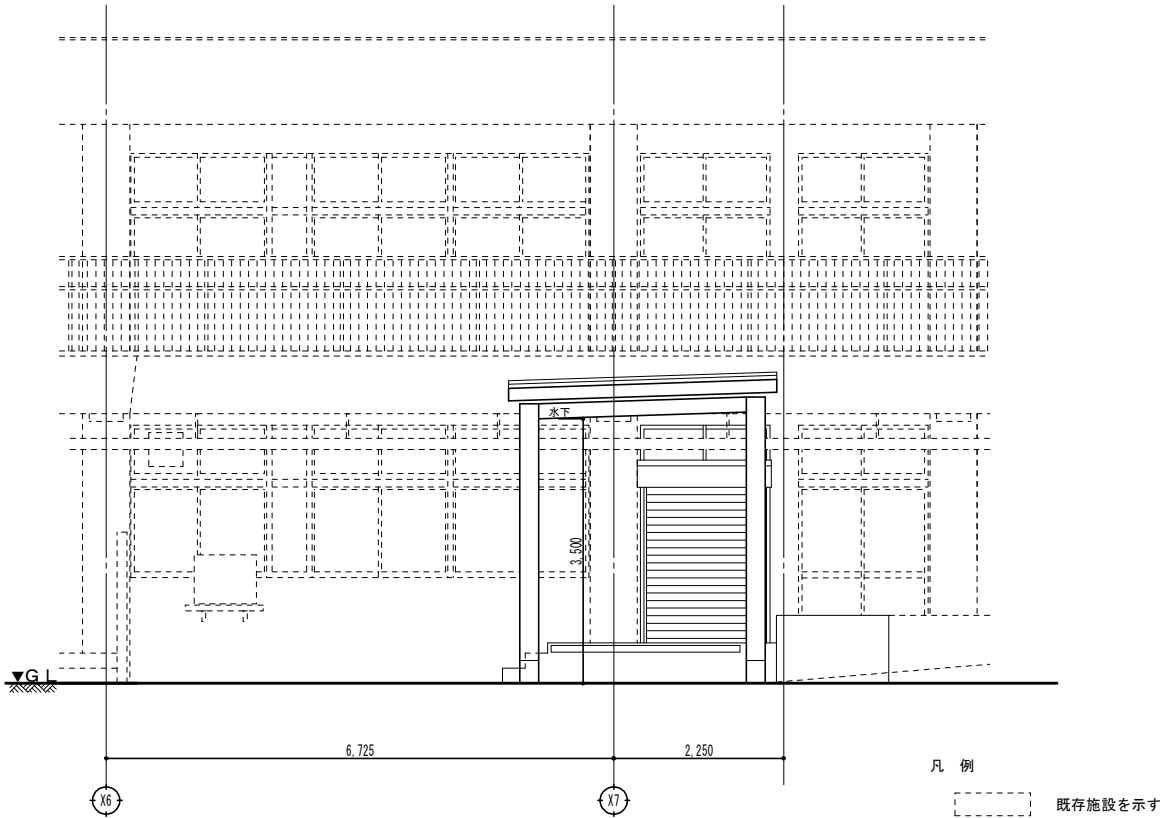
A — 03

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

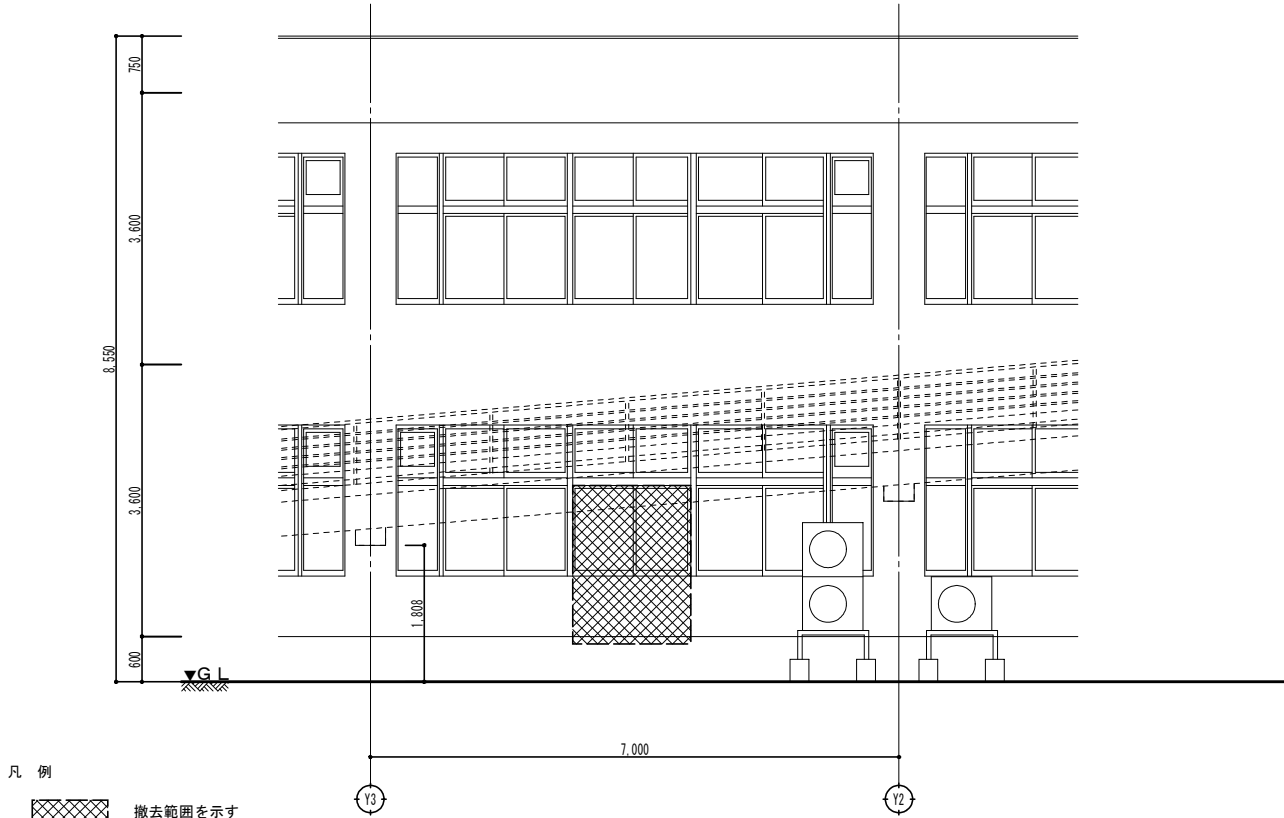
現況南側立面図（普通教室7→配膳室部分）



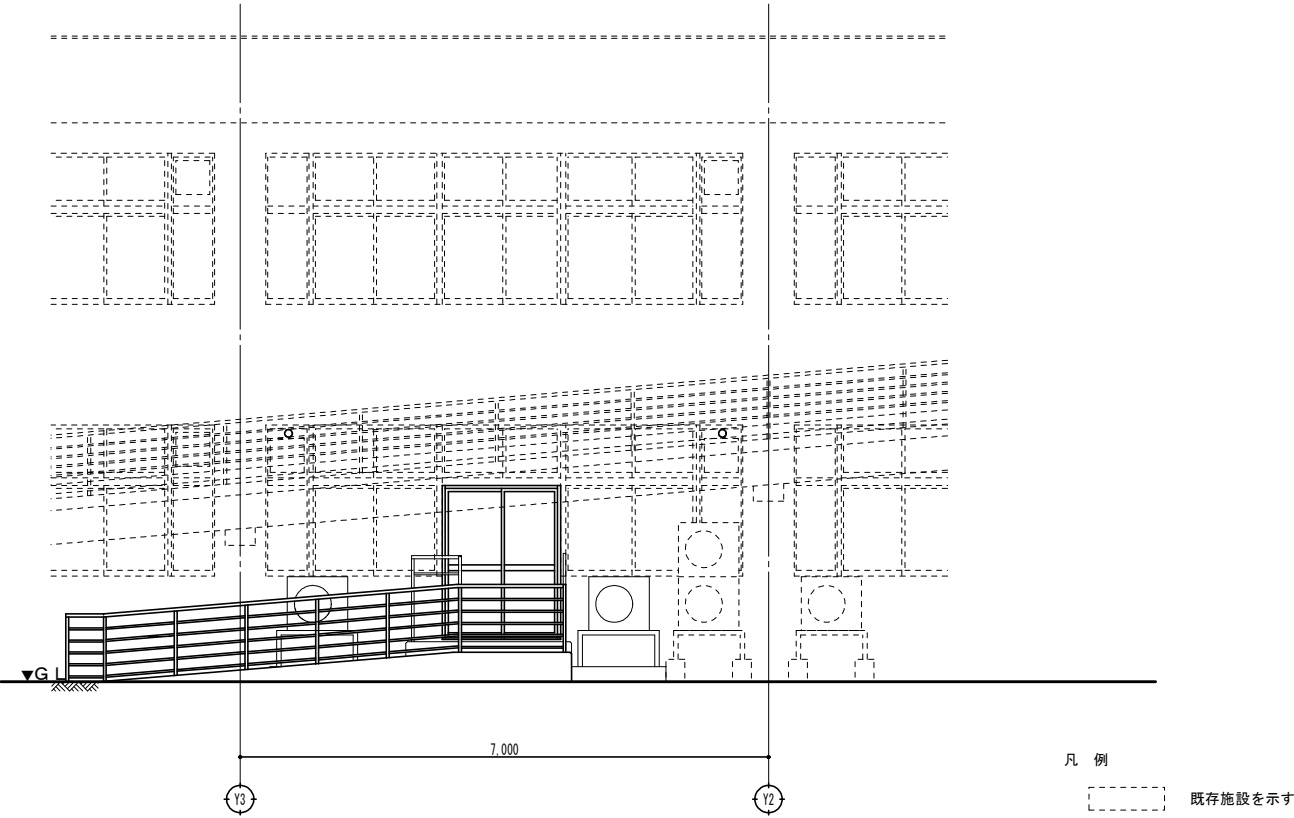
改修後南側立面図（普通教室7→配膳室部分）



現況西側立面図（理科室→普通教室部分）



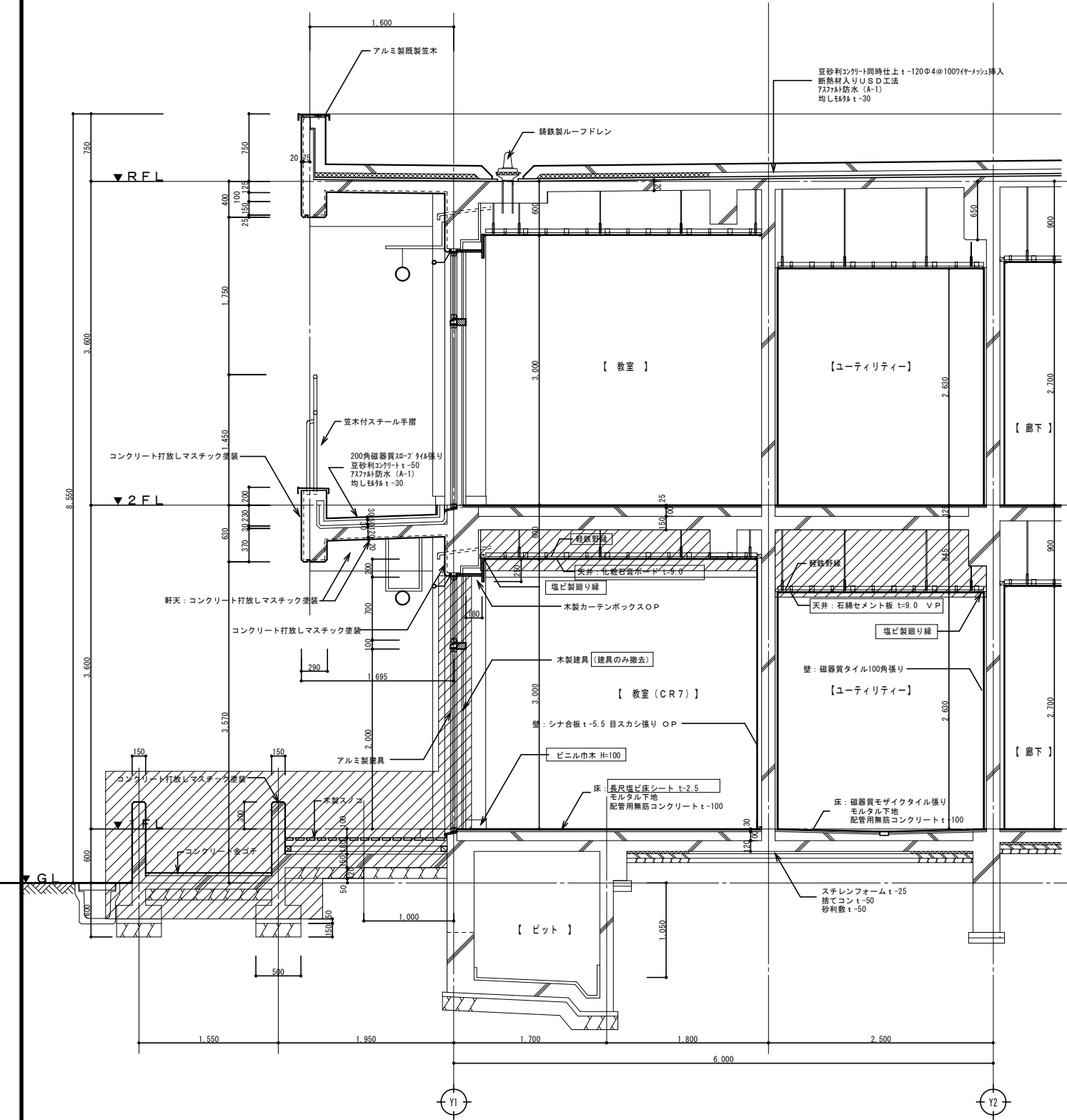
改修後西側立面図（理科室→普通教室部分）



NOTE

工事名称	浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事	縮尺	A3=1:500 A3=1:1000	単位	MM	令和 8 年 2 月 作製	図面名称	既存・改修立面図
所 長		部 長		課 長				
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所	TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877			山田				管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

現況断面詳細図（教室）

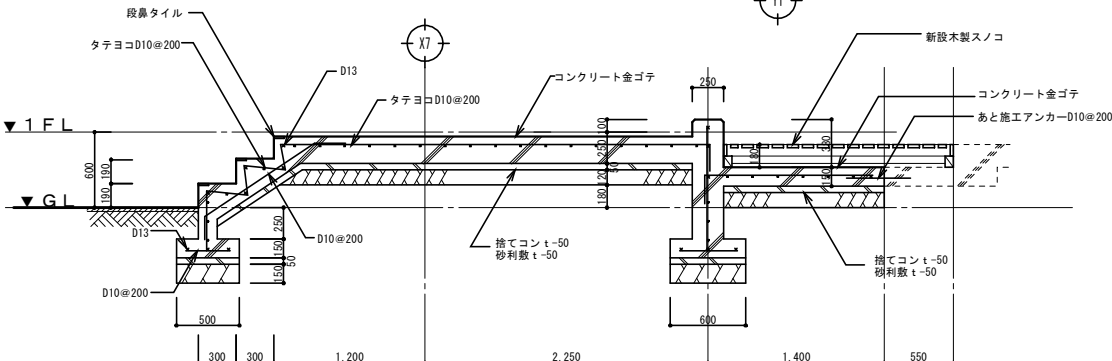
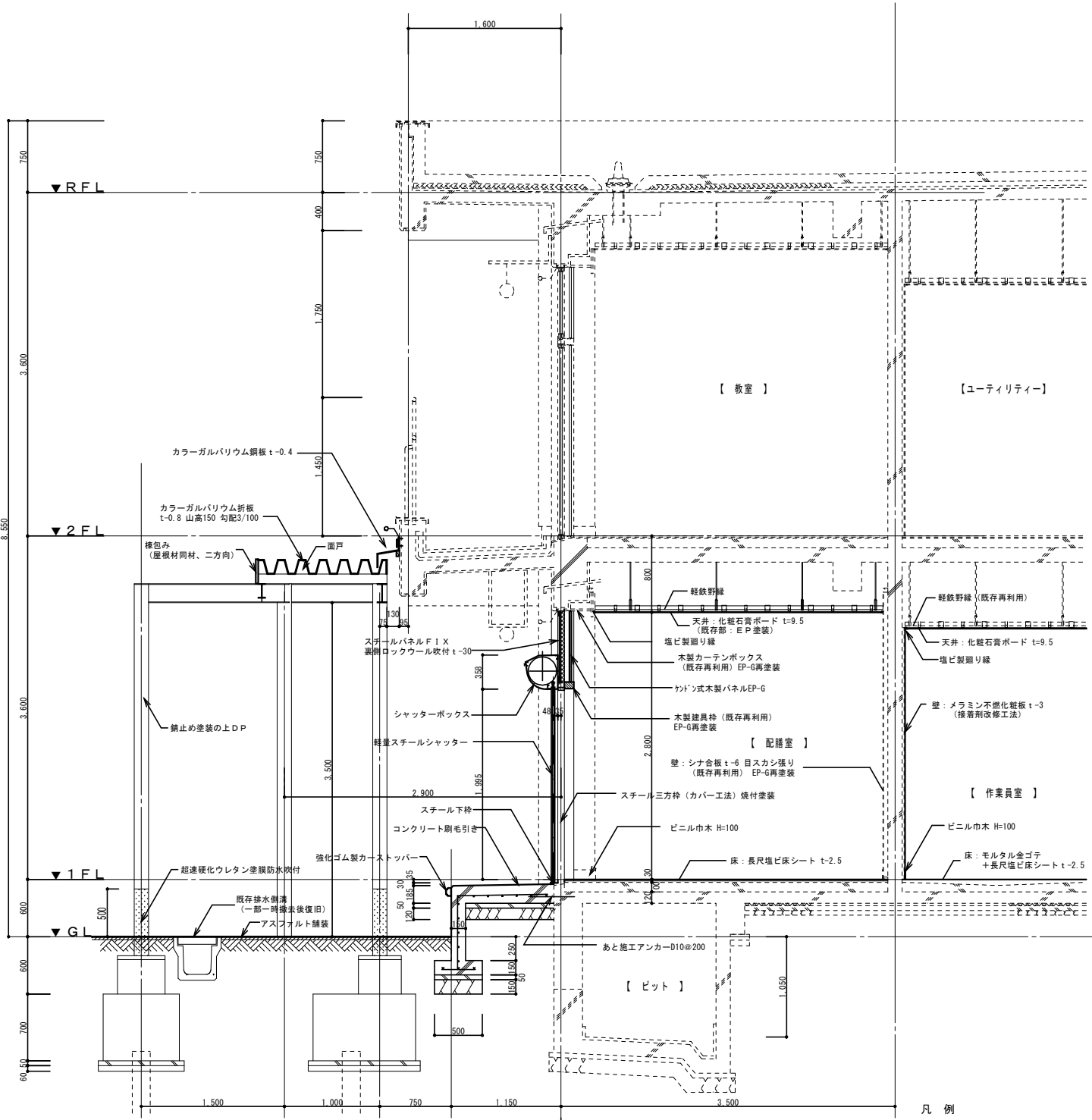


凡 例

撤去施設を示す

撤去範囲を示す

改修後断面詳細図（配膳室）



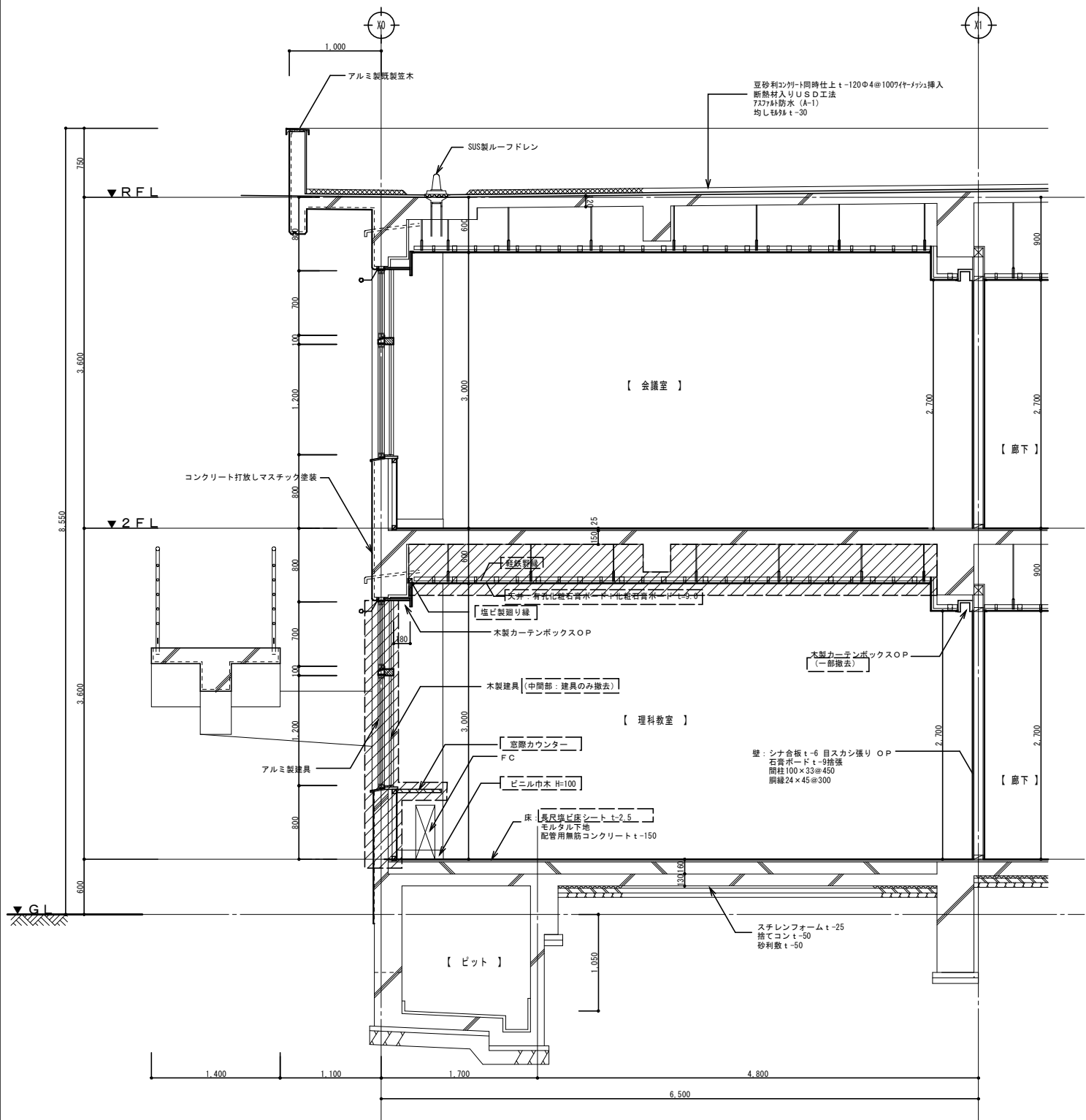
プラットフォーム Y 方向断面詳細図

※カーستッパー取付位置については運搬業者と協議の上取り付けるものとする。

NOTE

工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事		縮尺 A1=1:30 A3=1:60	単位 MM	令和 8 年 2 月 作製	図面名称 矩計図-1 (普通教室様)
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所	TEL 017 (741) 6497 FAX 017 (742) 1877	所 長	部長 課長 担当 製図 製図	A 05	管理建築士 1級建築士登録11398号 川島芳正

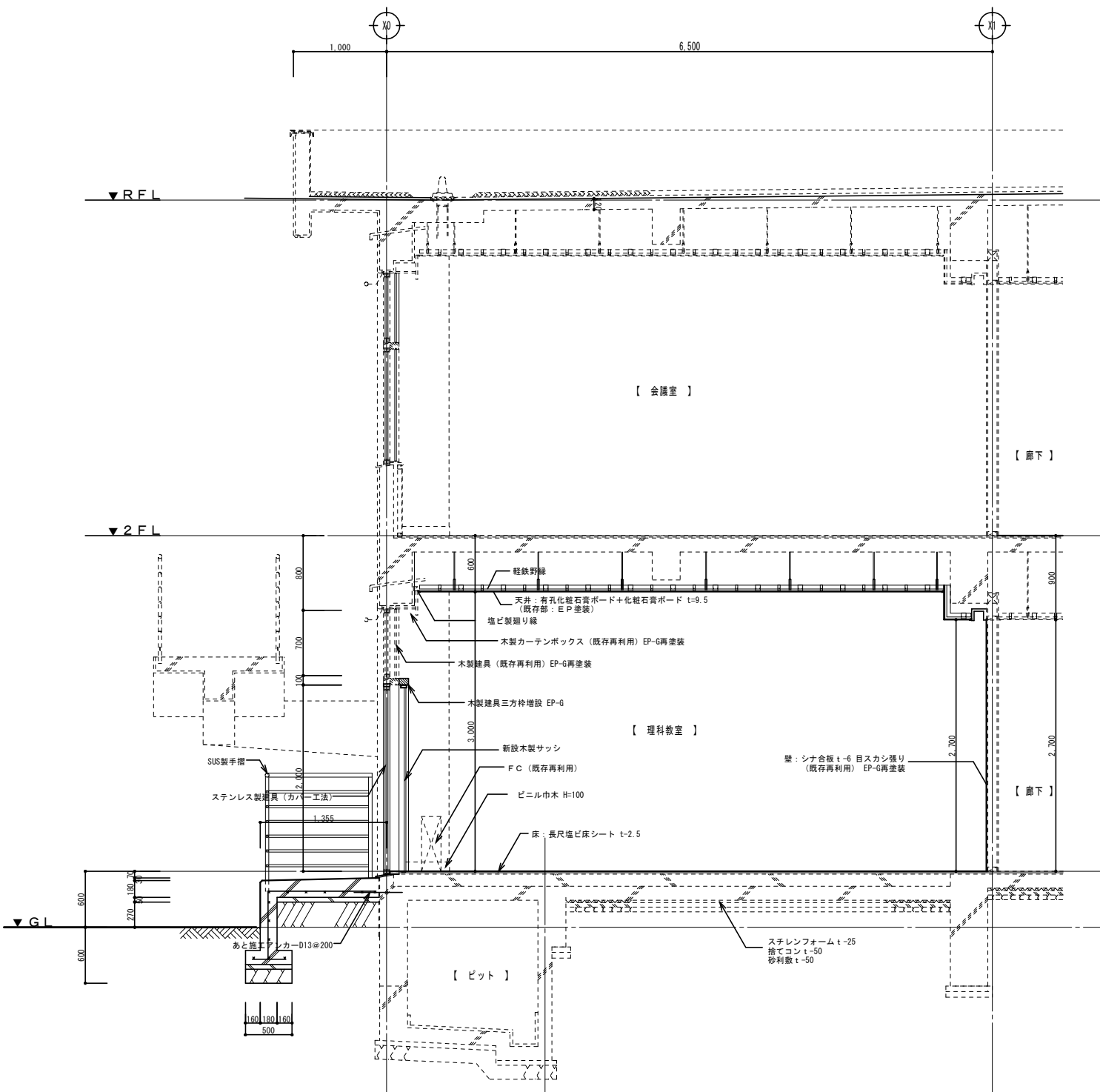
現況断面詳細図（教室）



凡 例

- 撤去施設を示す
- 撤去範囲を示す

改修後断面詳細図（配膳室）



凡 例

- 既存施設を示す

NOTE

工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

縮尺 A3=1:30 A3=1:60 所 長

単位 MM 部長 課長 担当 製図 製図 山田

令和 8 年 2 月 作製 A — 0 6

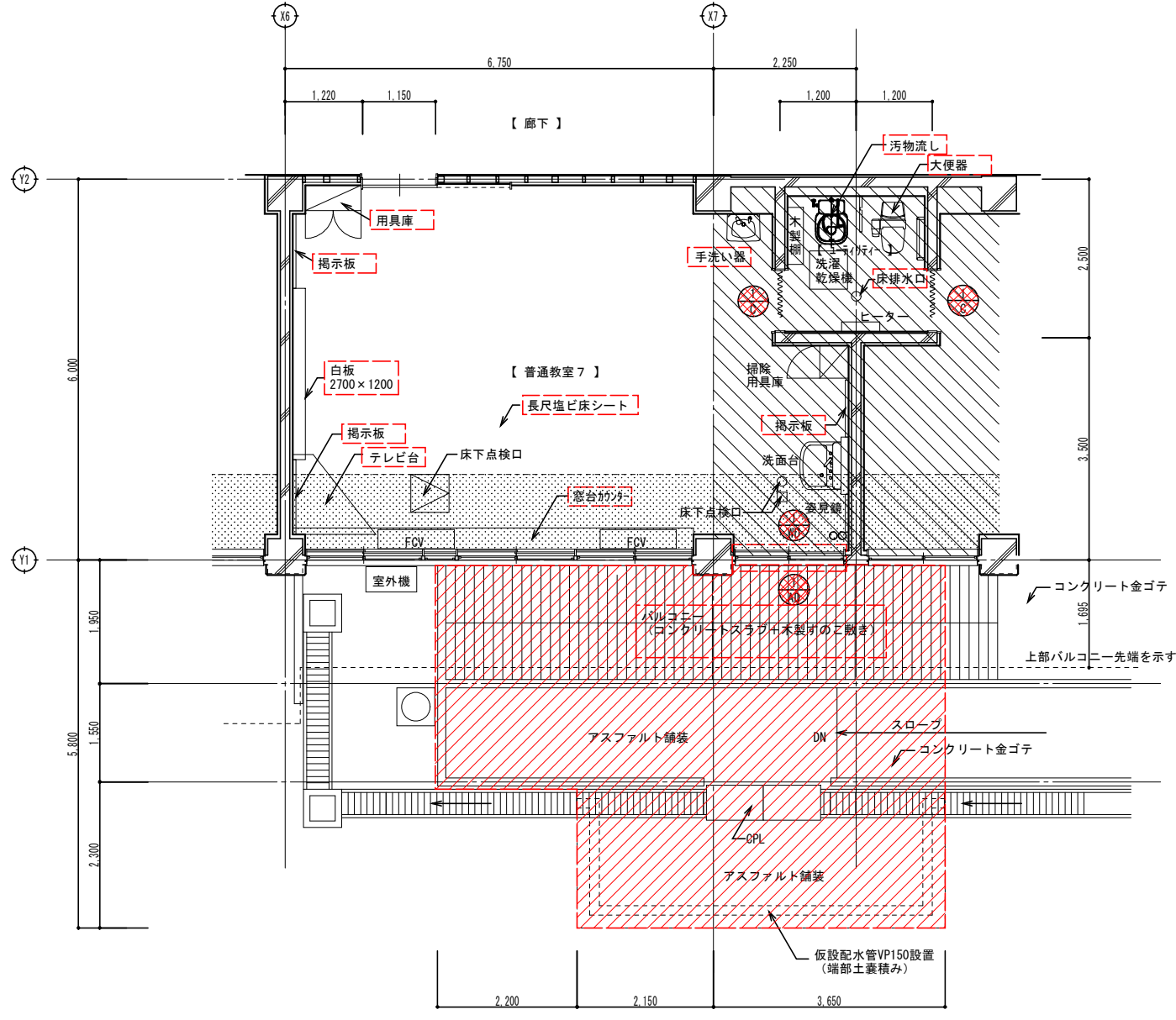
図面名称 矩計図-2 (特別教室棟)

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

現況平面図（教室）

撤去工事要領

- ・表記の家具、什器、設備を撤去する。
- ・一部再利用の家具、什器は取外し監督員の指示する場所に保管する。
- ・内部天井は一部下地共の解体撤去を行う。
- ・尚、ユーティリティー部分の天井はアスベスト含有成形板であるため、湿潤や養生を十分行う等所定の方法にて撤去する。
- ・既存内壁については基本的に既存利用とする。
- ・巾木、床材は仕上材を全て撤去する。（ユーティリティー部分を除く）
- ・ユーティリティーの既存設備は凍結防止ヒーター（再取付け）、洗濯機用の再利用分を除き全て撤去する。



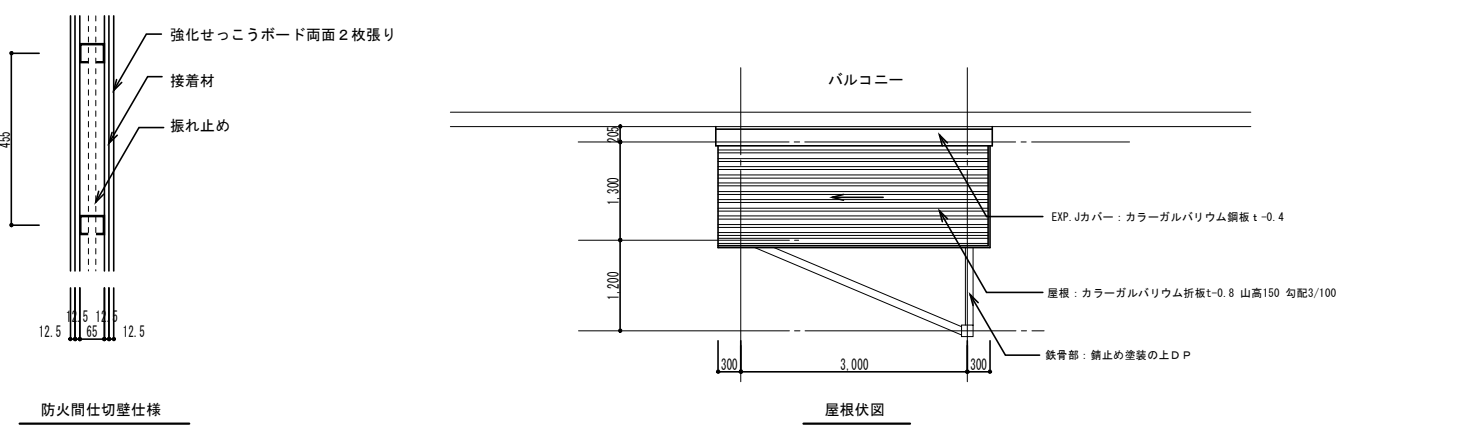
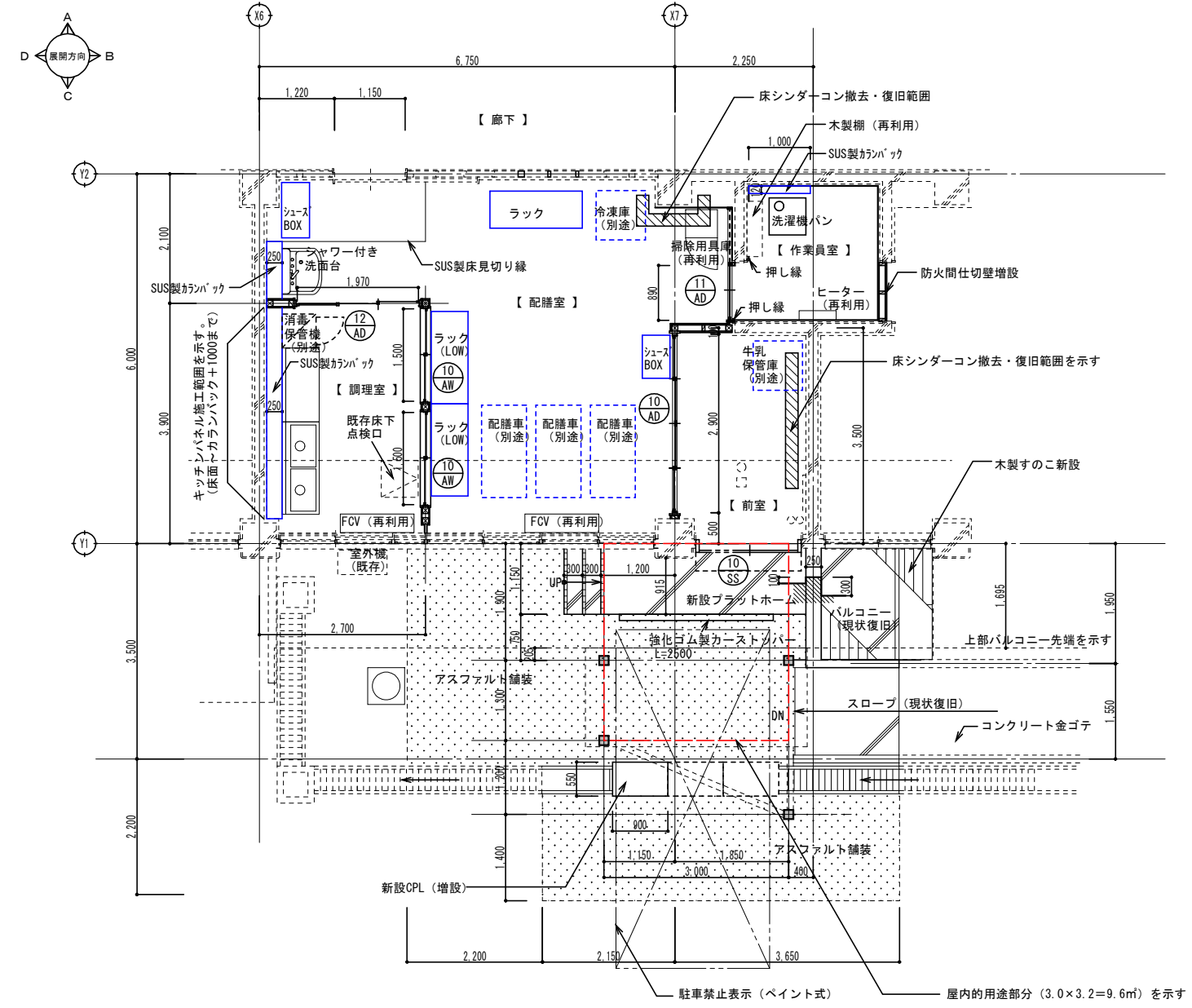
- 凡 例
- 床下ビット範囲を示す
 - 二重スラブ範囲を示す
 - 撤去施設を示す
 - 撤去範囲を示す
 - 撤去建具を示す

改修後平面図（配膳室）

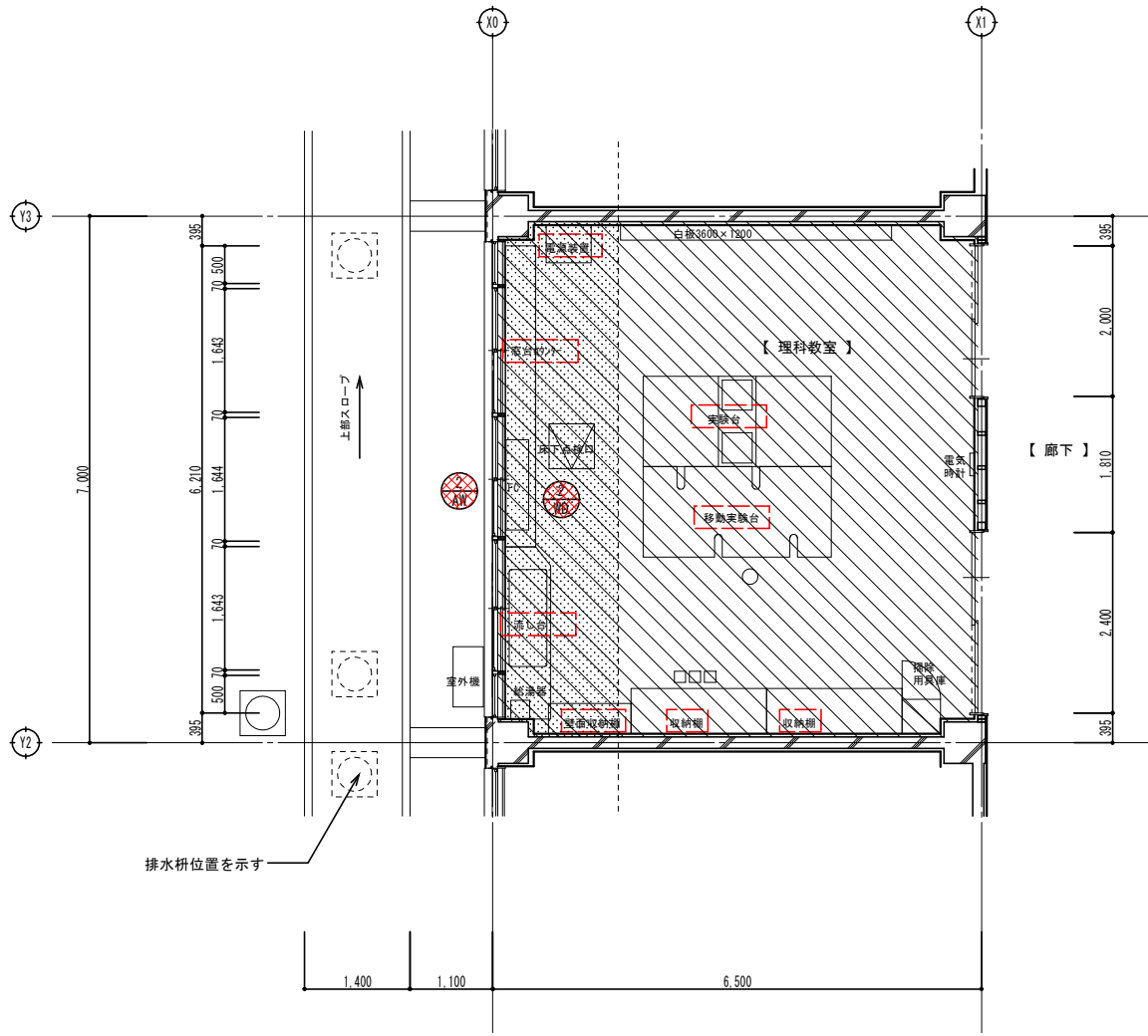
改修工事要領

- ・外部建具（軽量スチールシャッター）の取付を行う。
- ・天井、床、壁、内部建具の改修を行う。
- ・再取付けの家具、設備機器の取付けを行う。
- ・新規機器の取付を行う。
- ・プラットフォームの増築を行う。
- ・配膳車用屋根（鉄骨造）の設置を行う。

- 凡 例
- 既存施設を示す
 - 床シンダーコン撤去・復旧範囲を示す
 - アスファルト舗装範囲を示す



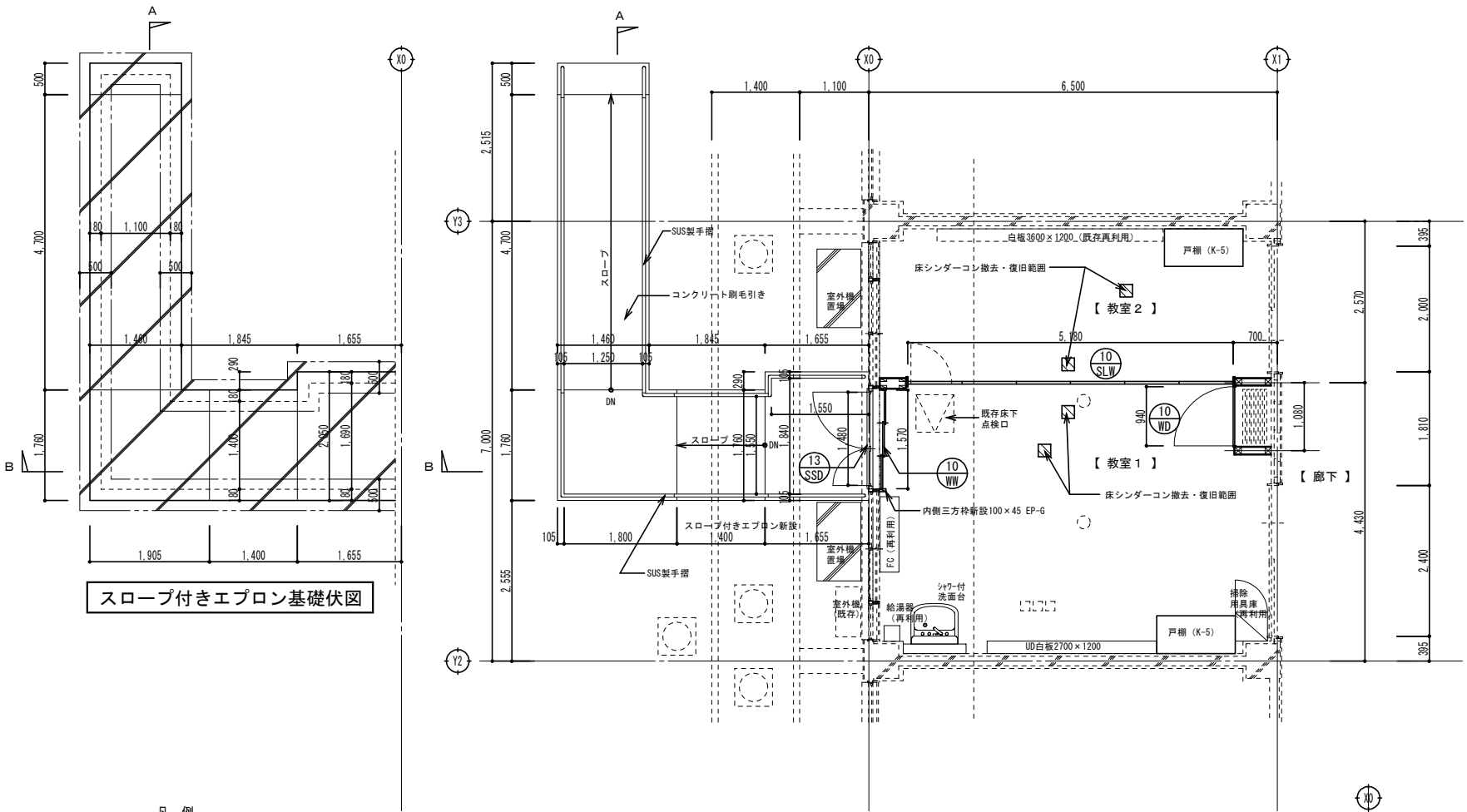
現況平面図（理科教室）



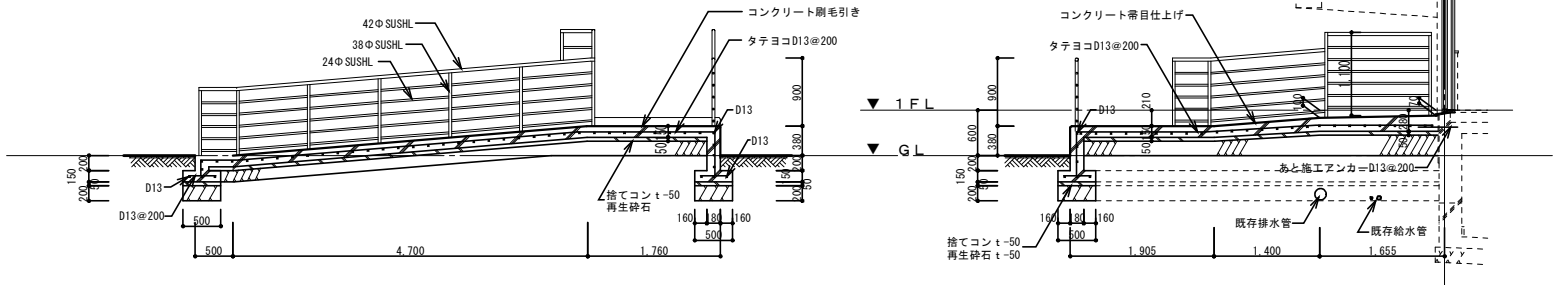
- 凡 例
- 床下ビット範囲を示す
 - 二重スラブ範囲を示す
 - 撤去施設を示す
 - 改修建具を示す

※ 電源装置、表示装置の撤去は電気設備工事とする。

改修後平面図（普通教室）

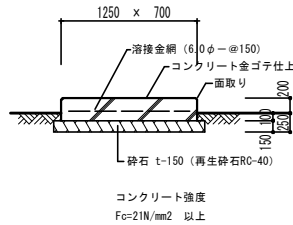


- 凡 例
- 既存施設を示す
 - 床シンダーコン撤去・復旧範囲を示す



エプロンA方向断面詳細図

エプロンB方向断面詳細図

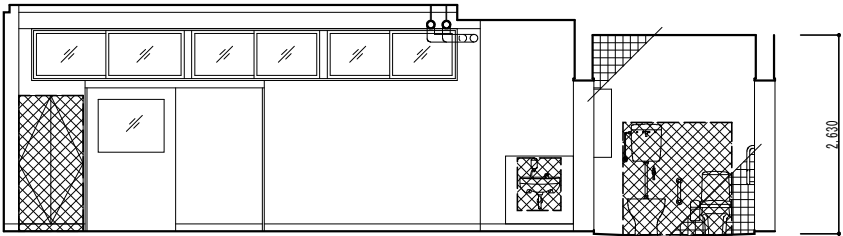


屋外機基礎詳細図

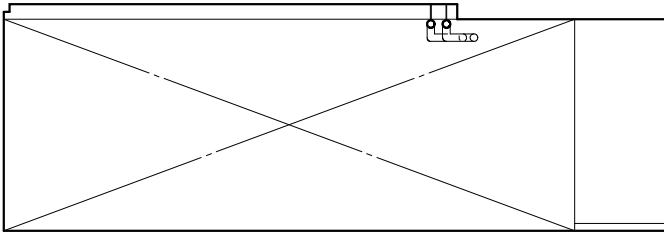
NOTE

工事名称	浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事	縮尺	A3=1:50 A3=1:100	単位	MM	令和 8 年 2 月 作製	図面名称	既存・改修平面詳細図（理科教室⇒教室）
所 長	部長 課長 担当 製図 製図	山田				A — 08	管理建築士 1級建築士登録113986号	川島芳正

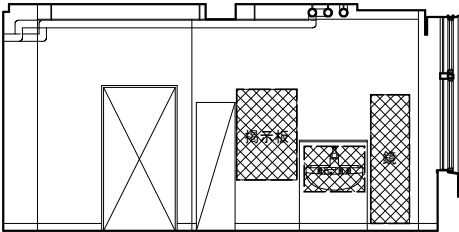
現況展開図（普通教室7、ユーティリティー）



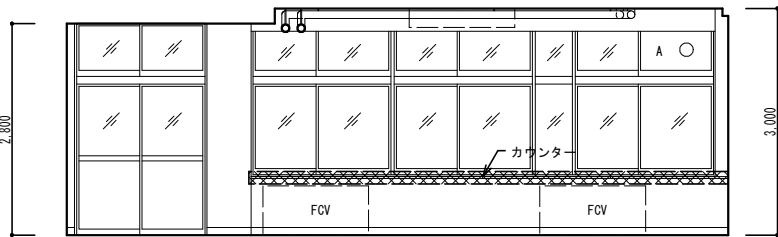
A 面



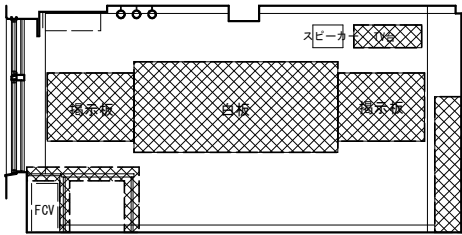
A 面



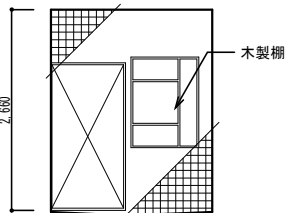
B 面



C 面



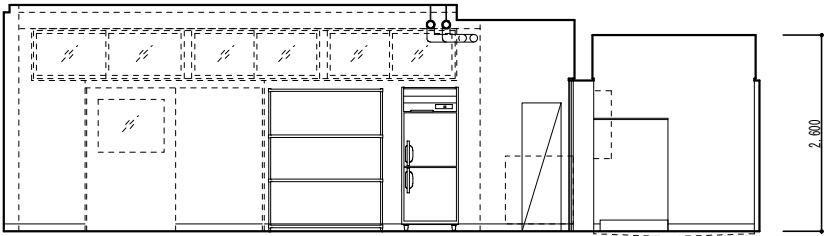
D 面



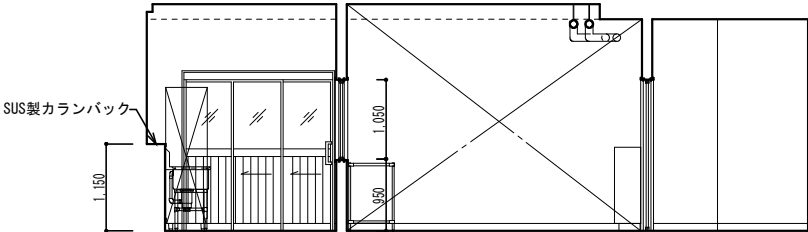
D 面

凡 例
撤去範囲を示す

改修後展開図（配膳室、調理室、作業員室）



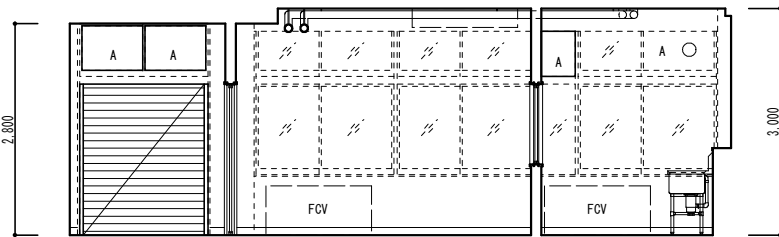
A 面



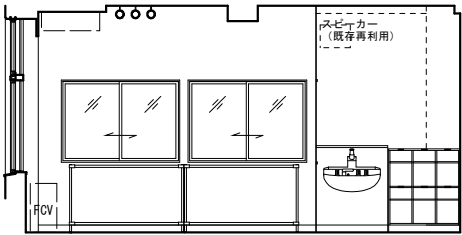
A 面



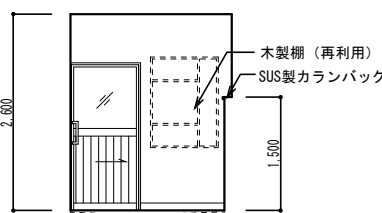
B 面



C 面



D 面



D 面

凡 例
既存施設を示す

NOTE

工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017 (741) 6497
FAX 017 (742) 1877

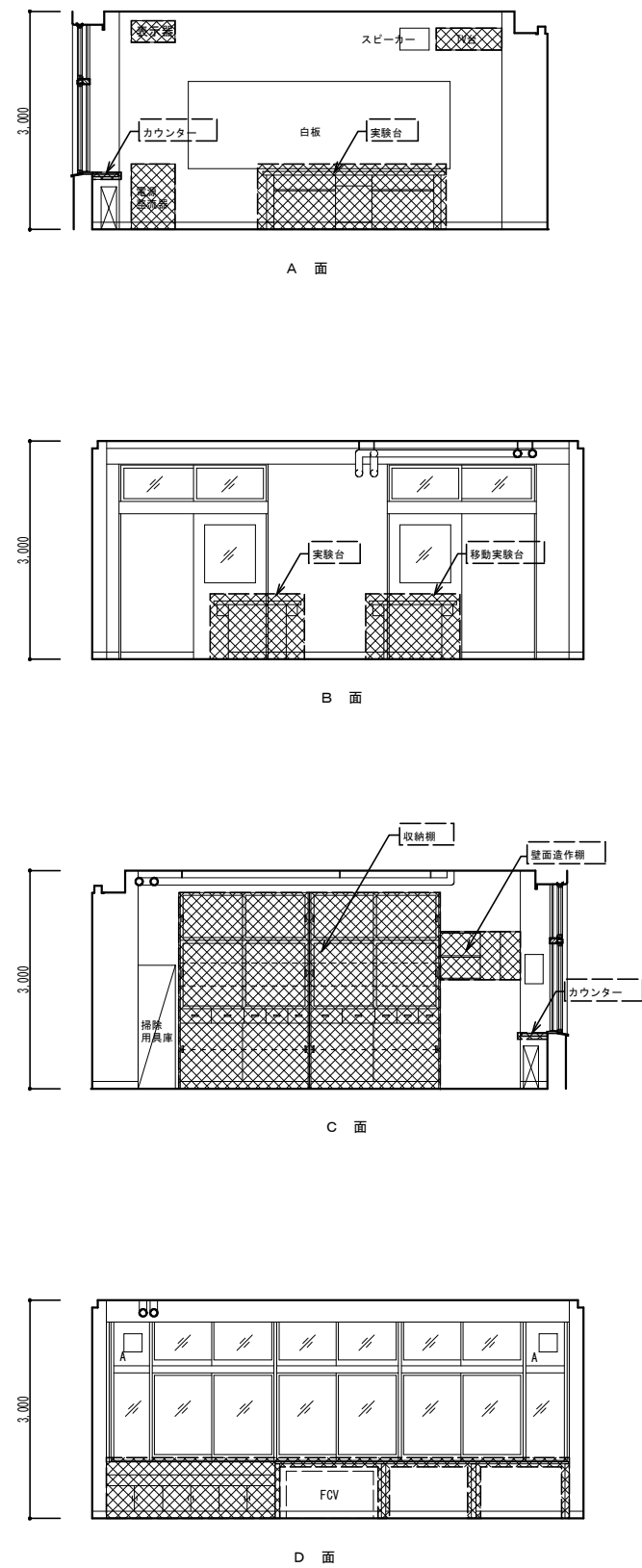
縮尺 A3=1:500
A3=1:1,000
単位 MM
所 長 部長 課長 担当 製 図 製 図
山田

令和 8 年 2 月 作製
A — 09

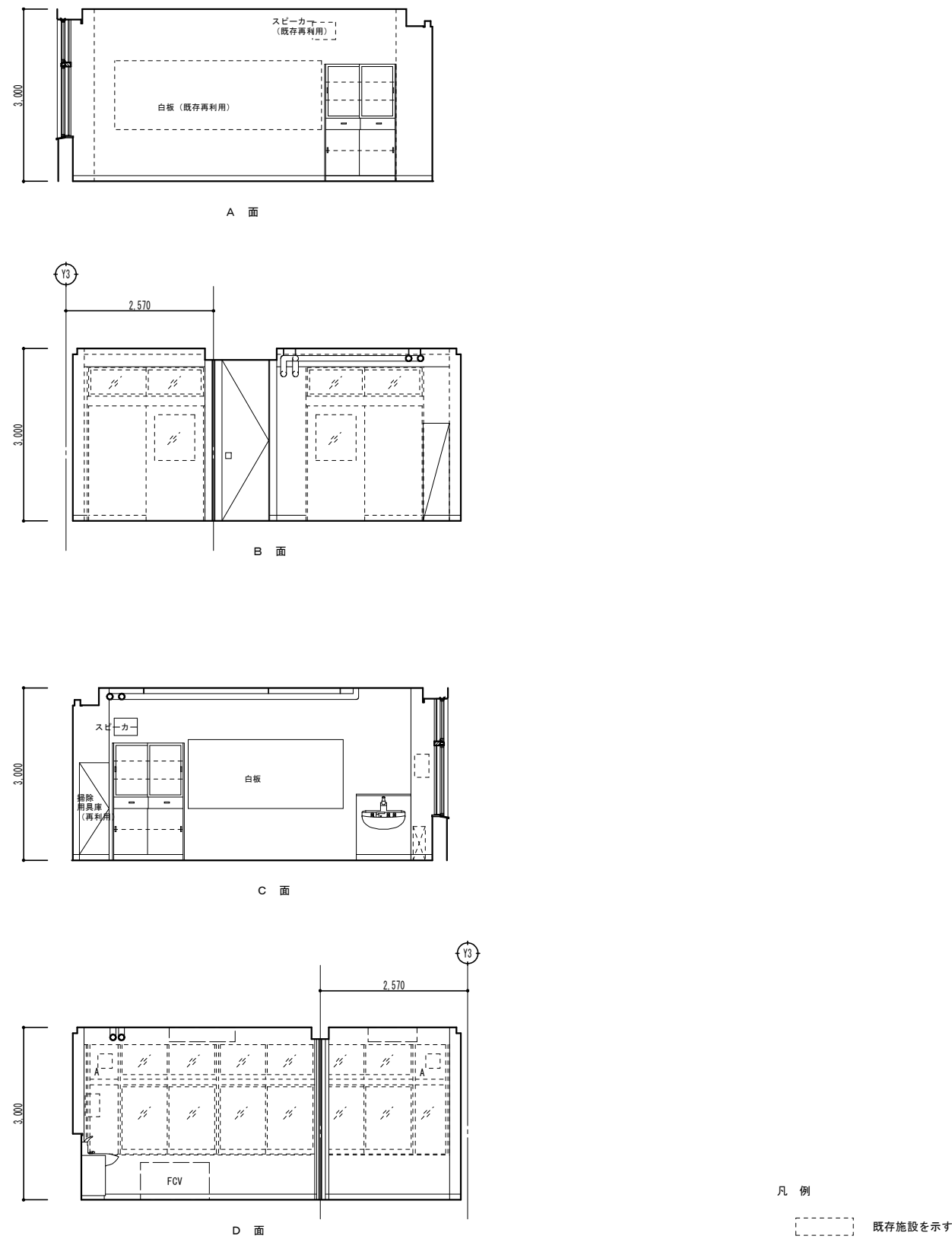
図面名称 展開図-1

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

現況展開図（理科教室）

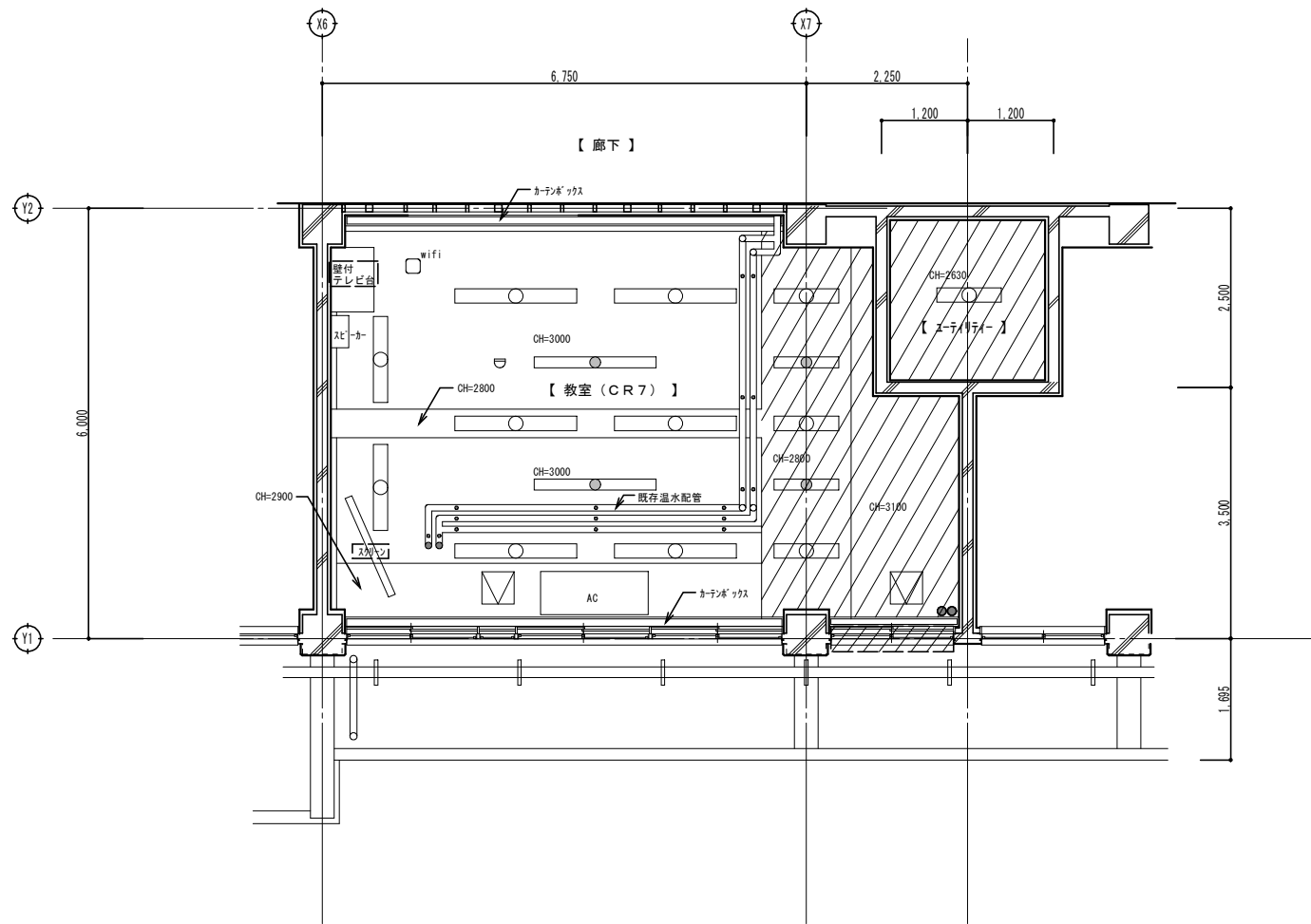


改修後展開図（普通教室）



NOTE

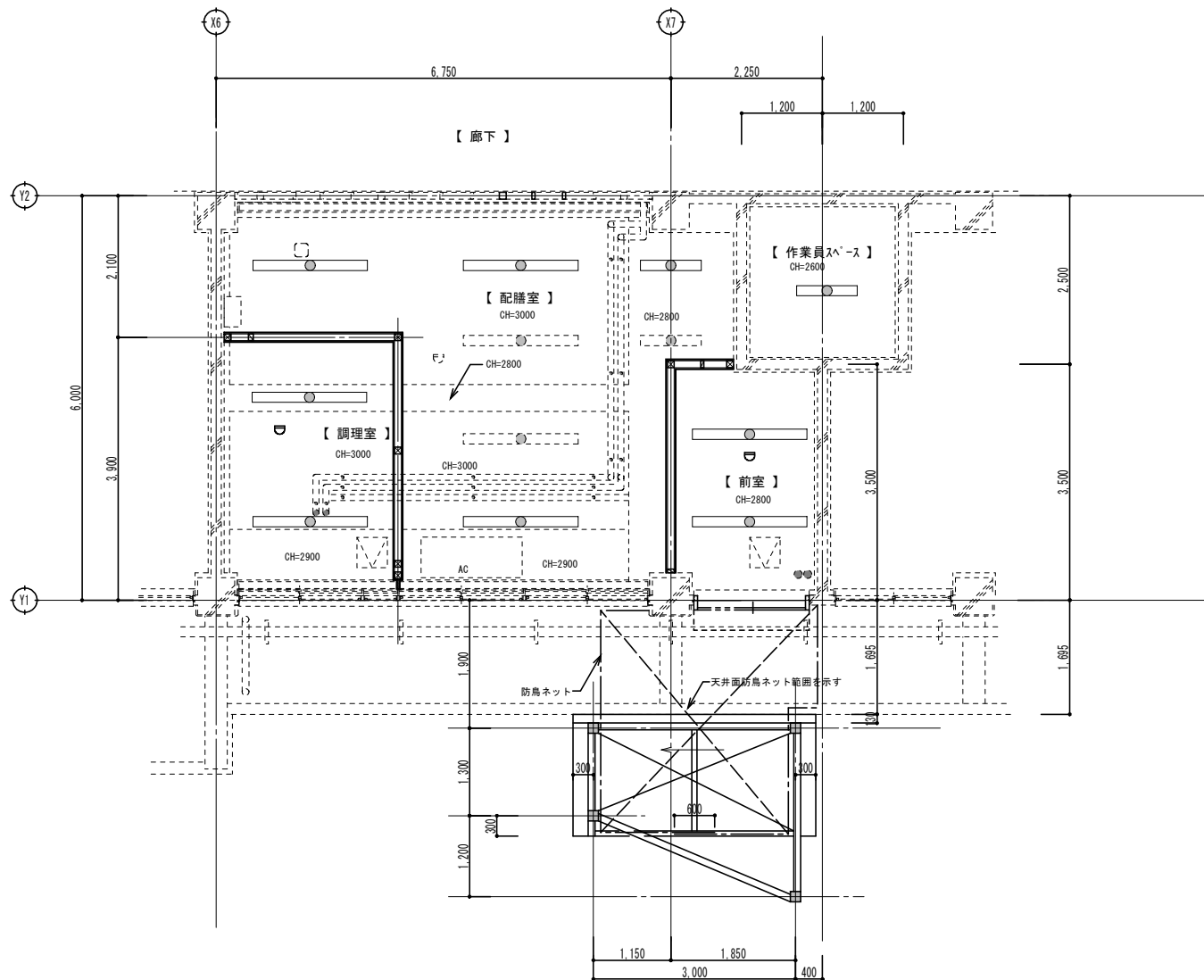
現況平面図（教室）



※ 既存LED照明器具は再利用するものとし、その他の照明器具は全て撤去するものとする。

- 凡 例
- 撤去施設を示す
 - 撤去範囲を示す
 - 既存蛍光灯を示す
 - 既存LED灯を示す
 - 既存火災報知器を示す
 - 既存天井点検口（450角）を示す

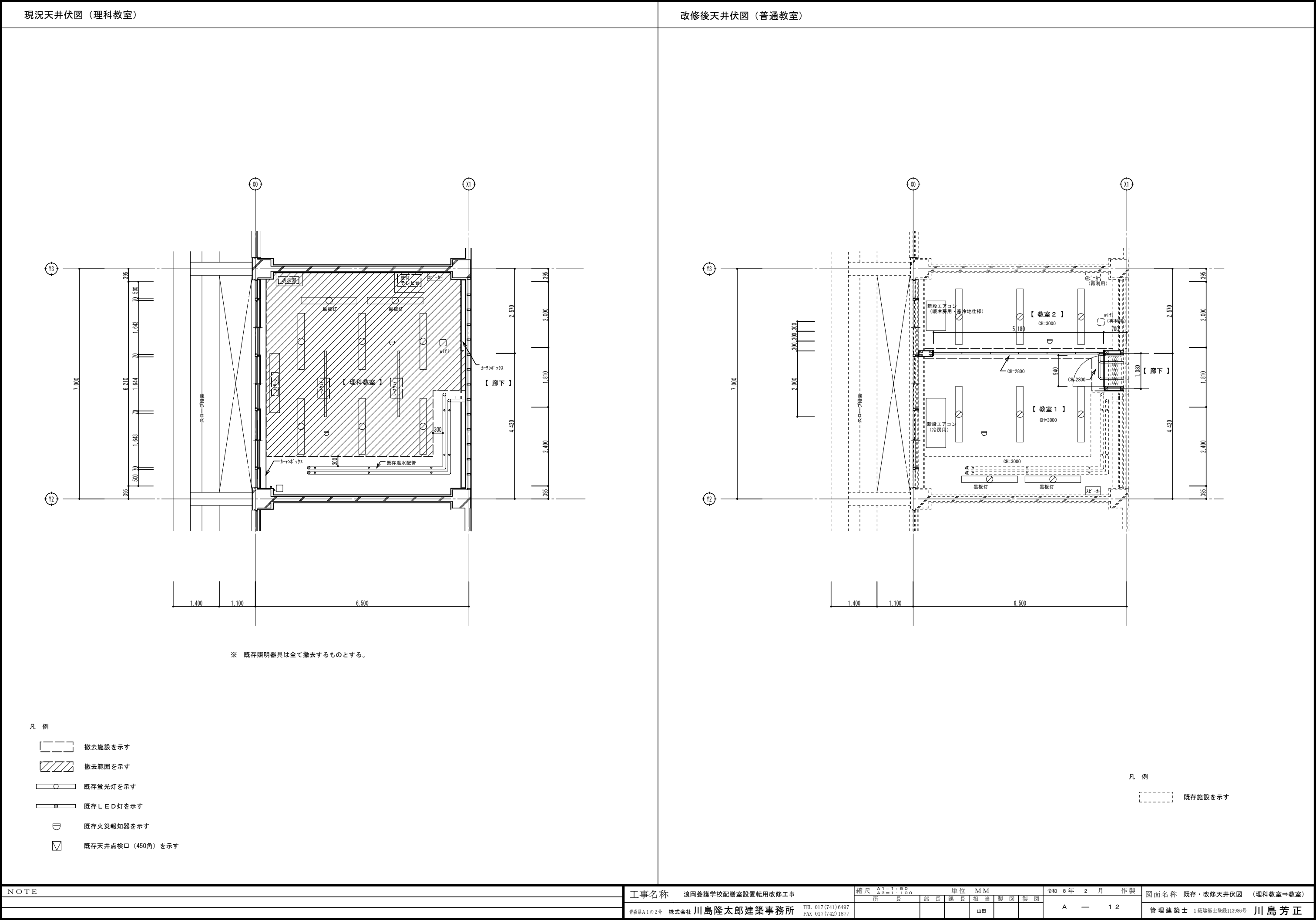
改修後平面図（配膳室）



- 凡 例
- 既存施設を示す

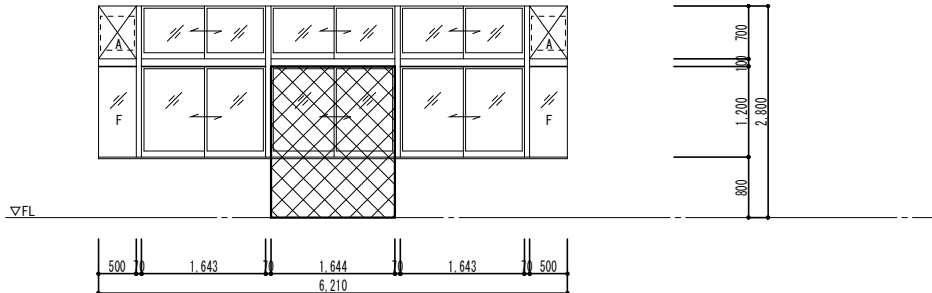
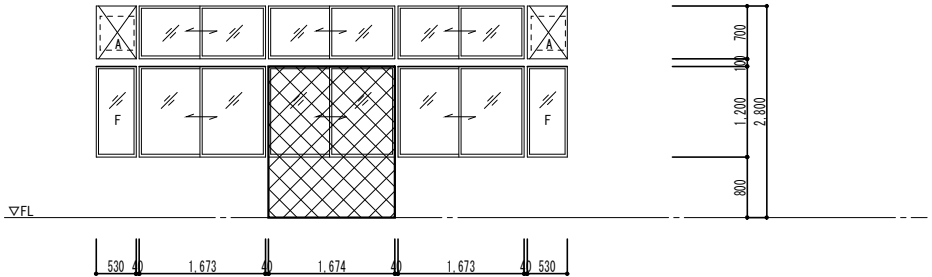
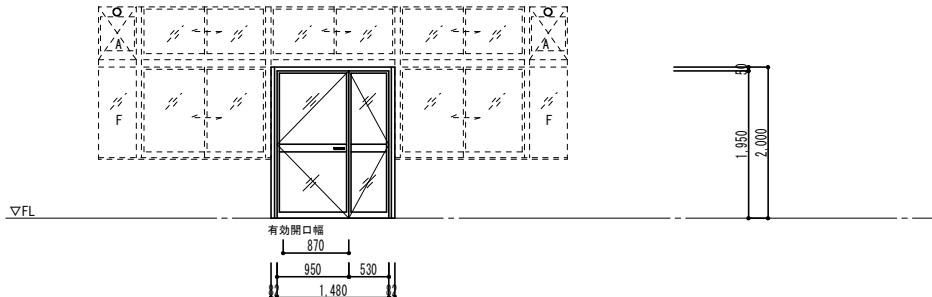
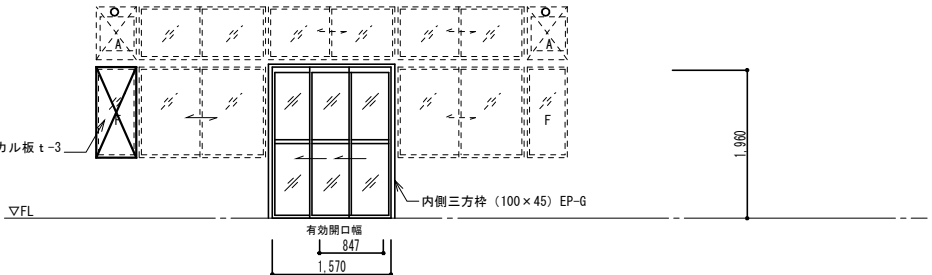
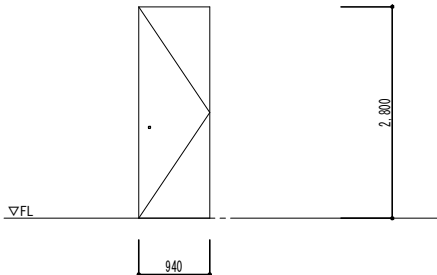
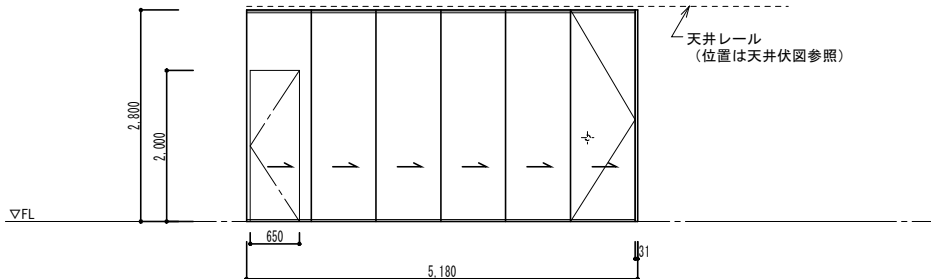
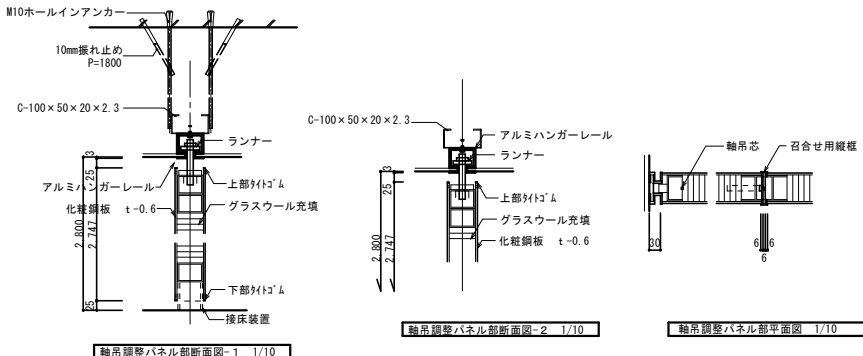

NOTE

工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事		縮尺 A3=1:500 A3=1:1000	単位 MM	令和 8 年 2 月 作製	図面名称 既存・改修天井伏図 (教室⇒配膳室)
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所	TEL 017 (741) 6497 FAX 017 (742) 1877	所 長	部 長 課 長 担 当 製 図 製 図	A — 1 1	管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正



記 号	<div><div>10</div><div>SS</div></div> 1階 配膳室(風除室)1ヶ所	<div><div>10</div><div>AD</div></div> 1階 教室 (CR7)1ヶ所	<div><div>11</div><div>AD</div></div> 1階 教室 (CR7)1ヶ所	<div><div>12</div><div>AD</div></div> 1階 教室 (CR7)1ヶ所	<div><div>10</div><div>AW</div></div> 1階 教室 (CR7)2ヶ所															
形 状																				
種 別 及 び 方 式	アルミ製引違い戸ランマ付き (既存建具)	ランマ付引違いガラス戸 (腰合板フラッシュ) (既存建具)	ビニール片引きカーテン (既存建具)																	
仕 上 げ 及 び 見 込	シルバー 枠見込 70	S O P 見込 40	ビニール																	
ガ ラ ス	FL3	FL3																		
金 物	引手・クレセント・水切皿板・押えアングル他一式	ランマ金物・ビニ鉄レール・ナイロン戸車・引手・埋込レール (SUSレール戸車付)	引手・ステンレスカーテンレール (D型) ランナー																	
摘 要																				
記 号	<div><div>10</div><div>SS</div></div> 1階 配膳室(風除室)1ヶ所	<div><div>10</div><div>AD</div></div> 1階 教室 (CR7)1ヶ所	<div><div>11</div><div>AD</div></div> 1階 教室 (CR7)1ヶ所	<div><div>12</div><div>AD</div></div> 1階 教室 (CR7)1ヶ所	<div><div>10</div><div>AW</div></div> 1階 教室 (CR7)2ヶ所															
形 状																				
種 別 及 び 方 式	スチール製軽量電動シャッター (カバー工法) SS:スチール t=0.6 塗装溶融亜鉛メッキ鋼板	アルミ製4本引分け戸 シルバー	アルミ製引戸 シルバー	アルミ製3本片引ハンガードア (連動) シルバー	アルミ製引違い窓 シルバー															
仕 上 げ 及 び 見 込		枠見込 100	枠見込 70	枠見込 100	枠見込 70															
ガ ラ ス		FL3・アルミ腰パネル	FL3・アルミ腰パネル	FL3・アルミ腰パネル	FL3															
金 物	シャッターボックス、ガイドレール、三方枠、シャッター錠、付属金物一式	引手・引棒 (両面)・クレセント・戸車・SUS製M型レール・アルミ製三方枠他一式	引棒 (両面)・戸車・非常解錠付錠錠・SUS製M型レール・アルミ製三方枠・中枠他一式	引棒 (両面)・戸車・非常解錠付錠錠・アルミ製三方枠他一式	クレセント・戸車・アルミ製三方枠他一式															
摘 要	電動開閉器、屋内用＋屋外用押しボタンスイッチ ※シャッターボックス躯体側パネルはスチール平板 t=1.6張りとする。																			
記 号																				
形 状																				
種 別 及 び 方 式																				
仕 上 げ 及 び 見 込																				
ガ ラ ス																				
金 物																				
摘 要																				
仕 上 げ の 種 別 と 符 号	ガラスの種類と符号		金物の種類と符号				法規則 (特定防火設備及び防火設備の種類と符号)				備考									
符号	種別	符号	種別	符号	種別	符号	種別	符号	種別	符号	種別	符号	種別	符号	種別	備考				
SOP	合成樹脂調合ペイント	FL	フロート板ガラス	Low-E	Low-E複層ガラス	支持金物	BH	丁番	ML	シリンダーモノロック	操作金物	NB	握り玉 (ステンレス製)	開閉調整	DC	ドアクローザー	㊦ 1	特定防火設備 (常時閉鎖扉、令112条19項1号)	・アルミ製サッシは結露受け付きとする。 ・排煙用OPはFL+800～1,500以下とする。	
CL	クリヤーラッカー	F	型板ガラス				BH ()	特殊丁番 (丁番)	DML	本締付モノロック		NB ()	握り玉 () 製		DC (1)	ドアクローザー (隠蔽型)		㊦ S1		特定防火設備 (随時閉鎖式扉、煙感知器連動、令112条19項1号)
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗装	PW	網入り磨き板ガラス				FH	フロアヒンジ	DL	シリンダー本締錠		LH	レバーハンドル		HC	引戸クローザー		㊦ 2		特定防火設備 (常時閉鎖扉、令112条19項2号)
DP-F	耐候性塗料 (フッ素樹脂エナメル)	PP	線入り磨き板ガラス				AH	オートヒンジ	CL ()	シリンダー箱錠 (ケースロック)		LH ()	アルミニウム合金製レバーハンドル		MS	アームストッパー		㊦ S2		特定防火設備 (随時閉鎖式扉、煙感知器連動、令112条19項2号)
DP-AS	耐候性塗料 (アクリルシリコン樹脂エナメル)	FW	網入り型板ガラス				PH	ピボットヒンジ	CL	特殊シリンダー箱錠			() 製		FR	フランス落し		㊦ 1		防火設備 (常時閉鎖扉、令112条第19項1号)
DP-U	耐候性塗料 (ポリウレタン樹脂エナメル)	FP	線入り型板ガラス				NH ()	軸吊りヒンジ	OM	空錠		CH	ケースハンドル		Z	閉鎖順位調整器		㊦ S1		防火設備 (随時閉鎖式扉、煙感知器連動、令112条19項1号)
EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント	H	熱線吸収板ガラス				NH	軸吊りヒンジ自閉装置付 (スプリングヒンジ)	PL	引き戸錠		PP ()	押板、引き手		DS	戸当り		㊦ H1		防火設備 (随時閉鎖式扉、熱感知器連動、令112条19項1号)
EP	合成樹脂エマルションペイント	HW	熱線吸収網入り磨き板ガラス						GL	グレモン錠			() 製		DS (F)	戸当り フック付		㊦ 2		防火設備 (常時閉鎖扉、令112条第19項2号)
UC	ウレタン樹脂ワニス	HP	熱線吸収線入り板ガラス				HAH	ヒンジクローザー丁番形	HL	点検口錠		XP ()	編込み引き手		DS ()	戸当り		(防)		防火設備 (法第2条九の2ロ)
WP	木材保護塗料	HR	熱線反射ガラス				PAH	ヒンジクローザーピボット形 (ピボットオートヒンジ)	EL	電気錠		SH ()	特殊ハンドル (ハンドル)		OP	排煙用オペレーター		㊦ 5		自閉式不燃扉
		HRR	高性能熱線反射ガラス				T	戸車・レール	BH	非常錠					M	マグネットセンサー				
		HRC	熱線吸収反射板ガラス												HP	ホース通過口				
		T	強化ガラス												L1	施錠錠表示付				
		L	合わせガラス																	
		P	複層ガラス																	
		HS	倍強度ガラス																	

NOTE	工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	単位 MM	令和7年11月	作製	図面名称 建具表ー1			
	青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	所 長	部 長	課 長	担 当	製 図	製 図	Aー13	管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

記 号	2階 理科教室 1ヶ所	2階 理科教室 1ヶ所	
形 状			
種 別 及 び 方 式	アルミ製ランマ付き引違い＋F 1 X連窓 (既存建具)	木製ガラス窓 (既存建具)	
仕 上 げ 及 び 見 込	シルバー 枠見込 70	S O P 見込 30	
ガ ラ ス	P W 6.8 アルミパネル t=2.0	P L 3.0	
金 物	網戸・引手・クレセント・水切・結露受け・アングル他一式	引手・戸車・レール他一式	
摘 要			
記 号	13階 教室 1ヶ所	10階 教室 1ヶ所	10階 教室 1ヶ所
形 状			
種 別 及 び 方 式	ステンレス製親子扉 (カバー工法)	木製3本引きガラス戸	木製戸
仕 上 げ 及 び 見 込	ヘアライン 枠見込 100	E P - G 見込 30	E P - G 見込 30
ガ ラ ス	P W 6.8	S T 4.0	
金 物	レバーハンドル・錠付サムターン錠・丁番・フランス落し・水切・カバー、アングル他一式	引手・戸車・レール・連結金具他一式	ピボット式収納引手・スライド蝶番・マグネットキャッチ他一式
摘 要	防火設備		
記 号	10階 教室 1ヶ所		
形 状			
種 別 及 び 方 式	遮音スライディングウォール		
仕 上 げ 及 び 見 込	化粧銅板 t=0.6 見込 80		
ガ ラ ス	P W 6.8		
金 物	アルミ製サイドフレーム、接床装置、鋼製ハンガーレール、圧着装置 (専用クランクハンドル) その他付属金物一式		
摘 要			
仕 上 げ の 種 別 と 符 号			
符号	種別	符号	種別
SOP	合成樹脂調合ペイント	FL	フロート板ガラス
CL	クリアーラッカー	F	型板ガラス
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗装	PW	網入り磨き板ガラス
DP-F	耐候性塗料 (フッ素樹脂エナメル)	PP	網入り磨き板ガラス
DP-A	耐候性塗料 (アクリルシリコン樹脂エナメル)	FW	網入り型板ガラス
DP-U	耐候性塗料 (ポリウレタン樹脂エナメル)	FP	網入り型板ガラス
EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント	H	熱線吸収ガラス
EP	合成樹脂エマルジョンペイント	HW	熱線吸収網入り磨き板ガラス
UC	ウレタン樹脂ワニス	HP	熱線吸収網入り板ガラス
WP	木材保護塗料	HR	熱線反射ガラス
		HHR	高性能熱線反射ガラス
		HRC	熱線吸収反射板ガラス
		T	強化ガラス
		L	合わせガラス
		P	複層ガラス
		HS	倍強度ガラス
金 物 の 種 別 と 符 号			
符号	種別	符号	種別
BH	丁番	ML	シリンダーモノロック
BH ()	特殊丁番 (丁番)	DML	本締付モノロック
FH	フロアヒンジ	DL	シリンダー本締錠
AH	オートヒンジ	CL ()	シリンダー箱錠 (ケースロック)
PH	ピボットヒンジ	CL	特殊シリンダー箱錠
NH ()	軸吊りヒンジ	OM	空錠
NH	軸吊りヒンジ自閉装置付 (スプリングヒンジ)	PL	引き戸錠
HAH	ヒンジクローザー丁番形	GL	グレモン錠
PAH	ヒンジクローザーピボット形 (ピボットオートヒンジ)	HL	点検口錠 (平面ハンドル錠)
T	戸車・レール	EL	電気錠
		BH	非常錠
法 規 則 (特 定 防 火 設 備 及 び 防 火 設 備 の 種 別 と 符 号)			
符号	種別	符号	種別
①	特定防火設備 (常時閉鎖扉、令112条19項1号)	DC	ドアクローザー
S1	特定防火設備 (随時閉鎖式扉、煙感知器連動、令112条19項1号)	DC (1)	ドアクローザー (隠蔽型)
②	特定防火設備 (常時閉鎖扉、令112条19項2号)	HC	引戸クローザー
S2	特定防火設備 (随時閉鎖式扉、煙感知器連動、令112条19項2号)	MS	アームストッパー
③	防火設備 (常時閉鎖扉、令112条第19項1号)	FR	フランス落し
S1	防火設備 (随時閉鎖式扉、煙感知器連動、令112条19項1号)	Z	閉鎖順位調整器
H1	防火設備 (随時閉鎖式扉、熱感知器連動、令112条19項1号)		
④	防火設備 (常時閉鎖扉、令112条第19項2号)	DS	戸当り
(防)	防火設備 (法第2条九の2ロ)	DS (F)	戸当り フック付
⑤	自閉式不燃扉	DS ()	戸当り
		OP	排煙用オペレーター
		M	マグネットセンサー
		HP	ホース通過口
		L1	施錠表示付
備 考			
・アルミ製サッシは結露受け付きとする。 ・排煙用OPはFL+800～1,500以下とする。			
 撤去範囲を示す			
NOTE			
工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事		縮尺 A1=1:50, A3=1:100, A2=1:200 単位 MM	
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所		令和7年11月 作製	
TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877		図面名称 建具表-2	
所長 部長 課長 担当 製図 製図		管理建築士 1級建築士登録113985号 川島芳正	

記号	名 称	外形寸法(m/m)			数	給 排 水			ガ ス (LPGガス)		電 気 (W)			蒸 気			フ ィ ド	備 考
		間 口	奥 行	高 さ		給水(A) ○	給湯(A) ■	排水(A) ⊕	ヒ ッ ト	口圧(A) ▲△○	消費量 (W)	単相(W) ⊕	三相(W) ⊕	三相(W) ⊕	給気(A) □	排気(A) ■		
C-1	消 毒 保 管 機 (別途工事)	550	550	1900	1			40					3.100				収容数 まな板5枚 包丁16本 棚3段 内装3	
C-2	二 槽 シ ン ク	1500	600	850	1	20×2	20×2	50×2									ドライ仕様	
C-3	台 下 戸 棚	1200	600	850	1													
C-4	牛 乳 保 冷 庫 (別途工事)	750	900	1970	1			40				0.205					定格内容積712L カギ付き (扉上)	
C-5	冷 凍 庫 (別途工事)	750	800	1910	1			40				0.375					定格内容積616L	
C-6	ソリッドエレクトークシェルフ	1520	614	900	2												2段	
C-7	スーパーエレクトークシェルフ	1518	613	1892	1												4段	
	設 備 容 量 合 計									0.00	1.500	0.000	3.100			0.0		

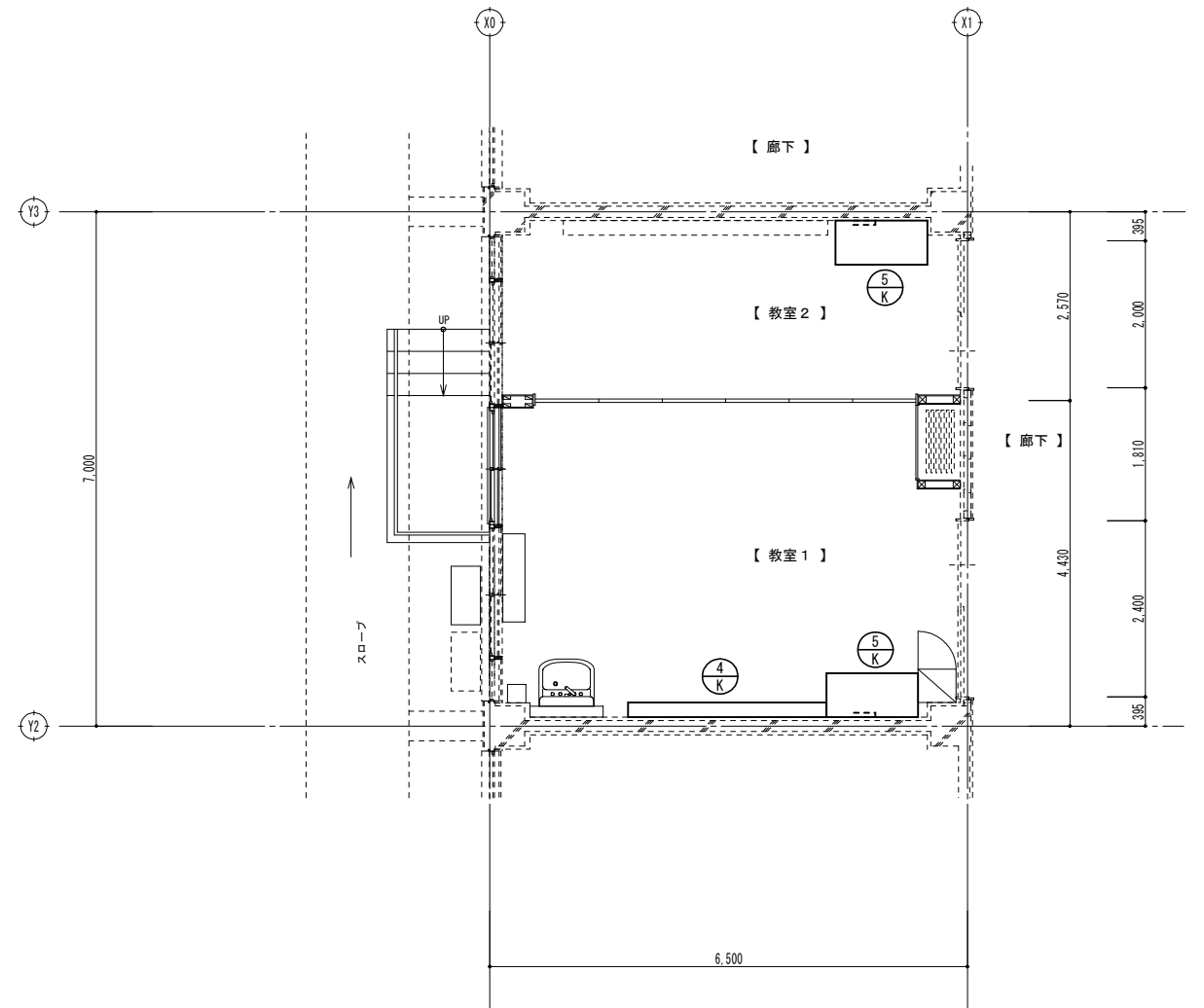
家具伏図（配膳室） 1 : 50

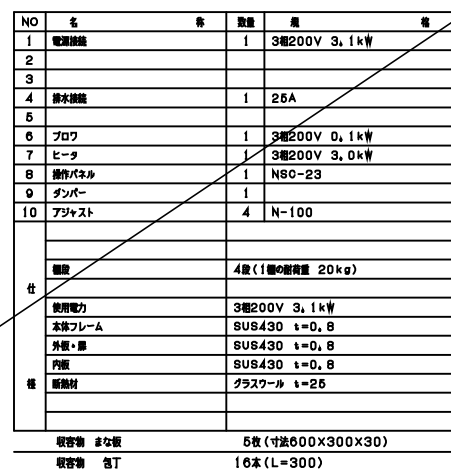
記号	名 称	外形寸法(m/m)				数 量	仕 様
		開口(1)	開口(2)	高さ(1)	高さ(2)		
N-1	サイドネット	1000	400	3300	3300	1	ポリエチレン/無結節 2.0mm 網目 15mm 重さ256g/m ²
N-2	サイドネット	650	200	3900	3500	1	同 上
N-3	サイドネット	1150	1750	3500	3500	1	同 上
N-4	サイドネット	1150	1750	3500	3500	1	同 上
N-5	サイドネット	650	500	3900	3500	1	同 上
N-6	サイドネット	500	700	3300	3300	1	同 上
N-7	天幕ネット	3000	1680	—	—	1	同 上

NOTE

管理建築士 1級建築士登録113986号 川

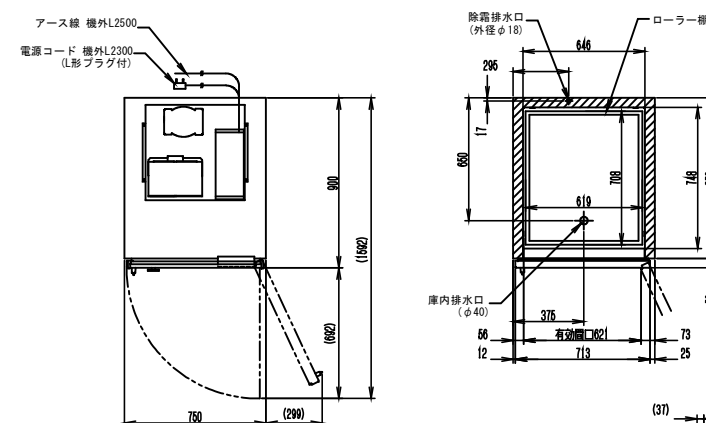
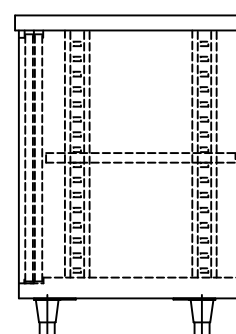
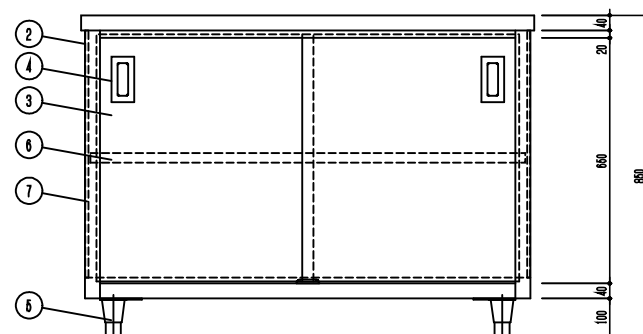
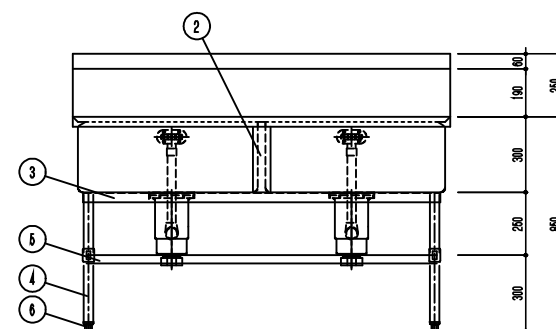
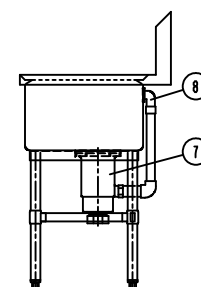
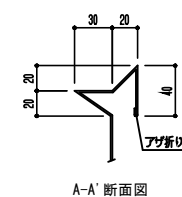
家具伏図（普通教室） 1 : 50



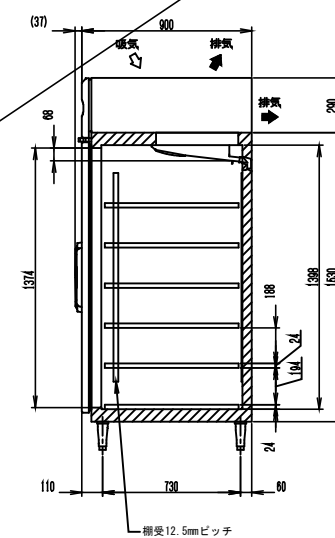
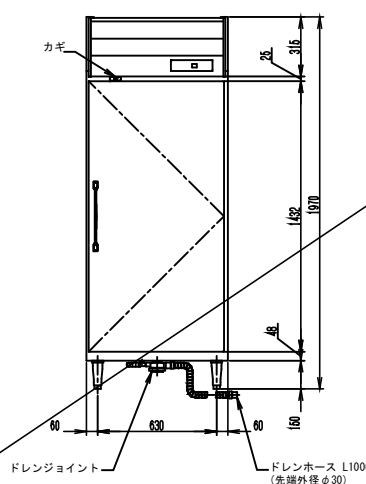


Technical drawing of a rectangular panel with two circular features. The drawing includes dimensions: overall width 1600, overall height 900, and internal dimensions of 665 and 410. A callout '1' points to the left circular feature.

品番	名 称	備 考
1	槽 板	SUS 430 1,2t No.4
2	化 粧 板	SUS 430 0,8t No.4
3	槽 強 枠	SUS 430 L3×40×40
4	パイ プ 脚	SUS 430 φ38 1,2t (継手付)
5	パイ プ 棒	SUS 430 □32×16 1,0t
6	ア ジ ャ ス ト	SUS 304
7	排水トラップ	カゴ付排水トラップ 80A (排水アダプター付) / TO-109BK
8	オーバーフロー	小判型 / TO-232P

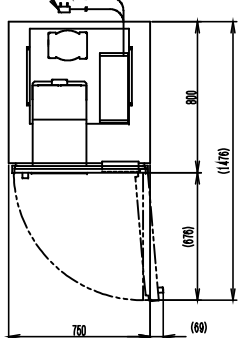


製品名	牛乳絞り機
電源	単相100V 50/60Hz 容量 0.43kVA (4.3A)
電圧	運転電圧 3.3/3.3A 電圧変動率 3%/1.5 IA
消費電力	電機消費電力 150W (150W/100V/400V) 電熱消費電力 80W 冷却機消費電力 200/200W 電熱消費電力 22/22W
放熱量	450/400W
電源コード	2.9m (L形プラグ付)
定格内容	712L
外形寸法	幅750×奥行900×高さ1970 (H=2000) mm
内寸法	幅740×奥行740×高さ1390mm
外装	ステンレス製、鋼板製 (鋼板、鋼板) 多層クリアコートステンレス製 (フロントパネル・扉)
内装	ステンレス鋼板
断熱材	硬質ポリウレタン一体発泡
冷却方式	強制対流式
除霜方式	オフサイクル式
圧縮機	全密封形 出力170W (インバータ)
制御部	フィンチューブ形 強制空冷式
圧縮機	フィンチューブ形
圧縮機	R000a
庫内温度制御	マイコン制御 (デジタル温度表示) 0~16℃調節可能
除霜制御	マイコン制御
電気回路保護	アース線
冷却回路保護	ケースサーモによる圧縮機停止 (自動復帰)
扉	樹脂製 (150~190mm開閉可能)
箱	ローラー棚付
製品質量	126kg (梱包時 151kg)
付属品	専用運転シート、 drenホース2本、 ショークローグ
使用条件	庫内温度 0~30℃ 庫内湿度 1 (容積容積の土 0.5%) 以下



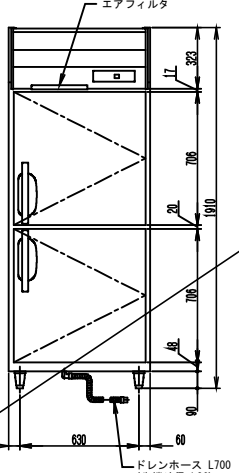
NOTE	工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事 青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	縮尺 A1=1:10, 15, 20 A3=1:20, 30, 40 単位 MM						令和 8 年 2 月 作製	図面名称 家具詳細図-1
		所 長	部 長	課 長	担 当	製 図	製 図	A — 16	管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

アース線 機外L2500
電源コード 機外L2300
(L形プラグ付)



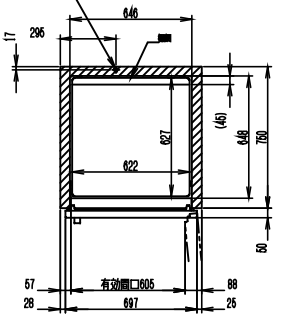
800
(1478)
(878)
750
(60)

エアフィルタ




322
17
706
20
1010
106
46
80
60
630
60
ドレンホース L700
(先端外径φ26)

除湿排水口
(外径φ18)

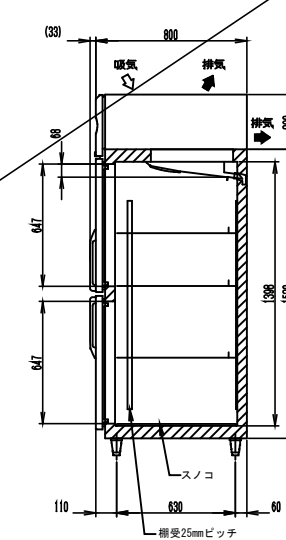


296
17
646
(46)
750
68
822
627
67
28
有効開口805
697
25

L形プラグ形状

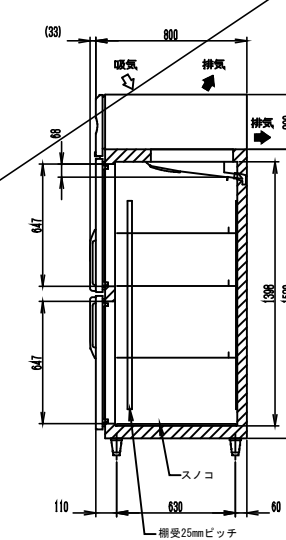


800
(33)



48
8
641
641
110
630
60
スノコ
棚受25mmピッチ

吸気
排気



製品名

冷凍庫

電源	単相100V 50/60Hz 容量0.57kVA(5.7A)
電流	運転電流 2.8/2.8A 電圧低下時電流 2.4/2.4A
消費電力	電圧低下時消費電力 156/164W(1.56/1.64kW) 電圧低下時消費電力 156/164W(1.56/1.64kW)
放熱量	410/410W
電源コード	2.3m(L形プラグ付)
定格内容積	816L
外形寸法	幅760×奥行800×高さ1910(〜1940)mm
内形寸法	幅640×奥行640×高さ1308mm
外装	ステンレス調板、樹脂調板(後部、底部) 多層クリアコートステンレス調板(フロントパネル・扉)
内装	ステンレス調板、ABS樹脂
断熱材	硬質ポリウレタン樹脂一体発泡
冷却方式	強制対流式
除霜方式	ヒータ式
圧縮機	全密閉形 出力190W(インバータ)
凝結器	フィン&チューブ形 強制空冷式
冷却器	フィン&チューブ形
冷凍	R600a
庫内温度制御	マイコン制御(デジタル温度表示)・25〜7℃調節可能
除霜制御	マイコン制御
電気回路保護	アース線
冷蔵回路保護	過負荷保護時間による圧縮機停止(自動復帰)
扉	樹脂製90〜120mm調整可能
棚	樹脂製(3枚)・スノコ(1枚)
製品質量	91kg(梱包時 98kg)
付属品	ドレンホース
使用条件	周囲温度5〜38℃ 電圧変動：定格電圧の±10%以内


別途工事

C-6

ソリッドエレクターシェルフ

2台

1 / 15

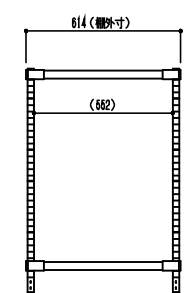


1619(梱包寸)

(1467)

800
155.8

①
②



614(梱包寸)

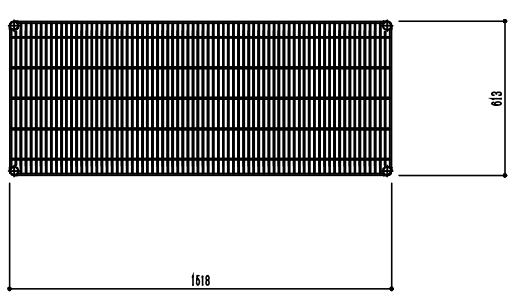
(582)

C-7

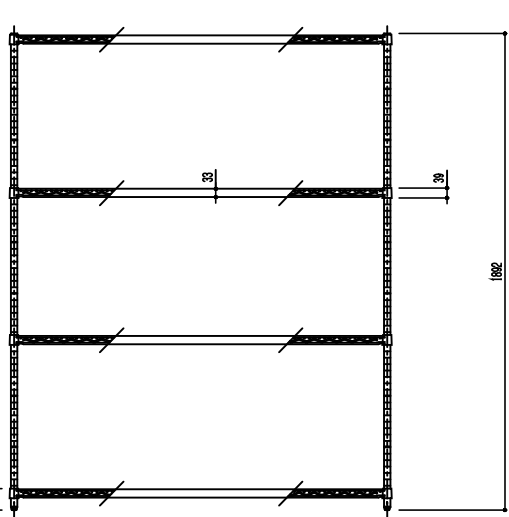
スーパーエレクターシェルフ

1台

1 / 15

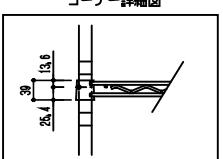


1618
613



22
39
1802
最大棚高さ 61mm

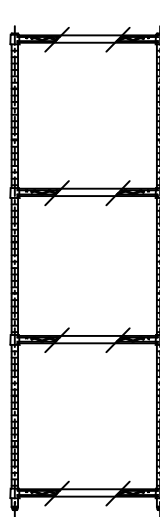
コーナー詳細図



名 称

備 考

棚	線径φ3.7、φ4.8、φ5.0、φ6.3の軟鋼線材(SMRW 8〜10)
	コナレ・2D-4Jシステム組む無機系抗菌剤配合79Jk2-フィン
	ABS製「パネリング」にて固定
柱	外径φ25.4、肉厚1.2mmのSUS304パイプ #600研磨 (相当)
	(溝間隔25.4mmピッチ)
	柱上端：ポリキャップ
	下端：亜鉛ダイカストナット圧入
	アジャストボルト：スチール鍛造・ユニクロメッキ
	(アジャストボルトの調整範囲は17mm)



NOTE

工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事

縮尺 A1=1:15.20
A3=1:30.40

単位 MM

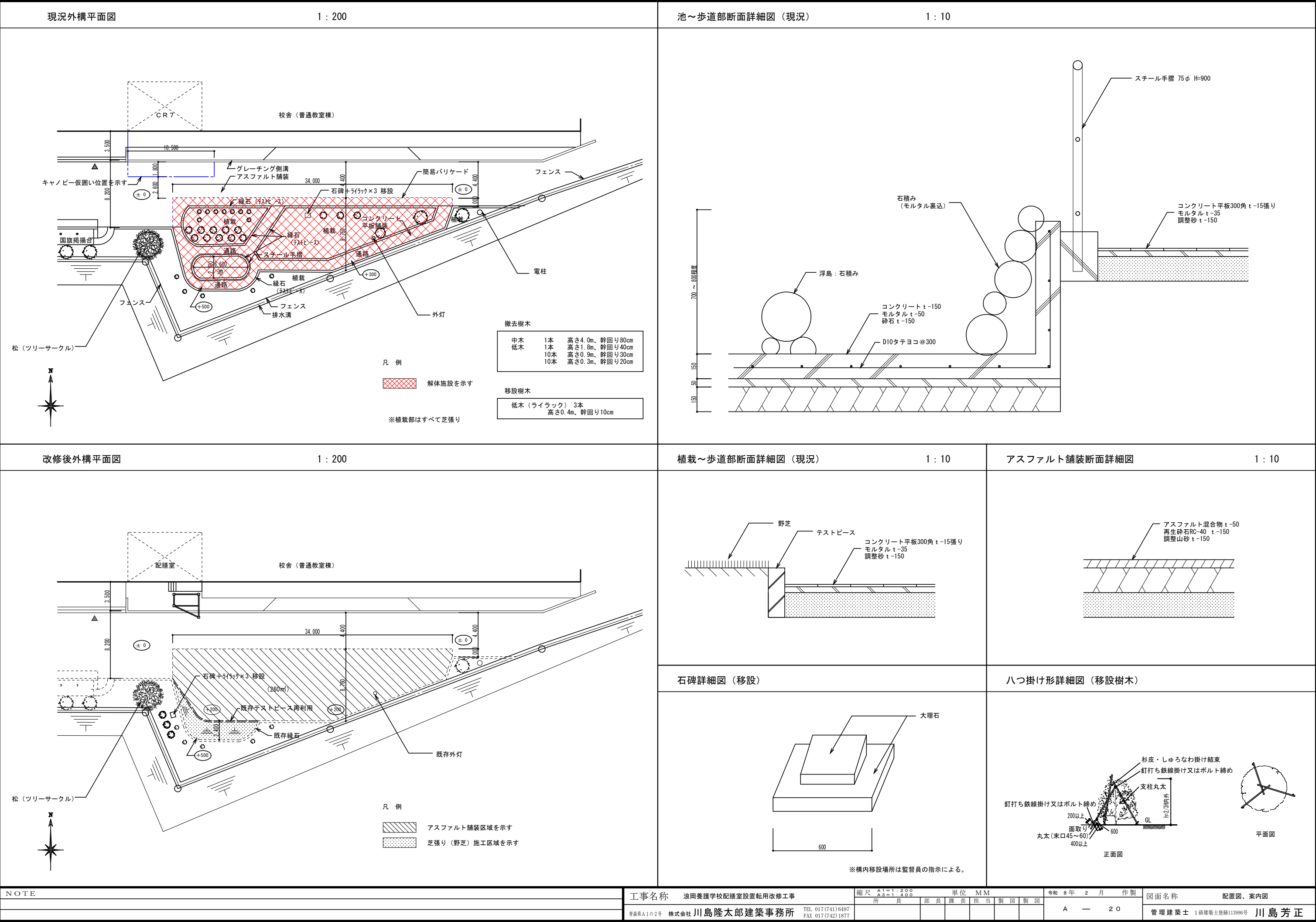
令和 8 年 2 月 作製

図面名称 家具詳細図-2

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

共通仕様			教室（7）	用具庫	1 台	1 / 3 0	教室（7）	掲示板	3 台	1 / 3 0	教室（7）	テレビ台	1 台	1 / 3 0																																							
<table><tr><td>本 体</td><td>両面メラミン化粧パーティクルボード</td><td>2 0 mm厚</td></tr><tr><td>木 口</td><td>フラットエッジ</td><td>ダブシート 0. 4 5 mm厚</td></tr><tr><td></td><td>リングルエッジ</td><td>エンビシート 2 mm厚</td></tr><tr><td>扉</td><td>メクラ戸</td><td>両面メラミン化粧パーティクルボード</td></tr><tr><td>引違戸</td><td></td><td>両面メラミン化粧パーティクルボード</td></tr><tr><td>棚 板</td><td>両面メラミン化粧パーティクルボード</td><td>2 0 mm厚</td></tr><tr><td>背 板</td><td></td><td>ポリ化粧合板</td></tr><tr><td>巾木 幕板</td><td></td><td>メラミン化粧板貼り</td></tr><tr><td>金 物</td><td></td><td>ステンレス製</td></tr><tr><td>丁 番</td><td></td><td>スライド丁番（ダンパー付）</td></tr><tr><td>上・下レール</td><td>引違戸 上</td><td>樹脂成型品</td></tr><tr><td></td><td>引違戸 下</td><td>アルミフラッターレール</td></tr><tr><td>ガラス</td><td></td><td>強化ガラス 4 mm</td></tr><tr><td></td><td></td><td>※特記以外は上記の仕様とする</td></tr></table>			本 体	両面メラミン化粧パーティクルボード	2 0 mm厚	木 口	フラットエッジ	ダブシート 0. 4 5 mm厚		リングルエッジ	エンビシート 2 mm厚	扉	メクラ戸	両面メラミン化粧パーティクルボード	引違戸		両面メラミン化粧パーティクルボード	棚 板	両面メラミン化粧パーティクルボード	2 0 mm厚	背 板		ポリ化粧合板	巾木 幕板		メラミン化粧板貼り	金 物		ステンレス製	丁 番		スライド丁番（ダンパー付）	上・下レール	引違戸 上	樹脂成型品		引違戸 下	アルミフラッターレール	ガラス		強化ガラス 4 mm			※特記以外は上記の仕様とする									
本 体	両面メラミン化粧パーティクルボード	2 0 mm厚																																																			
木 口	フラットエッジ	ダブシート 0. 4 5 mm厚																																																			
	リングルエッジ	エンビシート 2 mm厚																																																			
扉	メクラ戸	両面メラミン化粧パーティクルボード																																																			
引違戸		両面メラミン化粧パーティクルボード																																																			
棚 板	両面メラミン化粧パーティクルボード	2 0 mm厚																																																			
背 板		ポリ化粧合板																																																			
巾木 幕板		メラミン化粧板貼り																																																			
金 物		ステンレス製																																																			
丁 番		スライド丁番（ダンパー付）																																																			
上・下レール	引違戸 上	樹脂成型品																																																			
	引違戸 下	アルミフラッターレール																																																			
ガラス		強化ガラス 4 mm																																																			
		※特記以外は上記の仕様とする																																																			
※ 仕様材料は全てF☆☆☆☆に適合する事																																																					
教室（7）			アルミ枠 UD平面白板	W2700xH1200	1 台	1 / 1 5	理科教室	収納棚	2 台	1 / 3 0	理科教室	壁面収納棚	1 台	1 / 3 0																																							
理科教室			流し台		1 台	1 / 3 0																																															
NOTE			工事名称			浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事	縮尺			単位			令和 8 年 2 月 作製			図面名称																																					
			青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所			TEL 017 (741) 6497 FAX 017 (742) 1877	A3=1:150,30 A3=1:30,60			所 長			部長 課長 担当 製図 製図			A — 1 9																																					
																管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正																																					



新鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
(2) 記号
d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値 (径) D…部材の成、又は鉄筋内法直径
@…間隔 r…半径 C…中心線 L…部分間の内法距離 h…部材間の内法高さ
S T…あばら筋 H O O P…帯筋 S. H O O P…補強帯筋

2. 鉄筋加工

(1) 鉄筋の折り曲げ加工

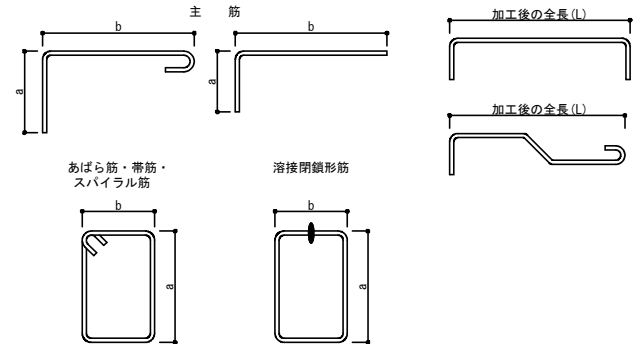
図	折り曲げ角度	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内法直径(D)
	180°	SD295A SD295B SD345	D16以下	3d以上
	135°		D19~D41	4d以上
	90°	SD390	D41以下	5d以上
		SD490	D25以下	
			D29~D41	6d以上

- [注] (1) dは呼び名に用いた数値とする。
(2) スパイラル筋の重ね継手部に90° フックを用いる場合は、余長は12d以上とする。
(3) 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90° フックまたは135° フックを用いる場合は、余長は4d以上とする。
(4) スラブ筋、壁筋には、溶接金網を除いて丸鋼を使用しない。
(5) 折り曲げ内法直径を上表の数値よりも小さくする場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い支障ないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。
(6) SD490の鉄筋を90° を超える曲げ角度で折り曲げ加工する場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い、支障ないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。

(2) 加工寸法の許容差

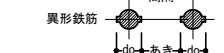
項	目	符 号	許 容 差
各加工寸法 ⁽¹⁾	主 筋	D25以下	a, b ± 15
		D29以上D41以下	a, b ± 20
	あばら筋・帯筋・スパイラル筋	a, b	± 5
加工後の全長			L ± 20

- [注] (1) 各加工寸法及び加工後の全長の測り方の例を下図に示す。



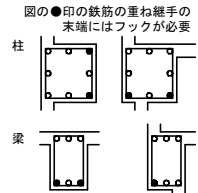
(3) 鉄筋のあき

異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上、粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mmのうち最も大きい値。



(4) 鉄筋のフック

- a～eに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。
a. あばら筋、帯筋、および幅止メ筋
b. 煙突の鉄筋 (壁の一部となる場合を含む)
c. 柱、梁 (基礎梁は除く) の出ずり部分および下端の両端にある場合の鉄筋 (右図参照)
d. 単純梁の下端筋
e. その他、本配筋標準に記載する箇所



(5) かぶり厚

1. 最少かぶり厚さは、規定する設計かぶり厚さを10mm減じた値とする。
2. 設計かぶり厚さは、コンクリート打込み時の変形・移動などを考慮して、最少かぶり厚さが確保されるように、部位・部材ごとに定めるものとし、表記以上の値とする。

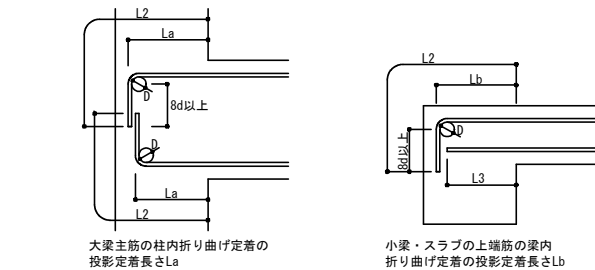
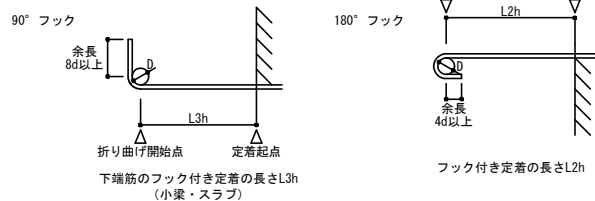
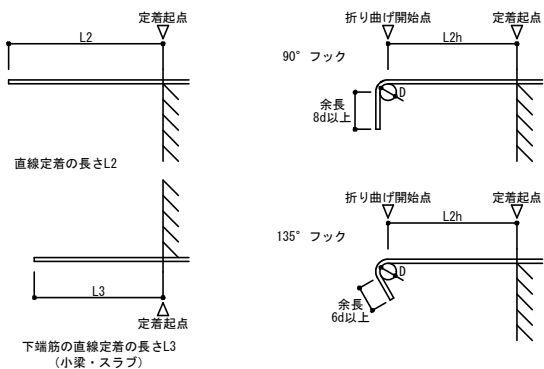
設計のかぶり厚さ (単位: mm)		標準・長期		超長期	
部材の種類		屋 内	屋 外 ⁽²⁾	屋 内	屋 外 ⁽²⁾
構造部材	柱・梁・耐力壁	40	50	40	50
	床スラブ・屋根スラブ	30	40	40	50
非構造部材	構造部材と同等の耐久性を要求する部材	30	40	40	50
	計画供用期間中に維持保全を行う部材 ⁽¹⁾	30	40	(30)	(40)
直接土に接する柱・梁・壁・床および布基礎の立上り部分、擁壁の壁部分		50			
基礎、擁壁の基礎、底盤		70			

- 注) (1) 計画供用期間の級が超長期で計画供用期間中に維持保全を行う部材では、維持保全の周期に応じて定める。
(2) 計画供用期間の級が標準・長期および超長期で、耐久性上有効な仕上げを施す場合は、屋外側では設計かぶり厚さを10mm減じることができる。

(6) 定着長さ

鉄筋種別	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²)	定 着 の 長 さ					
		一 般				小梁下端筋	
		L2 (フックなし)	L2h (フックあり)	La ⁽³⁾	Lb	L3 (フックなし)	L3h (フックあり)
SD295A SD295B	18	40d	30d	20d	15d		
	21	35d	25d	15d	15d		
	24~27	30d	20d	15d	15d		
	30~36	30d	20d	15d	15d		
	39~45	25d	15d	15d	15d		
	48~60	25d	15d	15d	15d		
SD345	18	40d	30d	20d	20d		
	21	35d	25d	20d	20d		
	24~27	35d	25d	20d	15d	20d	
	30~36	30d	20d	15d	15d		
	39~45	30d	20d	15d	15d		
	48~60	25d	15d	15d	15d		
SD390	21	40d	30d	20d	20d		
	24~27	40d	30d	20d	20d		
	30~36	35d	25d	20d	15d		
	39~45	35d	25d	15d	15d		
	48~60	30d	20d	15d	15d		
SD490	24~27	45d	35d	25d	—	—	—
	30~36	40d	30d	25d	—	—	—
	39~45	40d	30d	20d	—	—	—

- [注] (1) フック付き鉄筋の定着長さL2hは、定着起点から鉄筋の折り曲げ開始点までの距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は定着長さに含まない。
(2) フック部の折り曲げ内法直径D及び余長は、「鉄筋の折り曲げ加工」の表による。
(3) 梁主筋を柱へ定着する場合、水平定着長さがL2h確保できない場合は折り曲げ定着とし、全定着長をL2以上とするともに、水平投影長さをLa以上とし、余長を8d以上とする。尚、Laの値は原則として柱せいの3/4倍以上とする。
(4) 耐力スラブの下端筋の定着長は一般定着L2とする。



(7) 継手

■重ね継手

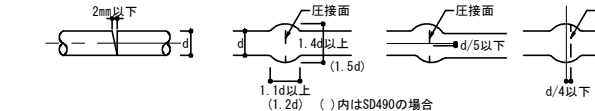
鉄筋種別	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²)	重ね継手長さ	
		L1 (フックなし)	L1h (フックあり)
SD295A SD295B	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24~27	35d	25d
	30~36	35d	25d
	39~45	30d	20d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24~27	40d	30d
	30~36	35d	25d
	39~45	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24~27	45d	35d
	30~36	40d	30d
	39~45	40d	30d
	48~60	35d	25d
SD490	24~27	55d	40d
	30~36	50d	35d
	39~45	45d	35d
	48~60	40d	30d

- [注] (1) 表中のdは、異形鉄筋の呼び名の数値を表し、丸鋼には適用しない。
(2) 直径の異なる鉄筋相互の重ね継手の長さは、細い方のdによる。
(3) フック付き重ね継手の長さは、鉄筋相互の折り曲げ開始点間の距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は継手長さに含まない。

■継手に関する注意

1. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
2. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない。
3. 鉄筋径dの差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない。
4. ガス圧接継手の形状、および継手の配置は下図による。

- ・ガス圧接形状 (平成12年建設省告示1463号下図のほか、折れ曲がり、焼き割れ、へこみ、垂れ下がり及び内部欠損がないもの)



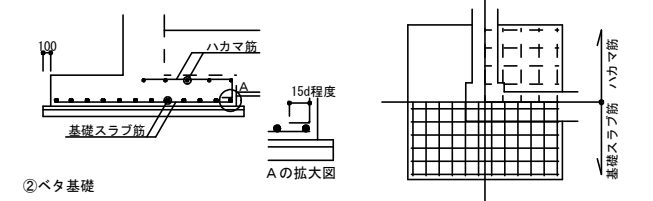
5. 溶接継手および機械継手を用いる場合は、信頼できる機関の評定を受けたA級継手工法とする。
6. 非破壊検査は工事監理者が承認した信頼できる検査機関で行うこと。

3. 杭・基礎

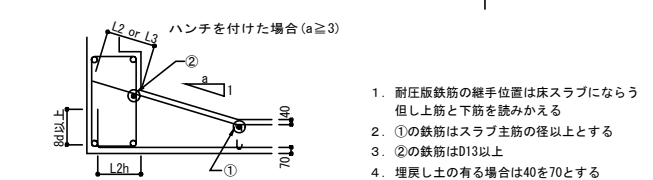
(配筋については地震力等の水平力等を考慮して別途検討すること)

(1) 直接基礎

①独立基礎

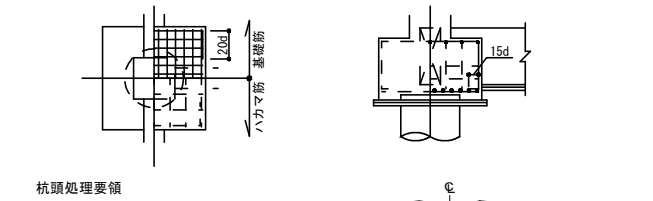


②ベタ基礎

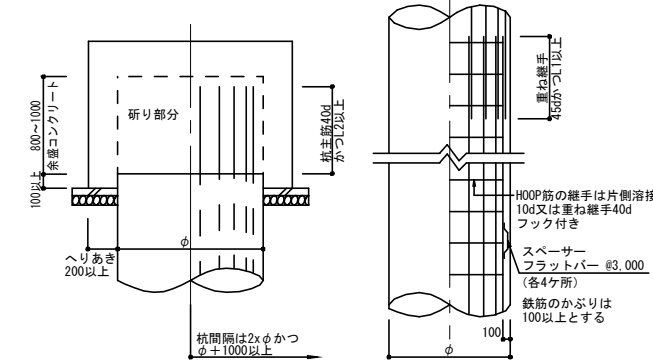


(2) 杭基礎

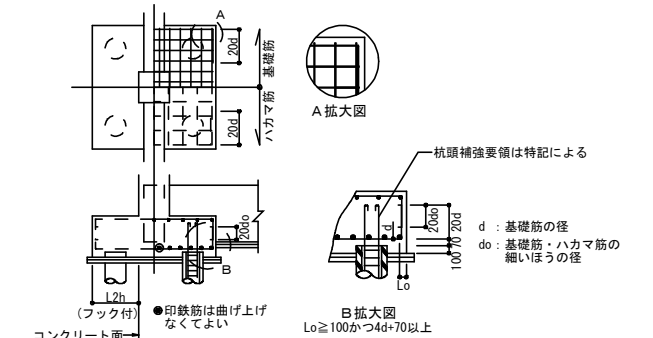
①場所打ち杭



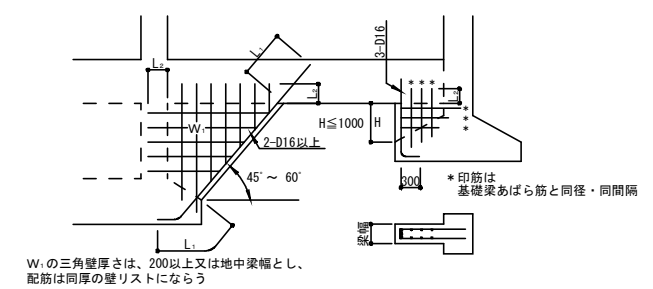
杭頭処理要領



①PHC杭



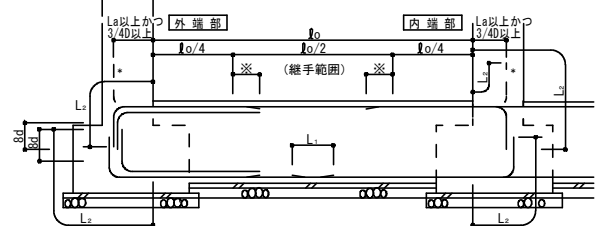
(3) 基礎接合部の補強



新鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

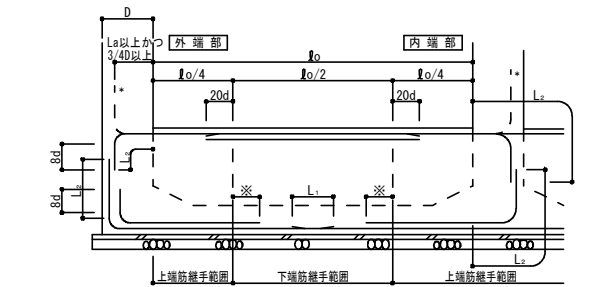
4. 地中梁 ※ L2 = 40d とする。

(1) 独立基礎、杭基礎の場合でスラブが付かない場合 (定着、継手)
(スラブが付く場合の継手は、6. (2) 大梁継手位置とする。)



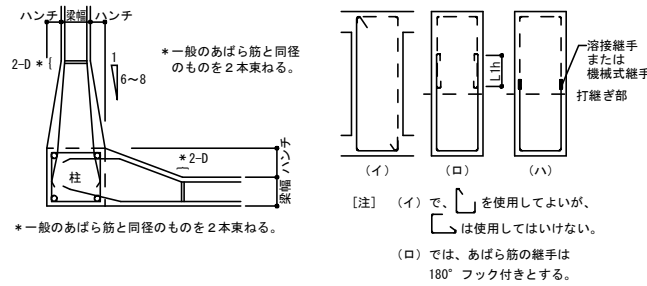
※主筋のカットオフ長さは $L/4 + 15d$ を基本とし、特別な長さを要する部分は6. 大梁の項の表6-1による。

(2) 布基礎、べた基礎、耐圧スラブが付く場合 (定着、継手)

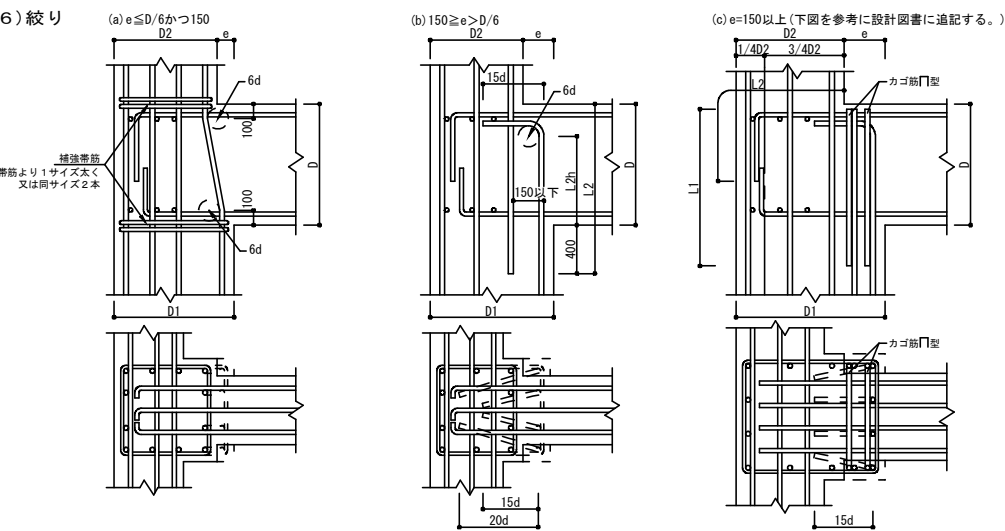


※主筋のカットオフ長さは $L/4 + 15d$ を基本とし、特別な長さを要する部分は6. 大梁の項の表6-1による。

(3) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領 (4) せいの高い梁のあばら筋加工要領図

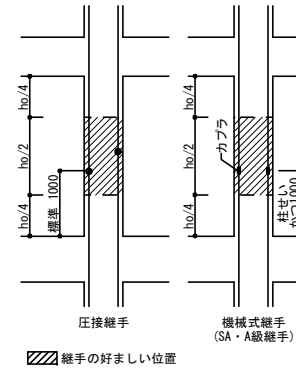


(6) 絞り

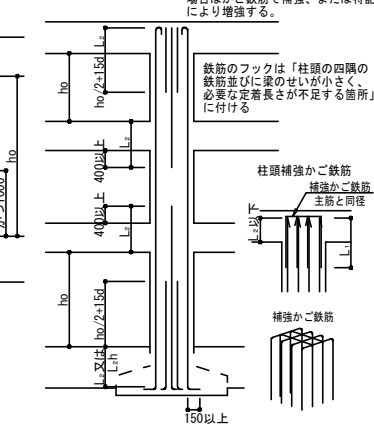


5. 柱

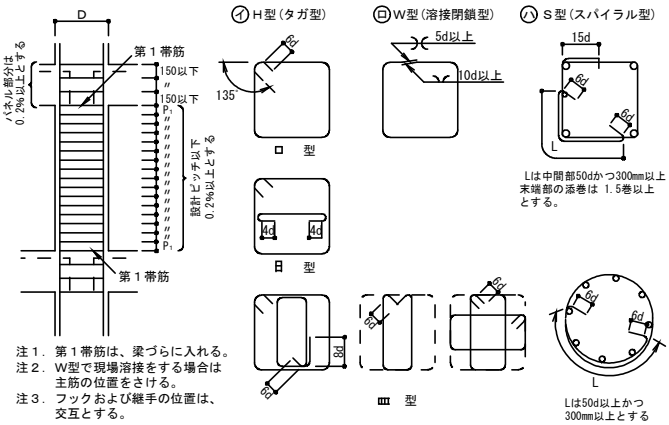
(1) 柱主筋の継手



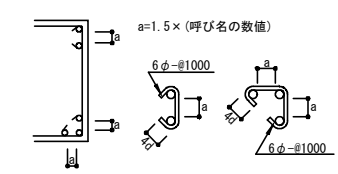
(2) 柱主筋の定着



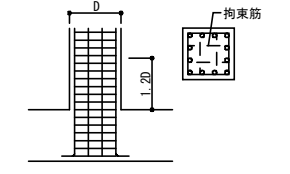
(3) 帯筋



(4) 寄せ筋の保持

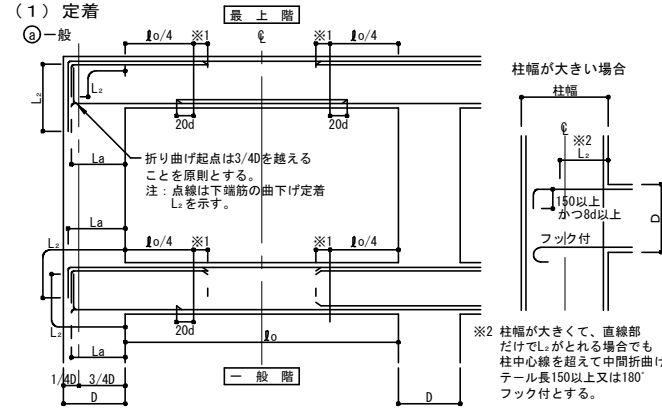


(5) 柱脚部の補強



6. 大梁 ※ L2 = 40d とする。

(1) 定着



※1 主筋のカットオフ長さは $L/4 + 15d$ を基本とし、特別な長さを要する部分は表6-1による。

※2 柱幅が大きくて、直線部だけで L_d がとれる場合でも柱中心線を超えて中間折曲げテール長150以上又は180フック付とする。

※3 ハンチが有る場合

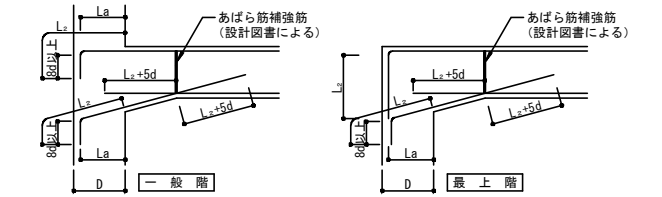
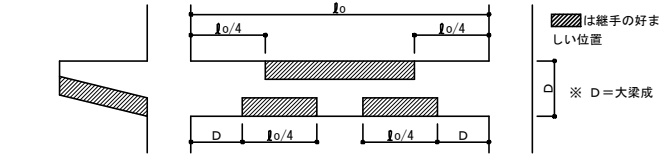


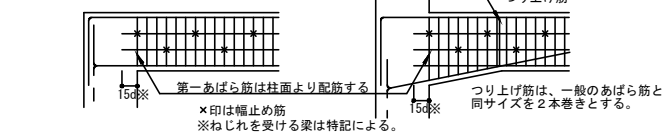
表6-1 特別なカットオフ長さを要する部材

部 材 名	$L/4$ に加える長さ	部 材 名	$L/4$ に加える長さ

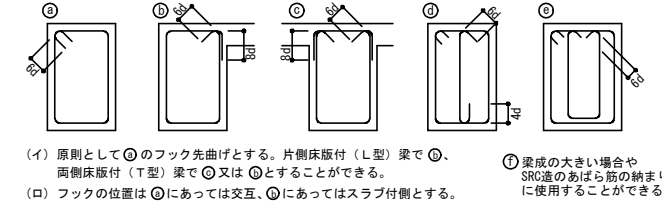
(2) 大梁主筋の継手 (SA級、A級継手を使用する場合の継手位置は特記による。)



(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置



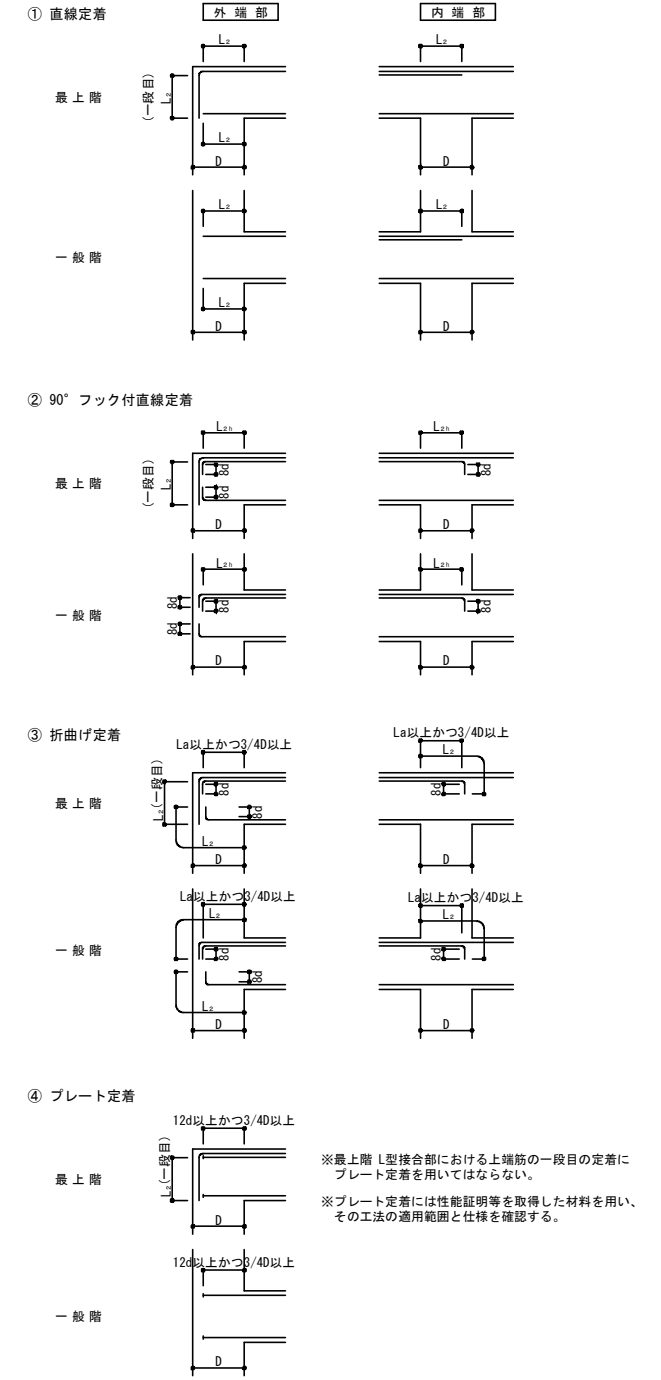
(4) あばら筋の型 (注、床版がない場合は135°以上のフックとする。)



(5) 幅止め筋の本数、加工

腹 筋	D < 600 不要	600 ≤ D < 900 2-D10 1段	900 ≤ D < 1200 4-D10 2段	1200 ≤ D D10 ≤ 300 以内	1200 以上 D13 ≤ 300 以内
幅止め筋	D10 ≤ 1000 以内で割り付ける				

(6) 梁主筋の定着



NOTE

工事名称

浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事

縮尺

単位 MM

令和 7 年 9 月 作製

図面名称 新鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

青森県 A 1 の 2 号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877

所 長 部長 課長 担当 製図 製図

S - 03

管理建築士 1 級建築士登録113986号 川島芳正

新鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)

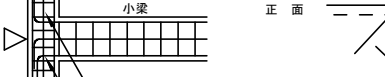
7. 小梁、片持梁

(1) 定着

② 小梁の定着

※図定度を考慮した場合は $2/3B$ 以上とする。

注)設計圖にカットオフ位置の特記が無い場合



斜めでもよい

斜めでよい
下向きでもよい

上

小梁外端
(単独小梁両端)

連続端

平面図

正面

正面

小梁

補強あばら筋は、小梁主筋側に必ず入れること。

③ 段差小梁の配筋(連続端の場合)

直線定着としてよい

小梁上端部と同等のあばら筋を配置

主筋の定着長さで小梁の応力を伝達

終端と同じ定着方法として、あばら筋に力の伝達

ハンチがない場合の有効せい

ハンチ

ハンチがある場合の有効せい

段差部でハンチを設ける例

段差 h が $h > D - \sqrt{D^2 - B^2}$ となる場合にはハンチの検討をする。

③ 小梁筋の継手位置

小梁

l_0

$l_0/6$ $l_0/2$ $l_0/4$ $l_0/4$ $l_0/2$ $l_0/4$

圧接・継手中心位置の好ましい範囲

④ 片持梁の定着 注) 上端筋の柱内への定着は3/4D以上とすること。

(a) 先端部の範囲とカットオフ位置

(b) 先端小梁の定着

(c) 隣接する梁がある場合で柱定着
又は、隣接する梁へ定着する場合

8. 床版

(1) 定着および継手
一般床スラブ（四辺固定）

(2) 屋根スラブの補強

㊦ 補強筋は各D13又はスラブ主筋の同一径で $l_d=1500$ とし、上端筋の下に配筋する。径の異なる厚さに注意すること。

㊧ ※の箇所（入隅）は各角補強する。

(3) 片持ち床スラブ定着及び出隅部補強

㊦ 片持ち床スラブ定着

㊧ 片持ちスラブ出隅部補強

注) 出隅部の補強筋は、計算により算出する。

(4) 床板開口部の補強 (開口の径500以下程度の場合)

床板厚さ D	周 围	斜 め
$D \leq 150$	各2-D13	各1-D13
$150 < D \leq 300$	各2-D13	各2-D13
$300 < D \leq 500$	各2-D19	各2-D16

注) 設備の小開口が連続してあく場合は縦、横、斜補強筋とは別に開口によって切断される鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。

(5) 床板段差

全断

全断

Technical drawings illustrating bed board joint details. The left drawing shows a cross-section of a joint with dimensions L_1 , $D13$, D , $D/2$ 以下, L_2 , and 20 以上. The right drawing shows a cross-section of a joint with dimensions L_1 , $D16$, D , H , $D10\text{--}\#150$, L_2 , and 20 . Both drawings include a note '全断' (Full cut).

(6) 土間コンクリート

◎ 軽作業の土間

折曲D10-φ200
D10-φ200
600

(7) 釜場

1200x600以下
 L_z
2-D16
STRP 底盤と同配筋
底盤と同配筋
2-D16
t
注) t: 底盤と同厚以上

(8) 打継ぎ補強 (ダマケ打断面について)

⑥ 設計配筋間隔の 1/2 ピッチ 長さ 2L₁ 以上

⑦ 無筋部分 D10-φ200 長さ 800 以上

9. 壁

(1) 定着

⑤ 梁に

横筋の配置は上・下端とも梁、又は床面に一段目を配置する。

⑥ 柱に (平面図)

縦筋は、柱面に一本目を配置する。

③ 床に（耐耐力壁とスラブが取り合う場合）

スラブに上端筋がある場合

スラブに上端筋がない場合

①は壁配筋と同じ

Reinforcement details for a floor slab connected to a shear wall. The left diagram shows the case where the slab has top reinforcement (D13) at the wall face, with a lap length L_d . The right diagram shows the case where the slab does not have top reinforcement, with a lap length L_d and a 1000mm dimension. Both diagrams show the wall reinforcement (D10) and the slab reinforcement (D13). A note indicates that the wall reinforcement (①) is the same as the wall reinforcement.

④ 壁と壁（平面図）

The diagrams show the plan view of wall-to-wall connections. For single reinforcement (シングル配筋), the reinforcement is bent 180 degrees at the corner. For double reinforcement (ダブル配筋), the reinforcement is bent 90 degrees at the corner. Dimensions L_1 and L_2 are indicated for the lap lengths. The reinforcement diameter is labeled as D13 for single reinforcement and 2-D13以上 for double reinforcement.

(2) スリット部 (設計図に記入があるとき)

完全スリット

シーリング材使用 (耐火構造用目地材)
D10-400#程度 (防錆処理を施す)

柱

250 250

tは階高の1/100程度

(3) 手摺、パラペット

パラペット

Technical drawing of a parapet cross-section. The drawing shows a vertical wall with a top edge. Dimensions include a total height H , a top slab thickness L_x , and a base height of 100 (with a note 150 以上). Reinforcement details include top bars labeled $D10-200$ and $D13$, and vertical bars labeled $D10\#200$ ダブル and $D10\#200$ ダブル.

手摺

Technical drawing of a handrail cross-section. The drawing shows a vertical wall with a top edge. Dimensions include a total height H , a top slab thickness L_x , and a base height of 100 (with a note 120 以上). Reinforcement details include top bars labeled $D13$ and $D13$, and vertical bars labeled $D10\#200$ ダブル and $D10\#200$ ダブル.

(但し、 $H>800$ 以上の場合、設計図による)

(4) コンクリートブロック帳壁

一般の場合

(5) 耐震壁端部の納まり

鉄筋径および間隔は壁筋と同等、同ピッチとし、壁筋に135°フックを設けた場合のLは8dとする。
壁筋にフックを設けない場合のLはL2とする。

注) $h \leq 25t$ かつ 3500以下とする。但し直交方向 25t以内に壁、又は柱がある場合は除く
 注) hはコンクリートブロック段数調整法とする。但し、 $200 \leq h \leq 400$
 注) 継手部は必ずモルタルを充填すること

(6) 連層耐震壁乾燥収縮の補強筋

補助筋

最上階

$\theta \div 45^\circ$

EW

EW

EW

補助筋

最下階

$\theta \div 45^\circ$

EW

注) 補強筋はEW150の場合3-D13@100シングル
 EW180~200の場合4-D13@100シングル
 EW250以上の場合4-D16@100ダブルとする。

10. 柱、梁増打コンクリート補強

[illegible]

(2) 梁

● 補強筋は、梁主筋の1段落し径 (D16以上) とする。

● あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。

● 腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合わせる

● $B \geq 400$ の場合は補強筋を3本とする。

● 梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。

● ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

● 150以上の増打は図示による。

● 増打が50以下は補強なし。

1 1. 梁貫通孔補強 (開口補強筋については計算により確認すること)

(1) 設置可能範囲

梁端部(スパン $l_0/10$ 以内かつ2D以内)は原則として避ける

望ましい範囲

$D/3$

$l_0/4$

l_0

D

$(\phi 1 + \phi 2) / 2 \times 3$ 以上

$\phi 1$

$\phi 2$

貫通孔が連続して間隔等が取れない場合は設計者又は工事監理者と打合せのこと。

(2) 既製品 (指定条件と異なる場合は、設計者又は工事監理者と打合せのこと)

□製品名

施工前に計算書を提出し、承認を得ること。

設計時に使用する評価取得品については計算書を提出する事。

構造設計者 有限会社 阿部構造設計事務所
青森県知事登録 第1463号
一級建築士大臣登録 第359828号 阿部 大輔

NOTE

工事名称	浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事
------	-------------------

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)649 FAX 017(742)1877

縮尺	A 1 = 1 : A 3 = 1 :
----	------------------------

	所
--	---

單位 MM

課 長	担

令和 7 年 9 月 作製

[illegible]

図面名称 新鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (3)

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

鉄骨構造標準図(1)

1. 一般事項

(1) 材料及び検査

- (a) 新構造設計特記仕様その1による。
(b) 本標準図はベースプレートを除き鋼材の厚さが40mm以下の工事に適用する。
但し、ベースプレートの厚さは除く。
(c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法・精度及びその他の結果を添付する。

(2) 作業一般

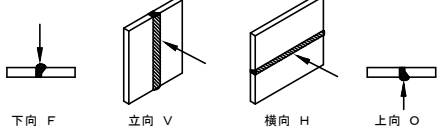
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る。
(b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による。
(c) 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする。

(3) 高力ボルト接合

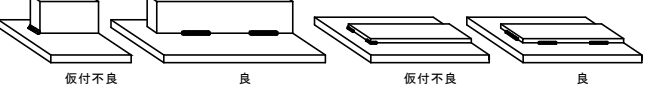
- (a) 本総めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない。
(b) 高力ボルトの摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、一様にさびを発生させた状態とする。但しショットブラスト、グリッドブラストによる処理で表面荒さが、50μm Rz以上である場合は、さびの発生は要しない。
(c) 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するよう注意を行う。

(4) 溶接接合

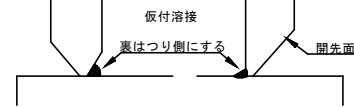
- (a) 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロによる、溶接部の性能、溶着金属の性能を満足すること。
(b) 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適用する JIS Z 3801(手溶接)又は JIS Z 3841(半自動溶接)の溶接術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする。
(c) 溶接機器
(イ) 交流アーク溶接機 300A～500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
(ロ) アークエアガウジング機(直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
(ハ) サブマージアーク溶接機一式 (ヘ) 溶接棒乾燥機
(d) 溶接方法
アーク手溶接(MC) ガスシールドアーク半自動溶接(GC)
セルフ(ノンガス) シールドアーク半自動溶接(NGC) アークエアガウジング(AAG)
(e) 溶接姿勢



- (f) 組立溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う。
(イ) 仮付位置
組立溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける。



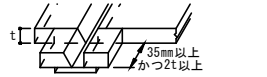
- (ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する。



(g) 溶接施工

(イ) エンドタブ

- 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同間先形状のエンドタブを取り付ける。
- エンドタブの材質は、母材と同質とする。但し、鉄骨製作に十分な実績があり、かつ溶接部の品質が十分確保できると判断される場合には監理者の承認を受けて他の方法とすることができる。
- エンドタブの長さは、MC:35mm以上
NGC, GC:40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする。
- プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出し設計者、又は工事監理者の承認を得る。

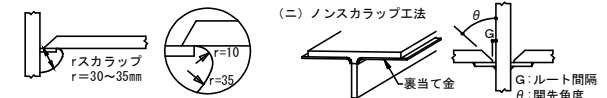


(ロ) 裏当て金

- 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、巾は25mm以上を原則とする。但し、溶接性能が確認できれば監理者の承認を得て変更することができる。

(ハ) スクラップ半径は30～35mmと10mmのダブルールとする。

- 但し梁成が D=150mm未満の場合のスクラップは r=20mmとする。



(ホ) 裏はつり

- 標準図の溶接において AAGと記載のある部分は全て、アークエアガウジングを行った上で、部材に確認マークを付ける。

- (ヘ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部を傷めない様に養生を行う。

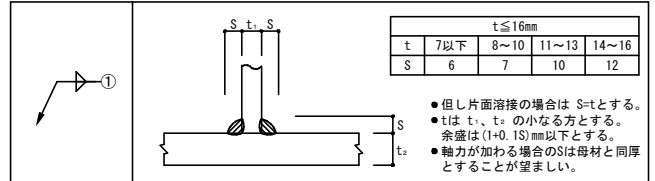
(5) 塗装

- コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない。

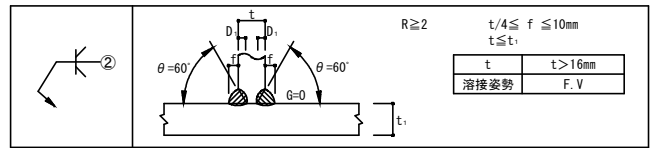
2. 溶接標準図

※ JASS6(2018年版)と異なる場合は、JASS6(2018年版)に準ずる。
(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位: mm)

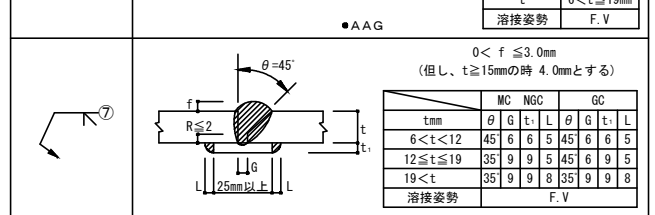
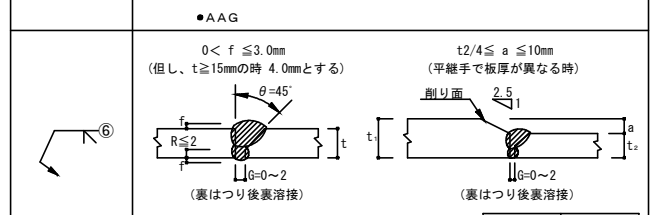
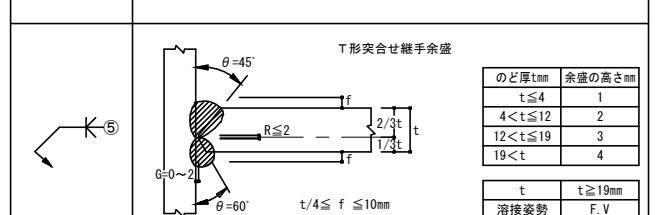
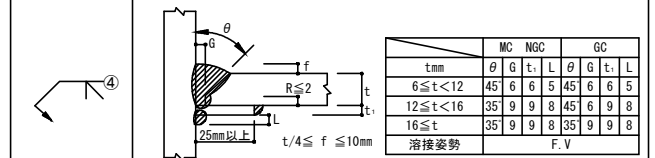
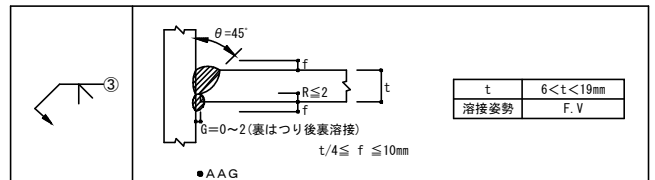
(1) 隅肉溶接



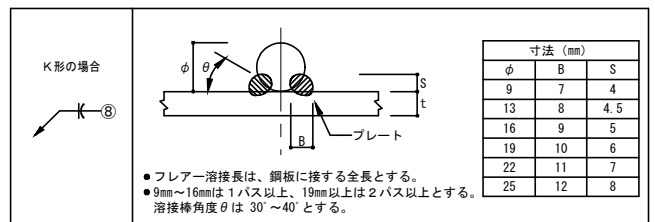
(2) 部分溶け込み溶接 (使用箇所注意)



(3) 完全溶込み溶接 (平継手 T形継手)

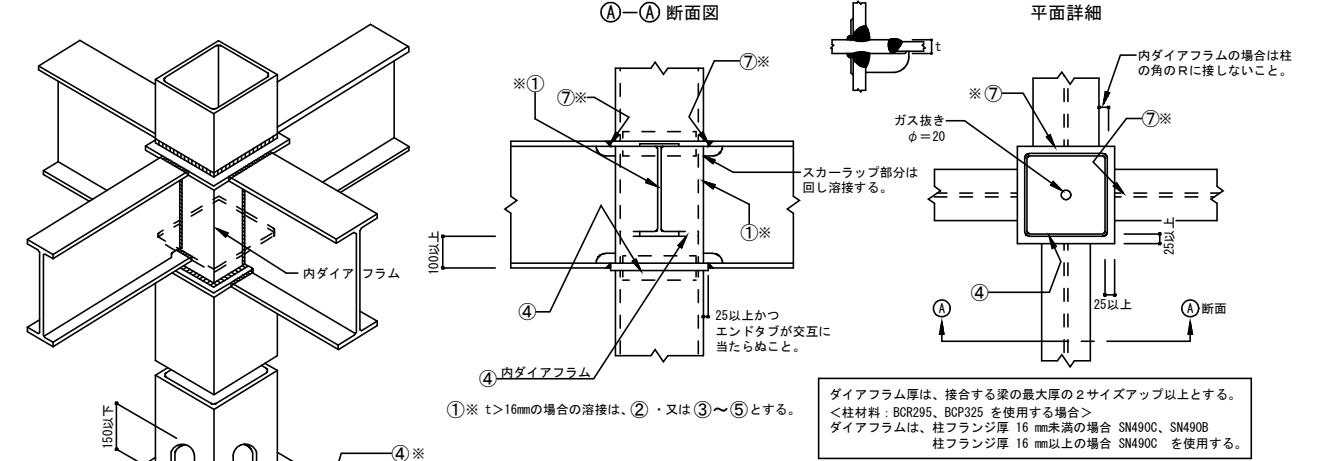


(4) フレア溶接



※ 溶接記号番号を○中に記入のこと

● B O X 型 (通しダイアフラムの場合)



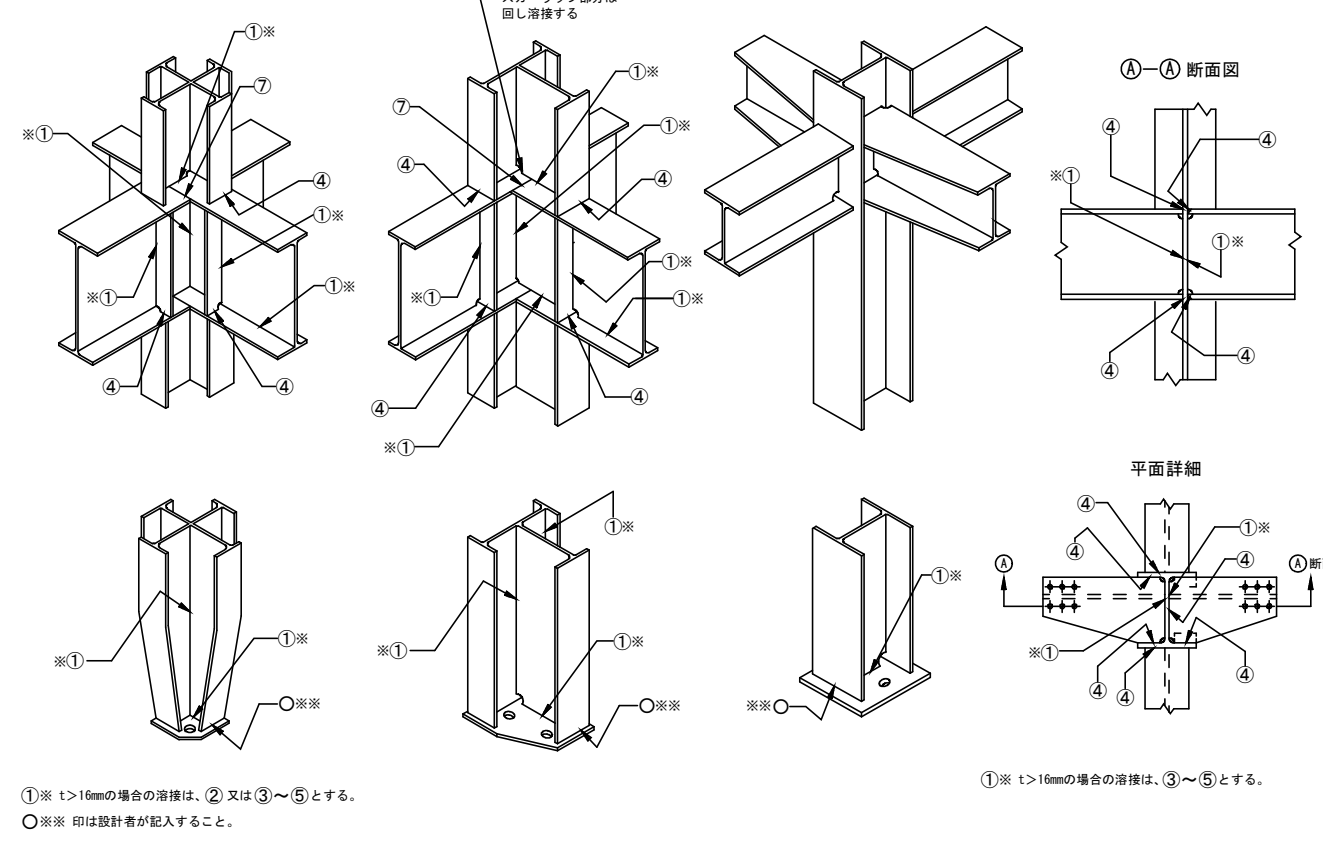
● 柱が途中で折れる場合、及び梁成が異なる場合

● 鋼材種別による溶接条件

溶接材料と入熱量・パス間温度			
鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	パス間温度 (℃)
400N/mm ² 級鋼	JIS Z 3312	40 以下	350 以下
	YGW-11、15		
	YGW-18、19		
	JIS Z 3315		
490N/mm ² 級鋼	YGA-50W、50P	40 "	350 "
	JIS Z 3312		
	YGW-11、15		
	YGW-18、19		
JIS Z 3315	YGA-50W、50P	40 "	350 "
	YGA-50W、50P		

注) STKR, BCR, BCP材は JIS Z 3312、のみ使用可
「新構造設計特記仕様その1 6. 鉄骨工事(2) 口認定または登録工場」の
グレード別に定められた適用範囲と溶接条件制限事項による。

● 中、I、H 型



構造設計者 有限会社 阿部構造設計事務所
青森県知事登録 第1463号
一級建築士大臣登録 第359828号 阿部 大輔

NOTE

工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事

青森県 A1 の 2 号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

縮尺 A1=1:1
A3=1:1

TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877

単位 MM

所長 部長 課長 担当 製図 製図

令和 7 年 9 月 作製

S - 0 5

図面名称 鉄骨構造標準図 (1)

管理建築士 1 級建築士登録113986号 川島芳正

ISベース柱脚工法設計・施工標準図
(SP:角型鋼管用 保有耐力接合タイプ) 1/2

一般財団法人 日本建築センター 鋼構造評定委員会評定 BCU評定-ST0282-01 (2019年9月20日)

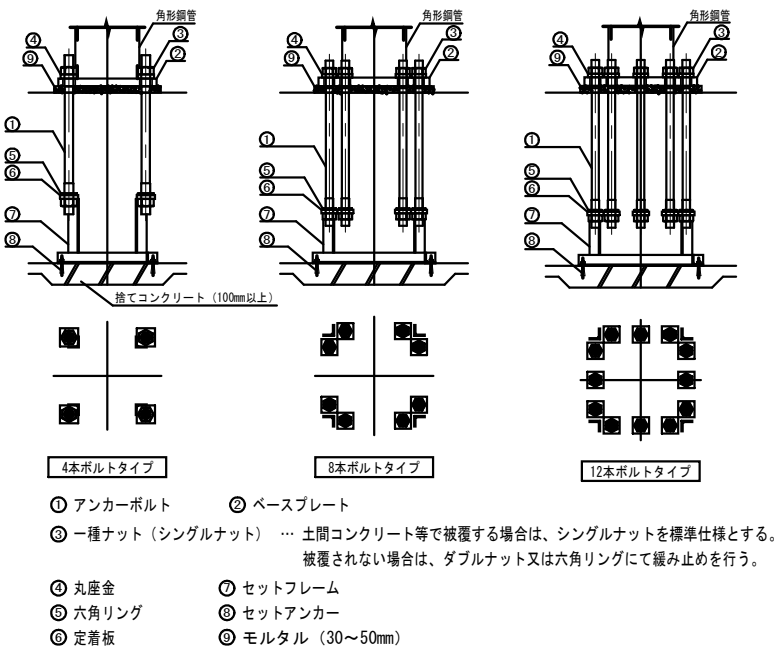
国土交通大臣認定番号 (アンカー用ボルトセット) ※ () はミルメーカーと加工工場を示す。			
MBLT-0116	M24~M48 (朝日工業・アイエスケ-中島工場)	MBLT-0180	M24~M48 (朝日工業・アイエスケ-前橋工場)
MBLT-0144	M30~M48 (JFE条鋼・アイエスケ-中島工場)	MBLT-0181	M30~M48 (JFEスチール・アイエスケ-前橋工場)
MBLT-0164	M52~M76 (JFE条鋼・アイエスケ-前橋工場)		

適用柱材
F値=235N/mm ² , 275N/mm ² , 295N/mm ² , 325N/mm ²

2020年8月作成

アイエスケ-備後株式会社
(大阪本社) TEL 06-6449-0881
FAX 06-6449-0877
(東京支店) TEL 03-5251-5545
FAX 03-5251-5226

1. 構造概要



4本ボルトタイプ

8本ボルトタイプ

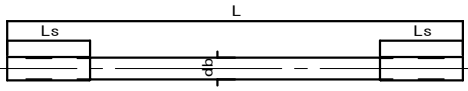
12本ボルトタイプ

- ① アンカーボルト ② ベースプレート
③ 一種ナット (シングルナット) … 土間コンクリート等で被覆する場合は、シングルナットを標準仕様とする。
被覆されない場合は、ダブルナット又は六角リングにて緩み止めを行う。
④ 丸座金 ⑦ セットフレーム
⑤ 六角リング ⑧ セットアンカー
⑥ 定着板 ⑨ モルタル (30~50mm)

3. アンカー用ボルトセット

3-1. アンカーボルト

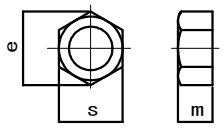
材料: 大臣認定材料 (ISB740C, ISB740E, ISB800B)



品番	呼び径	ピッチ	db			L	Ls
			ISB740C	ISB740E	ISB800B		
A1	M24	3.0	22.0	-	-	595	100
A21	M30	3.5	28.0	-	-	605	115
A31	M36	4.0	33.15	33.0	-	675	130
A34						825	
A41						745	
A42						845	
A43	M42	4.5	38.92	38.8	-	945	145
A44						1045	
A52						1015	
A53	M48	5.0	45.0	-	-	1115	160
A61						1100	
A62						1200	
A71	M56	5.5	-	52.0	-	1165	195
A72						1265	
A81	M60	5.5	-	56.0	-	1230	205
A91	M64	6.0	-	60.0	-	1295	215
A92						1395	
AA1	M68	6.0	-	64.0	-	1360	225
AA2						1460	
AB1	M72	6.0	-	67.8	-	1425	235
AC1	M76	6.0	-	71.8	-	1490	245

3-2. ナット

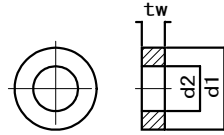
種類: 1種六角ナット JIS B 1181
強度区分: JIS B 1052 8 (M48以下)
強度区分: JIS B 1052 10 (M52以上)



呼び径	m	s	e
M24	19	36	41.6
M30	24	46	53.1
M36	29	55	63.5
M42	34	65	75.0
M48	38	75	86.5
M52	42	80	92.4
M56	45	85	98.1
M60	48	90	104.0
M64	51	95	110.0
M68	54	100	115.0
M72	58	105	121.0
M76	61	110	127.0

3-3. 丸座金

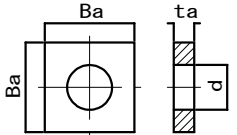
材質: 一般構造用圧延鋼材 SS400



呼び径	品番	d1	d2	tw
M24	C1	52	25	9
M30	C2	58	31	12
M36	C3	68	37	16
M42	C4	78	43	19
M48	C5	90	50	19
M52	C6	100	54	25
M56	C7	108	58	28
M60	C8	114	62	32
M64	C9	120	66	36
M68	CA	128	70	36
M72	CB	134	74	36
M76	CC	140	78	36

3-4. 定着板

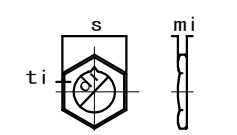
材質: 一般構造用圧延鋼材 SS400 (M48以下)
溶接構造用圧延鋼材 SM490A (M52以上)



呼び径	品番	Ba	ta	d
M24	P1	50	9	26
M30	P2	65	12	32
M36	P3	75	16	38
M42	P4	85	19	44
M48	P5	95	22	50
M52	P6	115	25	54
M56	P7	120	25	58
M60	P8	130	28	62
M64	P9	135	32	66
M68	PA	140	32	70
M72	PB	150	36	74
M76	PC	155	36	78

3-5. 六角リング

材質: JIS G3131 SPHC

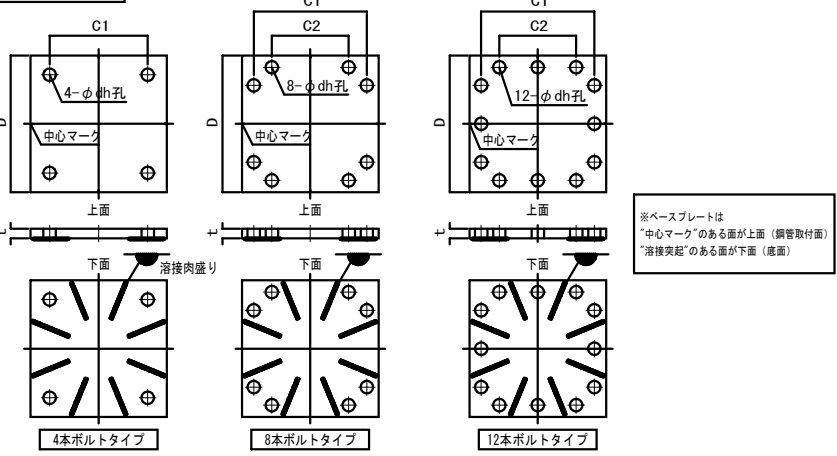


呼び径	S	di	mi	ti
M24	36	22.5	5	1.6
M30	46	28.9	7	2.0
M36	55	33.6	8	2.0
M42	65	39.2	9	2.3
M48	75	45.7	10	2.3
M52	80	49.9	11	2.8
M56	85	52.6	12	2.8
M60	90	56.6	12	3.2
M64	95	60.3	13	3.2
M68	100	64.3	14	3.2
M72	105	68.2	14	3.6
M76	110	72.2	15	3.6

2. ベースプレート

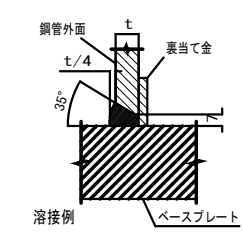
2-1. 材質 JIS G 3136 SN490B (t=40mm以下の場合)
建築構造用認定鋼板 TMCP325B (t=40mmを超える場合)

2-2. 形状と寸法



※ベースプレートは
"中心マーク"のある面が上面 (鋼管取付面)
"溶接突起"のある面が下面 (底面)

2-3. 柱材との溶接

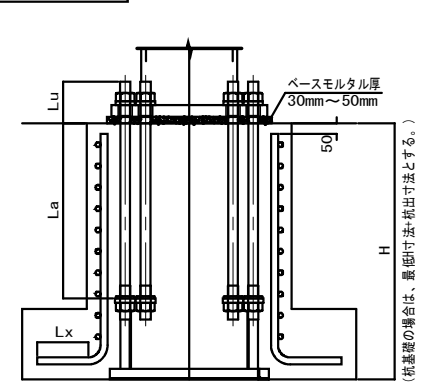


柱材とベースプレートの溶接は、完全溶け込み溶接とする。
※溶接施工に関しては、
「日本建築学会; 建築工事標準仕様書 JASS 6鉄骨工事」に準じる。
※柱材のめっき仕様について
柱材をめっきする場合は、弊社までご相談ください。

4. コンクリート柱形

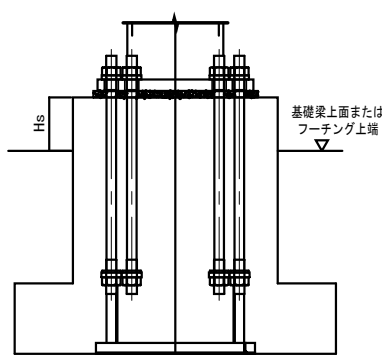
4-1. 使用材料 コンクリート: $F_c=21\text{N/mm}^2$ 以上 (□550以下)
 $F_c=24\text{N/mm}^2$ 以上 (□600以上)
鉄筋: JIS G 3112 SD295A (D16以下)
JIS G 3112 SD345 (D19~D25)
JIS G 3112 SD390 (D29以上)

4-2. 形状・配筋



- 主筋頂部のフックは、設けないことを標準とする。
- トップフープは、シングルを標準とする。
- Lxは、使用する主筋径の10倍以上とする。
- 主筋、帯筋の径・本数は、標準柱形の場合を示す。
- 柱形の幅 (bc) を標準柱形より拡げた場合、検討が必要。
- 柱形を拡げる場合や、柱芯が偏心する場合は、弊社までご相談ください。

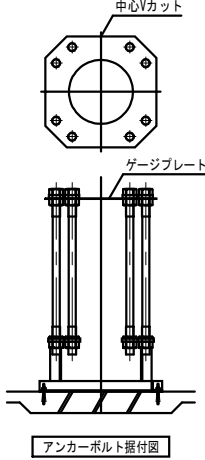
4-3. 基礎立上り部



- 柱形の配筋が標準の場合
基礎立上り高さ (Hs) は、250mm以下とする。
- 立上り高さ (Hs) が250mmを超える場合は、
検討が必要となるため、弊社までご相談ください。

5. 施工

※ () は、元請施工範囲を示す。
6. [コンクリート打設前検査] は、契約内容による。



- 施工打合せ
- (捨てコンクリートの打設) …捨てコン厚さは100mm以上とする。
- (墨出し) …柱芯を明示する。
- アンカーボルト据付
- (配筋・型枠)
ゲージプレートを外したり、上に物を置いたり、乗ったりしない。
アンカーボルト、セットフレーム等と鉄筋を拘束しない。
アンカーボルトに熱を加えない。
- [コンクリート打設前検査]
- (コンクリート打設)
- (鉄骨建方・アンカーボルトの本締)
まんじゅう高さは (30~50mm) とする。
まんじゅうに使用する材料に規定はない。
まんじゅうの大きさは施工マニュアルを参照。
- ベースモルタルの充てん…ISグラウト以外は使用不可。
- ナットの緩み確認
- (充てん型枠脱型・廃棄)

6. 施工管理

- ISベースの施工 (アンカーボルトの据付及びベースモルタルの充てん) は、弊社が認定した施工者が行う。
- 施工は、施工マニュアルに準じて行い、施工後「チェックシート」により許容範囲内にあることを確認する。
- 材料は弊社にて支給する。支給品以外の材料を使用した場合、ISベースの性能を保証できない場合がある。
- アンカー用ボルトセットは大臣認定材である。形状・寸法・材質の変更、切り欠き・溶接などの加工は認められない。

NOTE

工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所
TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877

縮尺 A1=1:1
所 長 部長 課長 担当 製図 製図
単位 MM
令和 7年 9 月 作製
S 07

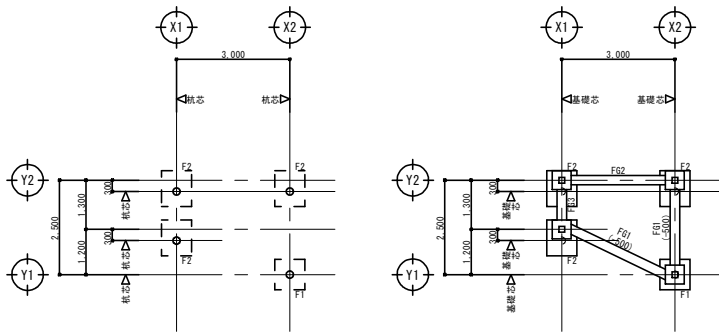
構造設計者 有限会社 阿部構造設計事務所
青森県知事登録 第1463号
一級建築士大臣登録 第359828号 阿部 大輔

図面名称 ISベース設計施工標準図 (1)
管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

ISベース柱脚工法設計・施工標準図 (SP:角型鋼管用 保有耐力接合タイプ) 2/2																				
一般財団法人 日本建築センター 鋼構造評定委員会評定 BCI評定-ST0282-01 (2019年9月20日)																				
国土交通大臣認定番号 (アンカー用ボルトセット) ※ () はミルメーカーと加工工場を示す。																				
MBLT-0116 M24～M48 (朝日工業・アイエスケー中島工場) MBLT-0180 M24～M48 (朝日工業・アイエスケー前橋工場)																				
MBLT-0144 M30～M48 (JFE条鋼・アイエスケー中島工場) MBLT-0181 M30～M48 (JFEスチール・アイエスケー前橋工場)																				
MBLT-0164 M52～M76 (JFE条鋼・アイエスケー前橋工場)																				
適用柱材 (F値=235N/mm ² , 275N/mm ² , 295N/mm ² , 325N/mm ²)																				
□150×150～□550×550																				
2020年8月作成																				
採用	柱脚記号	鋼管サイズ	適用柱サイズ ※柱材は、指定JIS規格品または大臣認定品とする。			ベースプレート					アンカーボルト			コンクリート柱形 (標準)						最低H寸法
			柱材の基準強度 (N/mm ²)			D	C1	C2	dh	t	本数・呼び径 (品番)	Lu	La	bc (最小～最大)	主筋	帯筋	Lx	コンクリート強度 (N/mm ²)		
			235	275・295	325															
●	C1	SP151	□150	t ≤ 9	t ≤ 6	-	290	210	-	36	25	4-M24 (A1)	125	410	500～540	12-D16	D13@150	160	21以上	550以上
		SP152		t ≤ 12	t ≤ 12	-	310	210	-	42	32	4-M30 (A21)	135	400	500～630	16-D16	D13@150	160	21以上	550以上
		SP171	□175	t ≤ 9	t ≤ 6	-	320	230	-	42	25	4-M30 (A21)	135	400	500～540	12-D16	D13@150	160	21以上	550以上
		SP172		t ≤ 12	t ≤ 12	-	350	250	-	50	36	4-M36 (A31)	155	440	540～630	16-D16	D13@150	160	21以上	600以上
		SP201	□200	t ≤ 9	t ≤ 9	-	350	260	-	50	32	4-M36 (A31)	155	440	560～650	12-D19	D13@100	190	21以上	600以上
		SP202		t ≤ 12	t ≤ 12	-	380	280	-	50	40	4-M36 (A31)	155	440	570～750	16-D19	D13@100	190	21以上	600以上
		SP251	□250	t ≤ 6	t ≤ 6	-	400	310	-	50	28	4-M36 (A31)	155	440	620～650	12-D19	D13@100	190	21以上	600以上
		SP252		t ≤ 9	t ≤ 9	-	450	340	-	50	36	4-M36 (A31)	155	440	650～680	16-D19	D13@100	190	21以上	600以上
		SP253		t ≤ 12	t ≤ 12	-	450	330	-	58	40	4-M42 (A41)	175	480	640～840	20-D19	D13@100	190	21以上	650以上
		SP254		t ≤ 16	t ≤ 16	-	480	380	230	50	45	8-M36 (A34)	155	590	680～980	20-D22	D13@100	220	21以上	750以上
		SP301	□300	t ≤ 9	t ≤ 9	-	480	370	-	58	36	4-M42 (A42)	175	580	680～840	16-D22	D13@100	220	21以上	750以上
		SP302		t ≤ 12	t ≤ 12	t ≤ 9	500	400	250	50	40	8-M36 (A34)	155	590	730～840	20-D22	D13@100	220	21以上	750以上
		SP303		t ≤ 16	t ≤ 16	t ≤ 12	530	420	250	58	45	8-M42 (A43)	175	680	740～840	24-D22	D13@100	220	21以上	850以上
		SP304		t ≤ 19	t ≤ 19	t ≤ 16	570	440	270	58	50	8-M42 (A43)	175	680	770～1120	20-D25	D13@100	250	21以上	850以上
		SP305	□350	t ≤ 19	t ≤ 22	t ≤ 19	600	470	300	58	55	8-M42 (A43)	175	680	800～1120	20-D25	D13@100	250	21以上	850以上
		SP351		t ≤ 12	t ≤ 12	t ≤ 9	560	460	290	58	40	8-M42 (A43)	175	680	780～1070	24-D22	D13@100	220	21以上	850以上
		SP352		t ≤ 16	t ≤ 16	t ≤ 12	620	500	330	58	50	8-M42 (A43)	175	680	850～1070	24-D22	D13@100	220	21以上	850以上
		SP353		t ≤ 19	t ≤ 19	t ≤ 16	630	470	280	66	50	8-M48 (A52)	195	720	830～1230	24-D25	D13@100	250	21以上	900以上
		SP354	□400	t ≤ 22	t ≤ 22	t ≤ 19	670	530	340	66	60	8-M48 (A52)	195	720	880～1260	28-D25	D13@100	250	21以上	900以上
		SP355		t ≤ 22	t ≤ 25	t ≤ 22	710	550	360	66	65	8-M48 (A52)	195	720	930～1260	28-D25	D13@100	250	21以上	900以上
		SP401		t ≤ 12	t ≤ 12	t ≤ 9	650	540	370	58	45	8-M42 (A43)	175	680	860～1230	24-D25	D13@100	250	21以上	850以上
		SP402		t ≤ 16	t ≤ 16	t ≤ 12	670	540	350	66	50	8-M48 (A53)	195	820	880～1230	24-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
		SP403	□450	t ≤ 19	t ≤ 19	t ≤ 16	730	590	400	66	60	8-M48 (A53)	195	820	960～1230	24-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
		SP404		t ≤ 22	t ≤ 22	t ≤ 19	780	630	440	66	70	8-M48 (A53)	195	820	1020～1230	24-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
		SP405		t ≤ 25	t ≤ 25	t ≤ 22	740	590	400	66	70	12-M48 (A53)	195	820	980～1260	32-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
		SP406		t ≤ 25	t ≤ 25	t ≤ 22	770	600	360	74	70	8-M56 (A71)	245	800	1020～1260	36-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
		SP451	□500	t ≤ 12	t ≤ 12	t ≤ 9	730	620	450	58	50	8-M42 (A43)	175	680	950～1150	24-D25	D13@100	250	21以上	850以上
		SP452		t ≤ 16	t ≤ 16	t ≤ 12	760	630	440	66	55	8-M48 (A53)	195	820	990～1260	28-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
		SP453		t ≤ 19	t ≤ 19	t ≤ 16	850	680	490	66	70	8-M48 (A53)	195	820	1100～1260	28-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
		SP454		t ≤ 22	t ≤ 22	t ≤ 19	810	660	470	66	70	12-M48 (A53)	195	820	1100～1260	32-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
		SP455	□550	t ≤ 25	t ≤ 25	t ≤ 22	880	680	490	66	75	12-M48 (A53)	200	820	1140～1260	36-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
		SP456		t ≤ 25	t ≤ 25	t ≤ 22	850	690	450	74	70	8-M56 (A71)	245	800	1150～1260	36-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
		SP457		t ≤ 28	t ≤ 28	t ≤ 25	860	680	420	80	75	8-M60 (A81)	255	850	1130～1260	40-D25	D13@100	250	21以上	1050以上
		SP501		t ≤ 12	t ≤ 12	t ≤ 9	750	630	440	66	50	8-M48 (A53)	195	820	970～1260	28-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
		SP502	□600	t ≤ 16	t ≤ 16	t ≤ 12	790	660	470	66	60	12-M48 (A53)	195	820	1050～1260	32-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
		SP503		t ≤ 16	t ≤ 16	t ≤ 12	810	670	440	70	55	8-M52 (A61)	235	750	1050～1260	32-D25	D13@100	250	21以上	950以上
		SP504		t ≤ 19	t ≤ 19	t ≤ 16	870	690	500	66	65	12-M48 (A53)	195	820	1130～1260	32-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
		SP505		t ≤ 19	t ≤ 19	t ≤ 16	890	730	500	70	70	8-M52 (A61)	235	750	1150～1260	36-D25	D13@100	250	21以上	950以上
		SP506	□700	t ≤ 22	t ≤ 22	t ≤ 19	880	710	450	80	70	8-M60 (A81)	255	850	1140～1600	32-D29	D16@100	290	21以上	1050以上
		SP507		t ≤ 25	t ≤ 25	t ≤ 22	920	740	480	80	75	8-M60 (A81)	255	850	1200～1600	32-D29	D16@100	290	21以上	1050以上
		SP508		t ≤ 28	t ≤ 28	t ≤ 25	920	720	440	88	80	8-M68 (AA1)	275	950	1220～1690	36-D29	D16@100	290	21以上	1200以上
		SP551		t ≤ 12	t ≤ 12	t ≤ 9	850	720	530	66	55	8-M48 (A53)	195	820	1100～1260	28-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
		SP552	□800	t ≤ 16	t ≤ 16	t ≤ 12	890	740	550	66	65	12-M48 (A53)	195	820	1150～1260	36-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
		SP553		t ≤ 16	t ≤ 16	t ≤ 12	910	770	540	70	65	8-M52 (A61)	235	750	1180～1260	36-D25	D13@100	250	21以上	950以上
		SP554		t ≤ 19	t ≤ 19	t ≤ 16	900	740	480	80	65	8-M60 (A81)	255	850	1170～1600	32-D29	D16@100	290	21以上	1050以上
		SP555		t ≤ 22	t ≤ 22	t ≤ 19	970	800	540	80	75	8-M60 (A81)	255	850	1260～1500	32-D29	D16@100	290	21以上	1050以上
		SP556	□900	t ≤ 25	t ≤ 25	t ≤ 22	990	790	520	84	80	8-M64 (A91)	265	900	1280～1690	36-D29	D16@100	290	21以上	1100以上
		SP557		t ≤ 28	t ≤ 28	t ≤ 25	980	770	470	92	80	8-M72 (AB1)	285	1000	1300～1790	40-D29	D16@100	290	21以上	1250以上

アイエスケー株式会社
(大阪本社) TEL 06-6449-0881
FAX 06-6449-0877
(東京支店) TEL 03-5251-5545
FAX 03-5251-5226

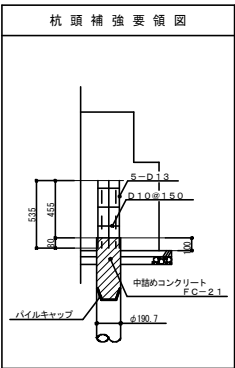
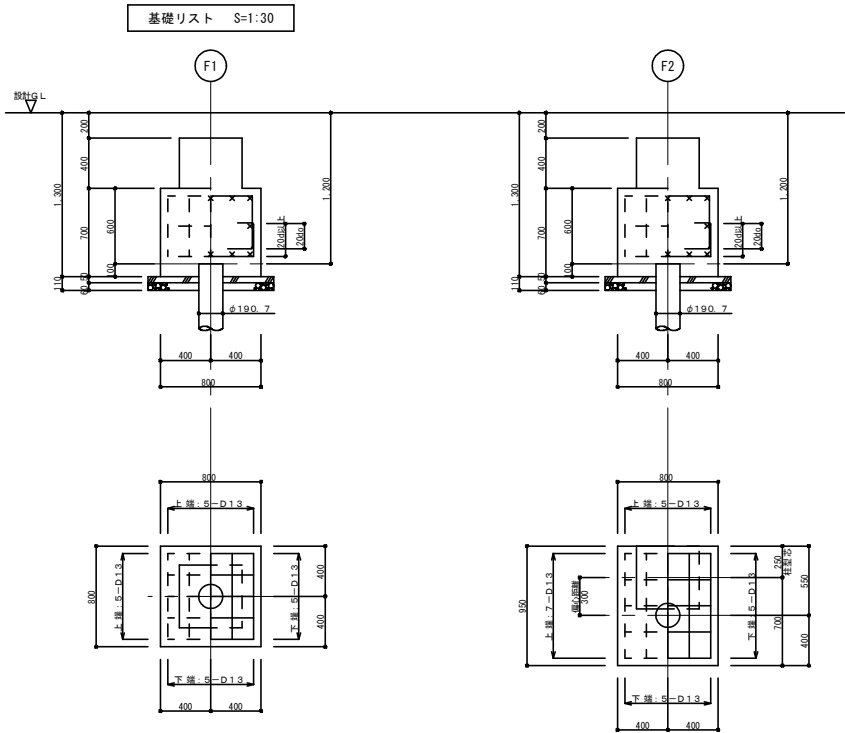
NOTE										工事名称										浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事										縮尺										単位										MM										令和 7 年 9 月 作製										図面名称										ISベース設計施工標準図(2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
																				A1=1:1 A2=1:1										所 長										部 長										課 長										担 当										製 図										製 図										S - 0 8										管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
										青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所										TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					



杭伏図 S=1:100

基礎伏図 S=1:100

- 特記事項
- ・特記なき柱型・地中梁天端寸法は、設計図-200とする。
 - ・() 内寸法は、設計図からの地中梁天端寸法を示す。
 - ・特記なき基礎「パイ」下地寸法は、設計図-1,300とする。



柱型リスト S=1:30		
柱 符 号	C1	
柱サイズ	□-150×150×9	
柱脚記号	1Sベ-ス:SP152	
断 面		
主 筋	16-D16	
HOOP	□-D13@150	

地中梁リスト S=1:30				
符 号	FG1	FG2	FG3	
位 置	全 断 面	全 断 面	全 断 面	
設計図				
断面				
B×D	250×400	250×400	250×400	
上部筋	2-D19	2-D19	2-D19	
下部筋	2-D19	2-D19	2-D19	
スターラップ	□-D10@200	□-D10@200	□-D13@85	
腹 筋				

杭 仕 様										
符号	杭記号	使用 杭		拡張板付刃付鋼管杭 (bDパイプ)						
		杭 種	拡張板	杭 長	杭 種	Ra (長期 包埋)	杭 本 数			
F1	○	上 杭 φ190.7× 5.3 下 杭 φ190.7× 5.3	400×12 (2割)	10.5 m	上 杭 5.0 m 下 杭 5.5 m	STK400 STK400	82.6 (165.2)	2	%	1
F2	○	上 杭 φ190.7× 5.3 下 杭 φ190.7× 5.3	400×12 (2割)	10.5 m	上 杭 5.0 m 下 杭 5.5 m	STK400 STK400	82.6 (165.2)	2	%	3
計										4
● 工 法 : 回転貫入工法										
● 杭 頭 位 置 : 設計GL-1.20m										
● 支 持 位 置 : 設計GL-1.70m										

共 通 事 項	
使 用 コ ン ク リ ー ト	
躯体コンクリート	FC-21 $\frac{1}{2}$ ・S-18cm
捨てコンクリート	FC-1 $\frac{1}{2}$ ・S-15cm
使 用 鉄 筋	
D10 ~ D16	SD295 (重ね継手)
D19 ~ D25	SD345 (ガス圧接)

NOTE

工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事

青森県A1の2株式会社 川島隆太郎建築事務所

縮尺 A1=1:30,100 A3=1:50,200

単位 MM

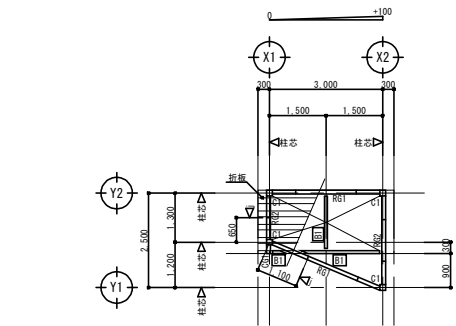
令和 8 年 2 月 作製

S ー 09

図面名称 杭伏図・基礎伏図・柱型・地中梁リスト
基礎リスト・杭仕様・共通事項

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

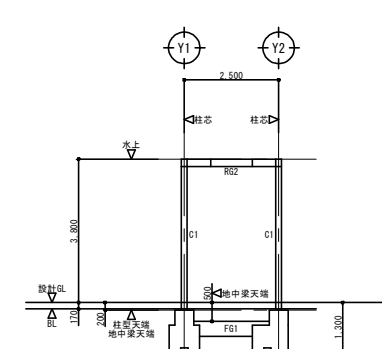
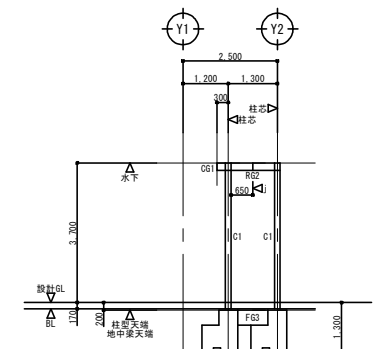
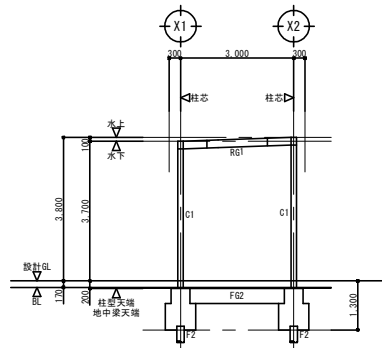
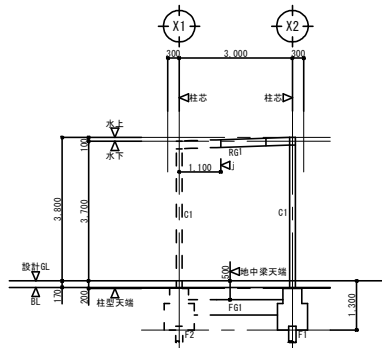
構造設計者 有限会社 阿部構造設計事務所
青森県知事登録 第1463号
一級建築士大臣登録 第359828号 阿部 大輔



R階梁伏図 S=1:100

特記事項

- ・特記なきJoint位置は、柱芯から700とする。
- ・J部は、柱芯からのJoint位置を示す。
- ・印は、水平ブレース(剛位)を示す。
- ・付符号の梁天端位置は、大梁天端+50とする。

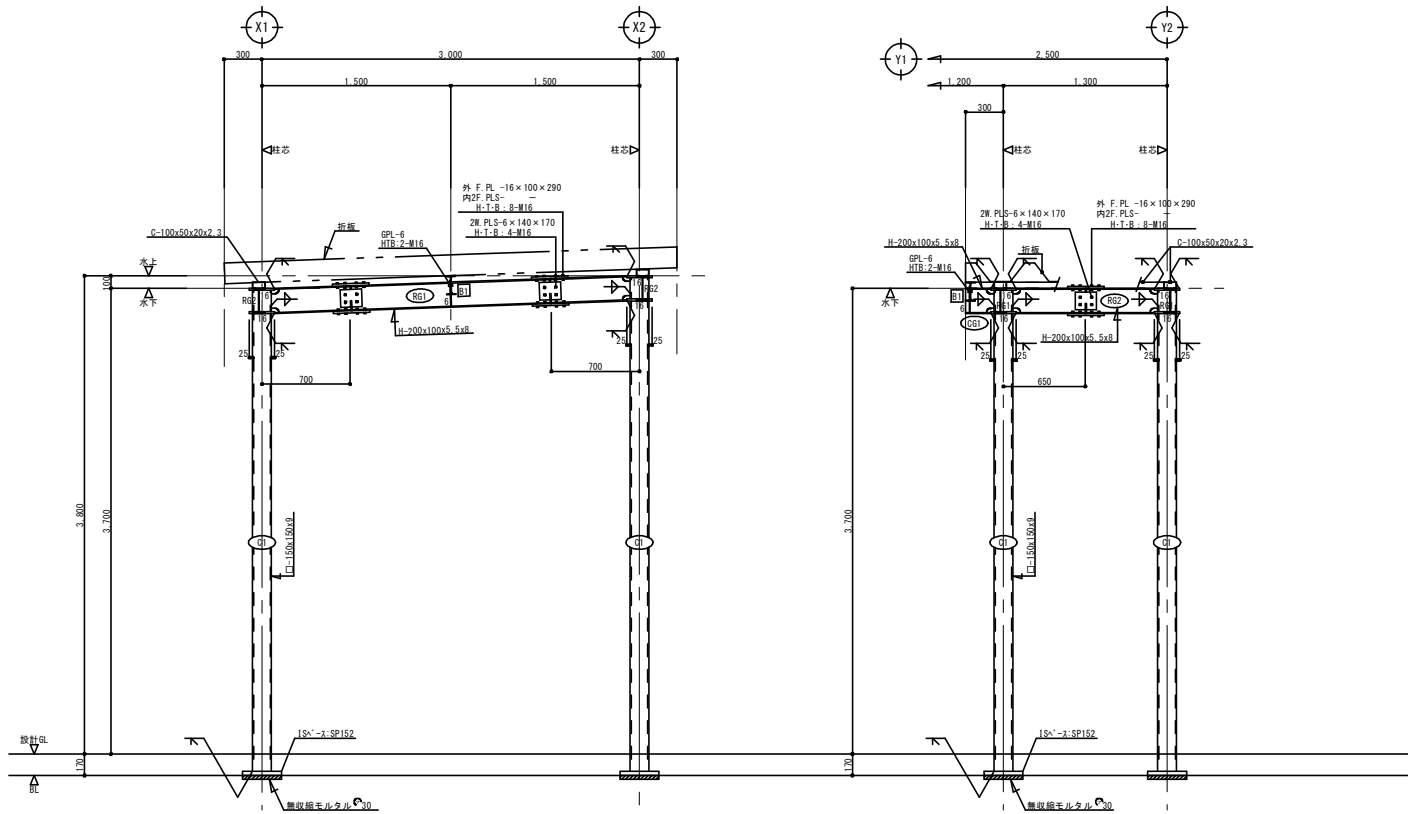


特記事項

- ・特記なきJoint位置は、柱芯から700とする。
- ・J部は、柱芯からのJoint位置を示す。

部 材 リ ス ト

符 号	断 面					継 手		鋼材種別
	型	H	B	t1	t2	GPL	HTB・中ボルト	
B1	H	150	75	5	7	6	2-M16 (HTB)	SS400
CG1	H	200	100	5.5	8			SS400
水平ブレース	φ	M16				9	1-M16 (HTB)	SNR400
RG1	H	200	100	5.5	8			SS400
RG2	H	200	100	5.5	8			SS400
C1	□	150	150	9		λ=84.0	SP152	BCR295
・ダイヤフラム鋼材種別 … SN490C								
・λ … 有効細長比								



Y2通り 鉄骨詳細図 S=1:30

付符号の梁天端位置は、大梁天端+50とする。

X1通り 鉄骨詳細図 S=1:30

付符号の梁天端位置は、大梁天端+50とする。

I S ベースリスト S=1:30

柱 符 号	C1		
柱サイズ	□-150×150×9		
柱脚記号	I S ベース・SP152		
形 状			
BPL	32×310×310	材 質	SN490B
A. BOLT	4-M30	L	605
		材 質	I S ベース専用材

ジョイントリスト S=1:30

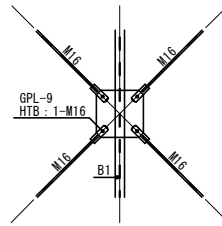
符 号	RG1・RG2	
サイズ	H-200×100×5.5×8	
形 状		
フ ラ ン ジ	外PL	PL-16×100×290
	内PL	
ウ エブ	BOLT	8-M16
	PL	PL-6×140×170
	BOLT	4-M16

継手リスト S=1:30

符 号	B1	
サイズ	H-150×75×5×7	
形 状		
GPL	6	
HTB	2-M16	

水平ブレース S=1:30

符号・サイズ	M16	
形 状		
GPL	9	
HTB	1-M16	



水平ブレース詳細図 S=1:30

NOTE

工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事

青森県A1の2株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877

縮尺 A1=1:30, 100
A3=1:50, 200

単位 MM

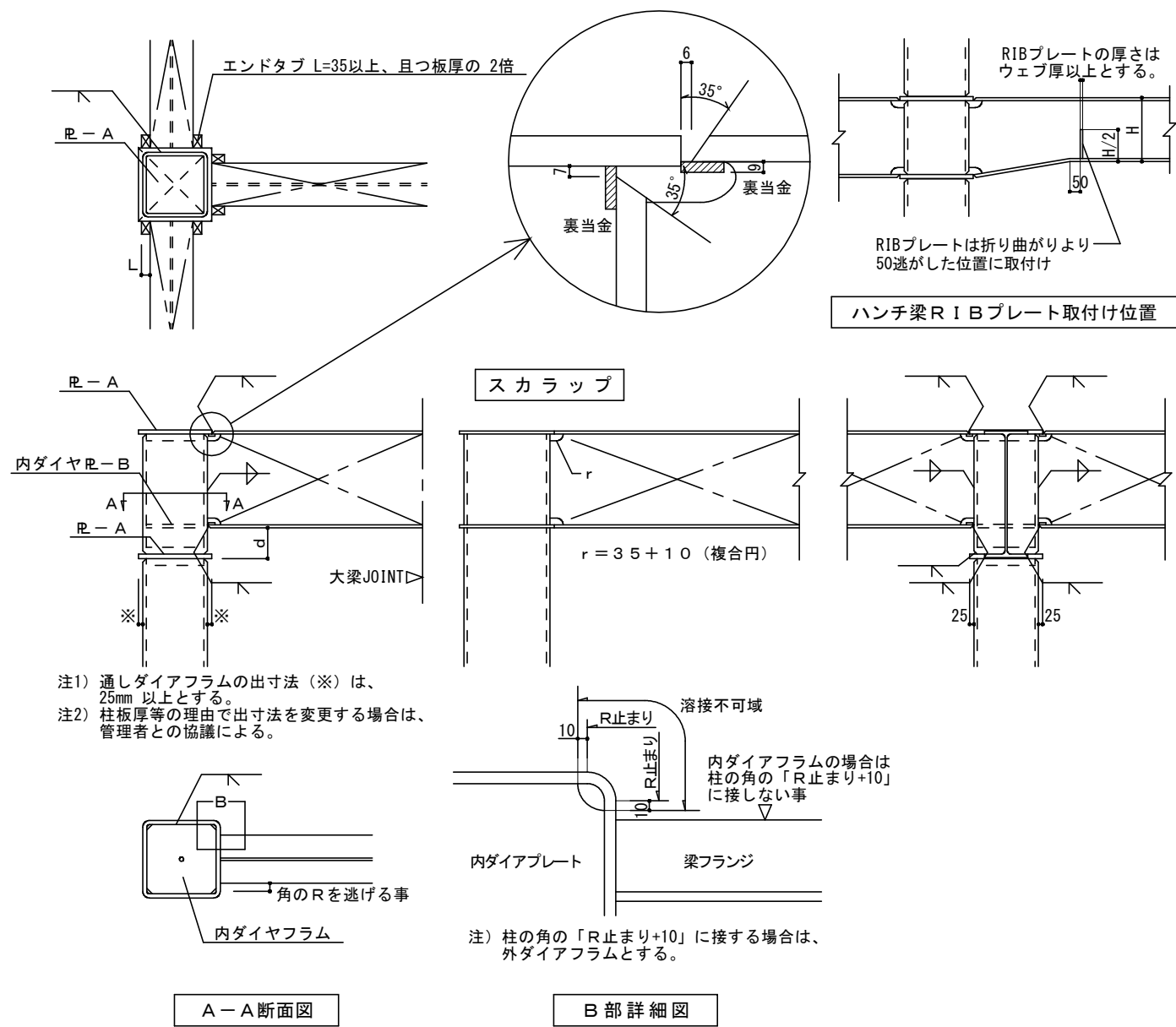
令和 8 年 2 月 作製

S 10

図面名称 R階梁伏図・軸組図・部材リスト

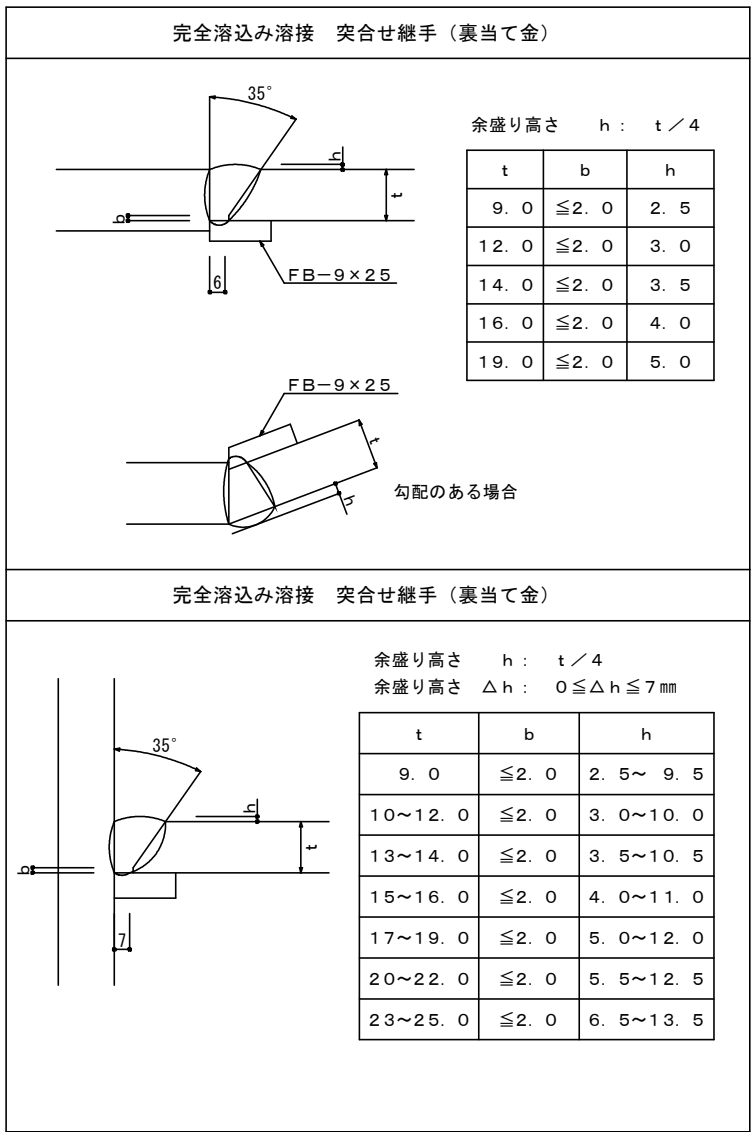
管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

構造設計者 有限会社 阿部構造設計事務所
青森県知事登録 第1463号
一級建築士大臣登録 第359828号 阿部 大輔



仕 口 要 領 図

- ※ 梁、柱仕口溶接は、梁フランジ部分 突合せ溶接
梁ウェブ 部分 すみ肉全周溶接とする。
- ※ R-A、R-Bの厚さは、接合する梁のフランジ最大厚の2サイズUPとする。(内ダイヤの場合も同上とする。)
- ※ dが100以下の場合は、設計者と協議する。
- ※ ダイヤフラムは、SN490Cを使用する。



電気設備改修工事 特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所 青森県青森市浪岡大字女鹿沢平野地内

2. 建物概要

[illegible]

3. 工事種目（●印の付いたものを適用する。）

工事種目	建物別及び屋外	工 事 種 別			備 考
	浪 岡 養 護 学 校			屋 外	
● 電 灯 設 備	改 設 一 式				
● 動 力 設 備	改 設 一 式				
○ 電 気 自 動 車 用 充 電 設 備					
○ 電 熱 設 備					
○ 雷 保 護 設 備					
○ 受 変 電 設 備					
○ 電 力 貯 蔵 設 備					
○ 発 電 設 備					
○ 構 内 情 報 通 信 網 設 備					
● 構 内 交 換 設 備	改 設 一 式				
○ 情 報 表 示 設 備					
○ 映 像 ・ 音 響 設 備					
● 拡 声 設 備	改 設 一 式				
● 誘 導 支 援 設 備	改 設 一 式				
● テレビ共同受信設備	改 設 一 式				
○ 監 視 カ メ ラ 設 備					
○ 駐 車 場 管 制 設 備					
○ 防 犯 ・ 入 退 室 管 理 設 備					
● 火 災 報 知 設 備	改 設 一 式				
○ 中 央 監 視 制 御 設 備					
○					
○ 構 内 配 電 線 路					
○ 構 内 通 信 線 路					
○					
○					

4. 指定部分 ○なし
 ○あり 範囲： 工期：令和 年 月 日

Ⅱ. 工事仕様

1. 共通仕様
図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、●印が付いたものを適用する。
○ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「標準仕様書」という。）
○ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
○ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「標準図」という。）

2. 特記仕様
特記事項は、●印の付いたものを適用する。
●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
●印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章	項 目	特 記 事 項
一	○ 1. 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○ 風圧力 風速 ($V_o =$) 地表面粗度区分 (α) ○ 積雪荷重 建設省告示第1455号における区域 別表 ()
	● 2. 電気工事士	最大電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。
共	● 3. 機材の品質等	(1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承認を受ける。 ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し、監督職員の承認を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。
通		
事		
項		

機材名

LED照明器具（一般屋内用に限る。）

照明制御装置
可変速運転用インバータ装置
分電盤
制御盤
キュービクル式配電盤
高圧スイッチギア（CW）
高圧スイッチギア（PW）
高圧交流遮断器
高圧変圧器（特定機器）
高圧進相コンデンサ
高圧限流ヒューズ
高圧負荷開閉器
交流無停電電源装置（常時インバータ給電方式（簡易型）を除く。）
太陽光発電装置（パワーコンディショナ及び系統連系保護装置）
監視カメラ装置
中央監視制御（監視制御装置）

※ JIS C 62271-200による高圧スイッチギヤ(〇) を含む。
 ※ JIS C 62271-200による高圧スイッチギヤの製造業者等へを
 上記 (2) ①～⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して
 監査機関の承認を受ける。
 ただし、JEM1425による高圧スイッチギヤ (CW) / (PW) 【注】を付した
 機材名を記載し、上記 (2) ①～⑥すべての事項を評価されたこと
 とを示す資料機関が発行する書面を提出し、監査機関の承認を受けた
 場合は、①品質及び性能に関する試験データを省略していること
 (注) を除き、証明となる資料等の提出を省略することができる。

- (1) 本工事において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和8年2月閣議決定）」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。

- (2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
- ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウレタン樹脂壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
- ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
- ③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
- ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

施工範囲 図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。

(1) 設備機器の固定は、「建築設備前設計・施工指針・2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)により、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。

ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合はこの限りではない。

①設計用水平地震力

機器の重量[kN]に、地域係数(1.0)及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合は設計用標準水平震度は次による。

	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上 及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

- 上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。中間階とは2階、1階を除く各階で上層階に該当しない階とする。
- 水槽類には燃料小出タンクを含む。
- 重要機器は次のものを示す。
- | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 配電盤 | <input type="checkbox"/> 発電装置（防災用） | <input type="checkbox"/> 直流電源装置 |
| <input type="checkbox"/> 交流無停電電源装置 | <input type="checkbox"/> 交換装置 | <input type="checkbox"/> 自動火災報知受信機 |
| <input type="checkbox"/> 中央監視制御装置 | | <input type="checkbox"/> |
- ②設計用鉛直地震力
- 設計用水平地震力 $1/2$ とし、水平地震力と同時に働くものとする。
- (3) 横引き配管等の耐震支持は、施設の耐震安全性の分類にじたものとする。
- (4) 1kNを超える機器のアンカー類については耐震支持に対する計画書を提出する。

- | | |
|--------------------|---|
| ● ８．石綿含有製品調査 | イ) 撤去機器、器具等について石綿含有製品調査を行い、監督職員に報告する。
調査範囲 ()
調査方法 ()
○ 型番確認の上、製造者より「 <input type="checkbox"/> 」
ロ) 下記の石綿含有製品の定性分析調査を行うものとし、採取部位及びサンプル数は監督職員と協議する。
なお、調査にかかる費用は、 <input type="checkbox"/> 本工事 <input type="checkbox"/> 別途 とする。 |
| ● ９．足場その他 | ※ 別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。
○ 本工事で設置する。() (図参照)
「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立てに関する基準」における２の(1)手すり設置方式又は(2)手すり先行
○ 材料、撤去材等の運搬方法 (建築工事編2.2.1 表2.2.1による。) <input type="checkbox"/> 別
種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 ○ E種
○ 仮設足場切替
種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種
○ 既設部分の養生
○ 行う ()
○ 行わない
50Hz |
| ● １０．電源周波数 | はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に定置式埋設物調査を行い、監督職員に報告する。
また、金属探知により電源供給の停止ができる附属装置を使用する。 |
| ○ １１．非破壊検査 | イ) 放射線透過検査等による埋設物の調査
ロ) 範囲は監督職員の指示によるものとし、費用は別途とする。 |
| ○ １２．あと施工アンカー | イ) あと施工アンカー 接着系アンカー (接着剤 (有機系))
金属張系アンカー (本体打込み式)
ロ) 試験 性能確認試験 ○ 行う ※ 行わない
施工後確認試験 ○ 行う ※ 行わない |
| ● １３．撤去跡の修補 | 機器撤去後の天井、壁及び床等の修補は既存仕上げと同等の修補とする。 |
| ● １４．既存施設等の復旧 | 施工に際し既存設備、施設等に損害を及ぼした場合は、原状に復旧する。 |
| ● １５．支持金物・固定金具 | イ) 屋外機器及び屋外の配管に使用する支持金物 (ボルト類) はステンレス製 (SUS304) とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ (樹脂製) を取り付ける。
ロ) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
○ 下記種類の改造等は、製造者等による作業とする。
○ 分電盤 ○ 制御盤 ○ 受変電盤 ○
○ 盤類の改造前と改造後に関連する器具類、回路等の動作確認試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。
○ 盤類の工事完了後に、単線緑線図の更新を行う。
各機器の個別運転後に下記の設備について総合動作試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。
○ 照明制御装置 ○ 受変電設備 ○ 電力貯蔵設備
○ 発電設備 ○ 駐車場管制設備 ○ 防犯・入退室管理設備
○ 中央監視制御設備 ○ |
| ○ １６．既存壁の改造 | 新設する電線類は、図面に「EM-○○」の記載がなくとも、EM電線、EMケーブルを使用する。 |
| ○ １７．総合動作試験 | EM=高压架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架橋ポリエチレンケーブル (3層押出型)」によるものとする。
屋外でEM=高压架橋ポリエチレンケーブル相互の接続又は端末処理を行う場合は、端部にシランクパック対策を施す。
屋外、及び地下ビッドで使用する厚銅電線管のうち特記のないものは「内外面溶融亜鉛めっき (めっき付重量300g/㎡以上) 仕上がり」とする。
分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。
床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。
○ 金属製 (ステンレス、新金属も含む) ○ 樹脂製
○ アルミ製 ○ 銅合金製
水平調整付プレート (空腔防止リング付) とする。
外部ネットワークと接続する制御システム
○ あり (対象設備) ○ 受変電設備 ○ 構内情報通信網設備
○ 中央監視制御設備 ○
○ なし
外部ネットワークと接続する箇所の不正アクセス防止対策
○ ファイアウォール ○ 統合脅威管理(UTM)
盤・キャビネットの錠の鍵
○ 製造者の標準鍵
○ 鍵の指定あり
対策機器 ○ 分電盤 ○ 制御盤 ○ キュービクル ○ 端子盤
○ 通信キャビネット ○ |
| ○ １８．電線・ケーブル | 図面に特記なき場合は、表１「接地極一覧表」による。 |
| ○ １９．ケーブルの種類 | ○ キュービクル、分電盤、制御盤等のキャビネットの仕上げ
※ 製造者の標準色仕上げとする。
○ 下記部位に取付けけるものは、指定色仕上げとし、それ以外は製造者の標準色仕上げとする。
○ 屋外 ○ 屋内 ()
○ 下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
() 居室 () |
| ○ ２０．ケーブルの接続 | 図面に特記なき場合は、表２「機器取付高さ」による。 |
| ○ ２１．厚銅電線管 | 外面に面する壁、天井で建築工事でFP板 (スタイロフォーム等) 打込み箇所に取り付けける位置ボックスなどは保温、結露防止処理を行う。 |
| ○ ２２．合成樹脂製可とう管 | |
| ○ ２３．電線本数、管路など | |
| ○ ２４．インサート | |
| ○ ２５．フラッシュプレート | |
| ○ ２６．フロアプレート | |
| ○ ２７．監視制御システムのサーバ等 | |
| ○ ２８．機器取付高さ | |
| ○ ２９．保温、結露防止 | |

- | | | | |
|-------------------|--------------------------------------|-----|-----|
| 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事 | | 縮尺 | |
| | | 所 長 | 部 長 |
| 株式会社 川島隆太郎建築事務所 | TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877 | | |

- | | | |
|---|-------------------------|--|
| | ○ 3 0 . 呼び線 | 長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のEM-E電線を挿入する。 |
| | ○ 3 1 . 本受電後の基本料金 | ○ 計上する（想定契約電力 kw、想定期間 ヶ月間）
○ 計上しない |
| 各 | ○ 1 . タンブラスイッチ | ネーム付きとする。 |
| | ○ 2 . O Aフロア用配線器具の蓋 | ○ アルミ製 ○ 樹脂製 |
| 設 | ○ 3 . ハネズヨント用 O Aフタ | 特記の無いハネズヨント用 O Aフタは次の仕様とする。
2P15A（接地極付抜止形）×4 コー3m（77°）付付通電表示灯付 |
| | ○ 4 . 人感センサ用プレート | 照明の人感センサ制御を行う部屋には、下記の注意プレートを設置する。
材質：アクリル 文字：印刷文字 寸法：W=180mm程度、H=50mm程度
参考文例：「人の動きを検知して点灯します。一定時間動きがなければ消灯しますので、その際は再度身体を動かしてください。」
注意プレート設置室： ○ 使 所（計 枚） ○ （計 枚） |
| 備 | ○ 5 . ターミナルユニット付リモコンリレー | 天井内に取付けるターミナルユニット付リモコンリレーの設置場所は、原則として点滅系統内の第1照明器具近傍とする。
ただし、これよりがたい場合は監督職員と協議する。 |
| | ● 6 . LED照明器具 | LED照明器具の制御装置配号が特記されていないものは「一般形（L N）」と判定する。 |
| | ● 7 . 一般照明の照度測定 | 照度測定箇所は監督職員との協議による。 |
| | ○ 8 . 分電盤 | ○ 分電盤の分岐回路に使用する配線用遮断器及び漏電遮断器は、JIS協約形の1P15A型（100V2P1E、200V2P2E）とする。 |
| | | ○ 理込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合（P F 2 2）を1本、5個以上の場合（P F 2 2）を2本、天井まで立上れる。 |
| | ○ 9 . 制御盤 | 配管ボンドとなる負荷には接地端子を設けなくともよい。 |

表1「接地極一覧表」
 接地極の種別は下記を標準としEBの長さは1,500mmとする。ただし、D=10は1,000mm、W=30は1,200mmとする。又、装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。

[illegible]

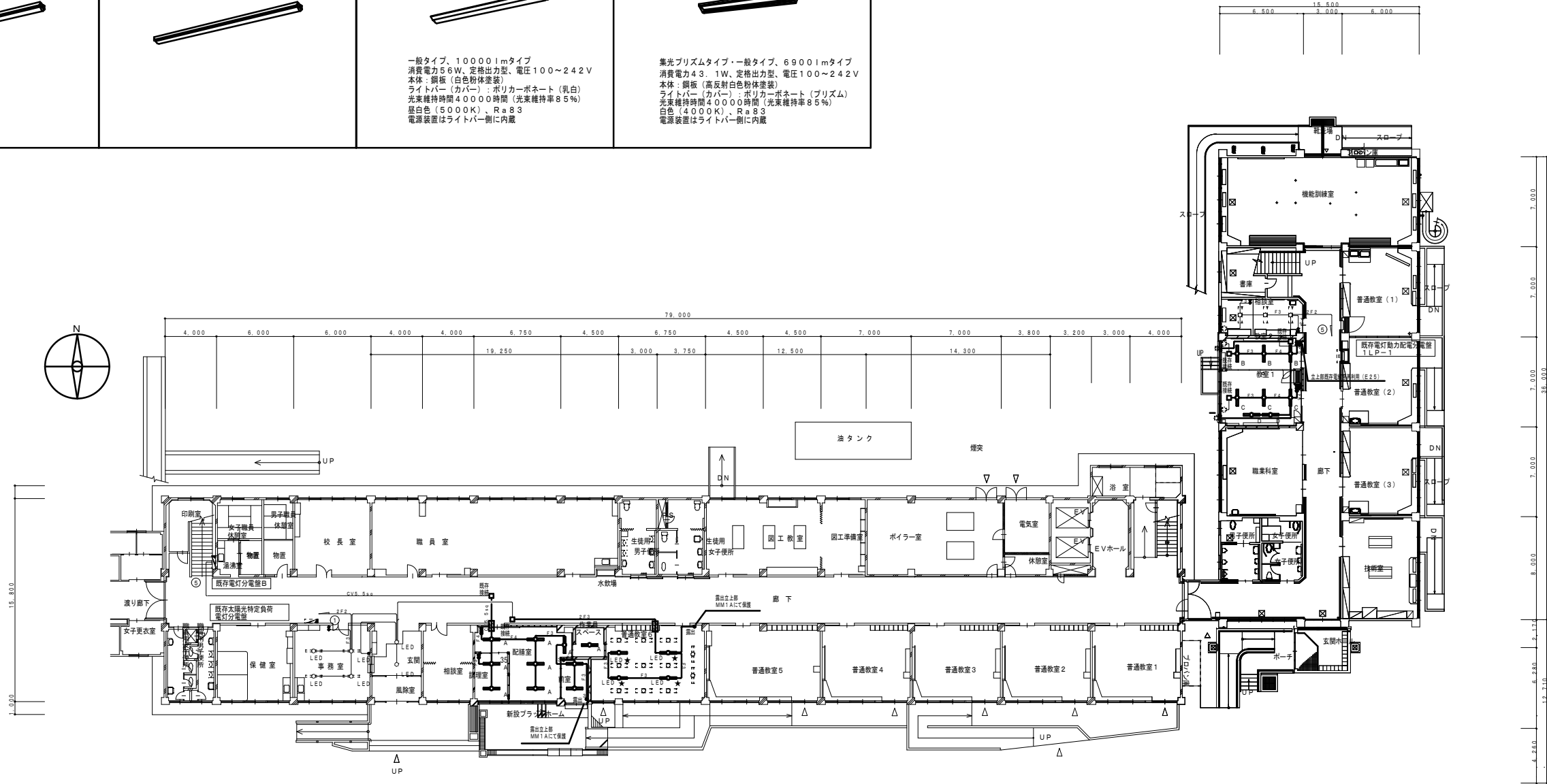
表 2 「機器取付高さ」

機 器	測 点	取 付 高 (mm)	機 器	測 点	取 付 高 (mm)
共通	引算用計器	地上～変心中 1,800～2,000	集合保安装置	床～上端	200
	積算開閉器	床～上端 1,800～2,200	端子盤	床～上端 (上限1,900以下)	1,500
電 灯	分 電 盤	床～上端 (上限1,900以下)	壁付電話機	床～上端	1,300
	スイッチ(一般)	床～上端	壁付フットライト(一般)	床～上端	300
	スイッチ	床～上端	壁付フットライト(和室)	床～上端	150
	(A・V・T・V・I・V)				
	スイッチ(和室)	床～上端	時計掛形時計	床～上端 (上限1,900以下)	1,500
	スイッチ(一般)	床～上端	壁付予備計	床～上端	天井高×0.9
	スイッチ(和室)	床～上端	壁付形足元灯	床～上端	天井高×0.9
	スイッチ(台上)	床～上端	壁付フットライト	床～上端	1,300
	スイッチ(扇形)	床～上端	情報表示装置	床～上端	天井高×0.9
	スイッチ(扇形)	床～上端	壁付受信機	床～上端	1,300
動力	スイッチ(扇形)	床～上端	バルブスイッチ	床～上端	2,300
	スイッチ(扇形)	床～上端	壁付スイッチ(一般)	床～上端	1,300
	フットライト(一般)	床～上端	スイッチ(一般)	床～上端	1,400
	フットライト(扇形)	床～上端	スイッチ(一般)	床～上端	約1,350
	フットライト(扇形)	床～上端	壁付フットライト(一般)	床～上端	1,300
	壁掛形制御盤	床～上端 (上限1,900以下)	機器受取箱	床～上端	200
	開閉器	床～上端	機器受取箱(EPS)	床～上端	1,500
	壁付スイッチ	床～上端	フットライト(一般)	床～上端 (上限1,900以下)	300
	壁掛形接地端子箱	床～上端	フットライト(和室)	床～上端	150
	接地端子箱	床～上端	受 信 機	床～上端	800～1,500
電 信			機器受取箱	床～上端	800～500
			機器受取箱	床～上端	800～500
受 電 電			受 信 機	床～上端	800～1,500
			警報表示灯	床～上端	2,100
誘 導 支 撐 等	呼出表示灯	床～上端	ガス石油ガス用	床～上端	300
	(A・V・T・V・I・V)		床～上端(経路)	床～上端	150
	壁付フットライト(扇形)	床～上端	床～上端(経路)	床～上端	300
	壁付フットライト(一般)	床～上端	床～上端(経路)	床～上端	300
	(壁掛形表示灯)		床～上端(経路)	床～上端	300
	壁掛形表示灯	床～上端	床～上端(経路)	床～上端	300

工事区分表（他工事との取合い等）																																																		
項 目					A	E	M	EV	備 考					項 目					A	E	M	EV	備 考					項 目					A	E	M	EV	備 考													
躯体関係										仕上げ関係										11. その他 （続き）	排煙口等の天井仕上材の取付け										○				排煙口はM															
1. RC造 （梁・壁・床）の 貫 通 孔 開口部	貫通孔のスリーブ材及び取付け									○	○	○	○						1. 軽量鉄骨 天井下地 ・壁下地		補強を要するボードの切り込み及び下地の補強									○						消火器ボックス設置工事					○									
	補強を要する型枠材及び取付け									○								補強を要しないボードの切り込み										○	○				誘導標識（誘導灯を除く）					○												
	補強を要しない型枠材及び取付け									○	○	○	○								開口部の墨出し										○	○				煙突底部排水目皿・排水管					○									
	貫通孔・開口部の墨出し									○	○	○	○																							くつつきマット・玄関マット・自動扉マット部 床排水金物（目皿共）・排水管					○									
	貫通孔・開口部の補強									○																										くつつ洗い流し部排水金物・排水管					○									
	スリーブ・型枠の穴埋め									○	○	○	○	防火区画、防煙区画							2. 可動間仕切り	切込み及び補強									○																			
2. S・SRC造の 梁貫通孔	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強									○									位置ボックス									○																						
	使用されたスリーブの穴埋め									○	○	○	○	防火区画、防煙区画					3. つりボルト 及び インサート			設備機器・器具・配管・配線・ダクト用										○	○				雨水流入配管					○								
	予備スリーブの穴埋め									○	○	○	○	防火区画、防煙区画																							雨水利用設備集水管							○		電動遮断弁以降はM				
3. 設備機器 の基礎	屋内の基礎（建築設計図に記入のあるもの）									○									4. 外壁まわり	外壁ガラリー及びダクト接続用フランジ									○																					
	屋内の基礎（設備設計図に記入のあるもの）										○	○						ウエザーカバー、ベントキャップ（シール共）											○																					
	屋外・屋上の基礎									○										換気扇（取付枠共）											○			屋外排水設備・外構																
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの											○	○							サッシパネル開口									○																					
	機器取付け用アンカー・架台											○	○																																					
	屋内受水タンク用の基礎									○										5. 湯沸室まわり	流し台・つり戸棚・水切り棚・コンロ台									○																				
4. 昇降機関連	太陽電池アレイ用架台（支持金物）									○	○			AとEの区分は図示					フード（標準詳細図のもの、シール共）									○						その他はM																
	機械室・昇降路の躯体									○									ミニキッチン（照明、水栓含む）									○																						
	機械室の床開口									○									6. 浴室まわり		浴室ユニット、複合浴室ユニット、シャワーユニット												○																	
	機械室の床配管ピット・ふた									○											既製浴槽（ふたを含む）												○																	
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上									○											浴室及び便所の床排水金物												○																	
	機械室・昇降路内換気設備												○																																					
	巻上機周囲のチェッカープレート敷													○						7. 便所まわり	洗面カウンター									○						洗面器はM														
	昇降路内ピット防水・集水樹									○											鏡（規格寸法のみ）												○			規格外はA														
	点検用タラップ													○							衛生器具ユニット												○																	
	各階出入口穴あけ・同補強									○									手すり、背もたれ									○						衛生器具ユニットの 場合はM																
	三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補修													○																○																				
	昇降路がS造の時の出入口扉・三方枠及び幕板の固定用鋼材									○									8. 事務室まわり		ファンコイルカバー									○																				
	出入口扉・三方枠及び幕板													○						家具組み込みの洗面器												○			切り込みはA															
	出入口扉・三方枠及び幕板の各補強鉄骨									○																																								
	昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、 他昇降路内の鋼製部材一式													○						9. ｸﾘｰﾌｧｼﾔﾓﾃﾙ	コンセント												○																	
	昇降路がS造の時の中間ビーム及びブラケットの受けピース									○											床パネルの切り込み加工									○																				
	機械室大梁又は昇降路内にフックの取付（フックを含む）									○																																								
	ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口									○																																								
	点検用コンセント・煙感知器												○						10. 自動扉 電動シャッター まわり		防火戸の自動開閉装置												○																	
EV制御盤までの動力・照明用電源、アース、火災時管制運転用信号、 非常用発電時管制運転信号、拡声設備（館内放送用）配管・配線工事												○						上部電動シャッター本体・制御盤・手動開閉装置・ヒューズ装置									○																							
EV制御盤からエレベーター内監視カメラ及びインターホン までの配管・配線工事													○	監視カメラ及び インターホン含む、 電気設備のモニタ装置 に映像を表示する場合						排煙窓本体・自動開閉装置									○																					
監視カメラ用の監視装置からEV警報盤又はEV監視装置までの 配管・配線工事												○						防煙たれ壁本体・駆動装置									○																							
EV警報盤又はEV監視盤までの保守遠隔監視用（電話回線）の 配管工事												○						上部電動シャッター・排煙窓及び防煙たれ壁連動制御装置の感知器									○																							
EV警報盤又はEV監視盤までの緊急地震速報受信用の配管・配線工事												○						自動扉の本体・駆動装置・検出装置（センサー）									○																							
EV制御盤からEV監視盤又は警報盤までの制御、監視カメラ及び インターホンの配管・配線工事													○							自動扉の手元電源スイッチ												○																		
動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事													○							電気錠の本体、扉内配線									○																					
5. その他	トラフ・ピット類（湧水・汚水）・RC造各種水槽									○										電気錠の扉までの配管及び配線												○																		
	同上用防水・ふた・マンホール・タラップ等									○										自動閉鎖装置を取りつける防火戸の切り込み補強 及びドアクローザー、フロアヒンジ									○																					
	雷保護設備・同接地工事												○						自動扉・電動シャッターからセンサー（附属スイッチ）への 配管・配線工事									○																						
	ALC板の壁開口・補強									○									自動扉・電動シャッター本体までの配管・配線												○																			
	厨房排水溝									○									11. その他	2重ピット及びトレンチのマンホールふた									○																					
	厨房グリース阻集器													○						機器搬入用フック、ビーム									○						EV用フック含む															
	オイルサーピスタンクの防油堤									○										チェーンブロック												○	○																	
	フリーアクセスフロア内の防水堤									○										化粧マンホール上ふたの表面仕上げ									○																					
既設埋設配管配線調査（X線探査含む）									○	○	○							点検口（天井・床下）									○																							
凡 例	A：建築工事 E：電気設備工事 M：機械設備工事 EV：エレベーター設備工事 ※区分は○印のついたものを適用する。 ※複数に○印がある場合は、それぞれ必要とする工事で実施するものとする。									この工事区分表は、建築工事（A）、電気設備工事（E）、機械設備工事（M）、エレベーター設備工事（EV）といった 施工上密接に関連する各工事において、材料や作業がどの工事に含まれているかを明確にするために共通事項として添付 しているものである。よって、本工事の設計図書に記載されていない、工事範囲外の項目も含んでおり、本工事の具体的 工事内容を示すものではないことに留意すること。									（設計者等表示欄） ※									※ 設計者等表示欄は建築士法に基づき、建築士等がその業務に必要な表示行為を行う場合等に作成する																						

NOTE				工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事				縮 尺 - (A1判) - (A3判)				単位 M M				令和 8 年 2 月 作製				図面名称 特記仕様書（2）			
				青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所				所 長 部長 課 長 担 当 製 図 製 図				(上野)				E — 02				管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正			
				TEL 017 (741) 6497 FAX 017 (742) 1877																			

A	LED 直付型器具 (昼白色・一般形) LSS1MP/RP-4-64-LN	43.1V	B	LED 直付型器具 (昼白色・一般形) LSS1-4-65-LN	43.1V	C	LED直付型40形 W150	55.1V	D	LED直付型40形 黒板灯	43.1V
<div>一般タイプ、10000lmタイプ 消費電力56W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</div> <div>集光プリズムタイプ・一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力43.1W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（プリズム） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 白色（4000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</div>											



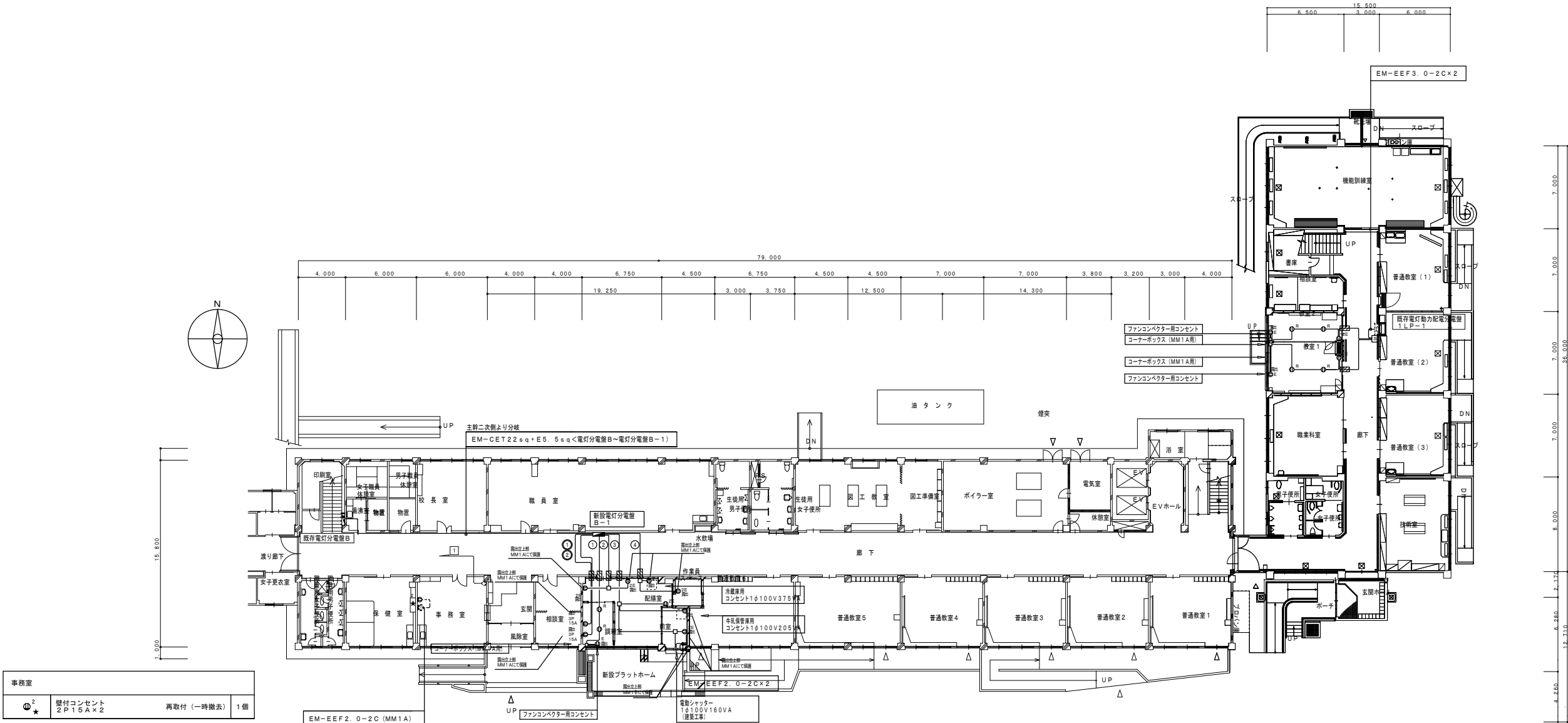
注 記	
1. 特記無き配線配管は、下記による。	
防火上主要な開仕切り・小部屋隔壁の貫通箇所は防火処理を施すこと。	
2. ケーブルの立上り引下げは電線管にて保護すること。	
EM-EFF 1. 6-2C	保護管 (PF16)
EM-EFF 1. 6-3C	保護管 (PF16)
EM-EFF 1. 6-2C x 2	保護管 (PF22)
EM-EFF 1. 6-2C + EM-EFF 1. 6-3C	保護管 (PF22)
EM-EFF 1. 6-3C x 2	保護管 (PF22)
EM-EFF 2. 0-3C	保護管 (PF22)
EM-CE 5. 5sq-2C	保護管 (PF22)

普通教室6			
LED	直付LED照明器具40形×1	再取付（一時撤去）	4個

図記号	名 称	定 格	備 考
●	タンブラスイッチ (適用大角形)	1P15A×1	
●s	タンブラスイッチ (適用大角形)	3W15A×1	
■	貫通補修	φ100 (壁用)	防火処理を施すこと

★印は一時撤去・再取付を示す。(既存照明器具撤去 図A-11.12参照)
薄線は既存を示す。

1階電灯分岐設備図 S=1/200



事務室			
④ ² ★	壁付コンセント 2P15A×2	再取付（一時撤去）	1個

注 記	
1. 特記無き配線配管は、下記による。	
防火上主要な開仕切り・小室基隔壁の貫通箇所は防火処理を施すこと。	
2. ケーブルの立上り引下げは電線管にて保護すること。	
———	EM-EEF 2. 0-3C
———	EM-EEF 2. 0-3C (MM1A)
———	保護管 (PF22)

★印は一時撤去・再取付を示す。
薄線は既存を示す。

1階コンセント分岐設備図 S=1/200

図記号	名 称	定 格	備 考
④ ^E	壁付コンセント	2P15A×1 (接地極付)	
④ ^{2E}	壁付コンセント	2P15A×2 (接地極付)	
⑤	開閉器箱	MCCB30AF×2	
㊤	貫通補修	φ100 (壁用)	防火処理を施すこと
㊦	別途工事支給スイッチ	取付本工事	
① ^R	接地リレーコンセント	引掛2P15A・E付×2	
① ^{3P15A}	壁付コンセント	3P15A×1 (1Pは接地極とする。)	200V用

NOTE

工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877


縮 尺		1/200 (A1判)		1/400 (A3判)		単位		M M	
所	長	部	長	課	長	担	当	製	図

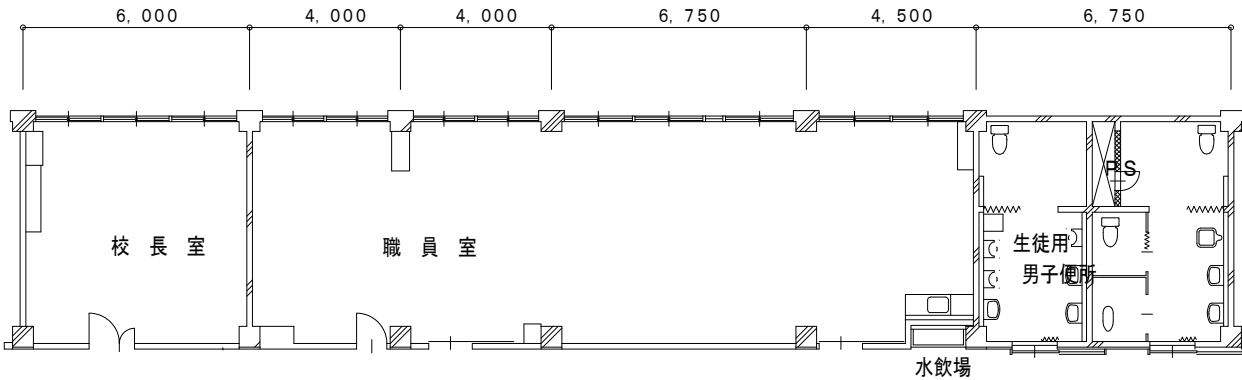
令和 8 年		2 月		作 製	
E	—	0	5		

図面名称 1階コンセント分岐設備図

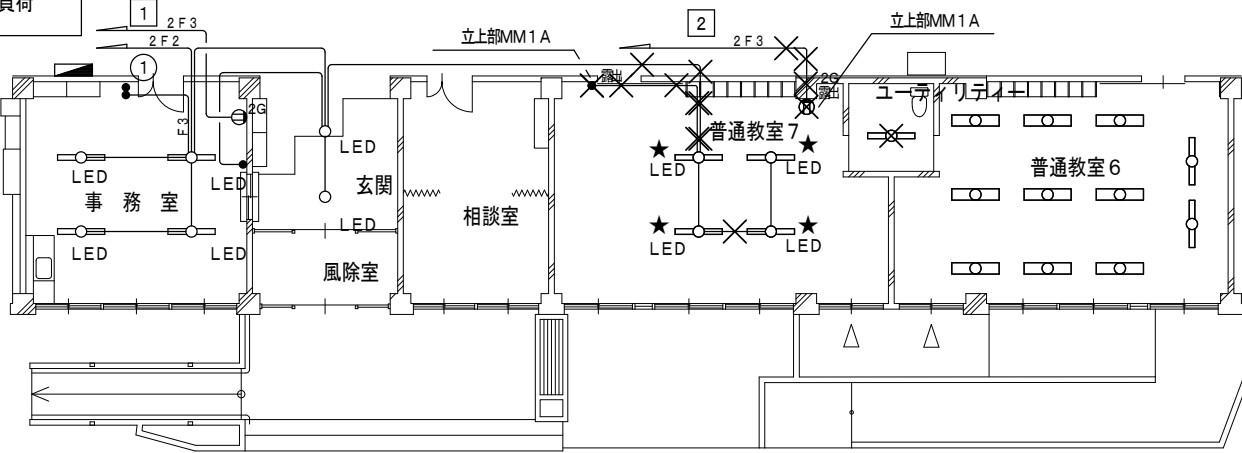
管理建築士 1級建築士登録113986号 川島 芳正

普通教室7		
露出型コンセント2P15A×2	撤去	1個
コンセント線脂部赤色・発電機回路表示付き		
露出型スイッチ1P15A×1	撤去	1個

普通教室6		
 直付LED照明器具40形×1	再取付（一時撤去）	4個



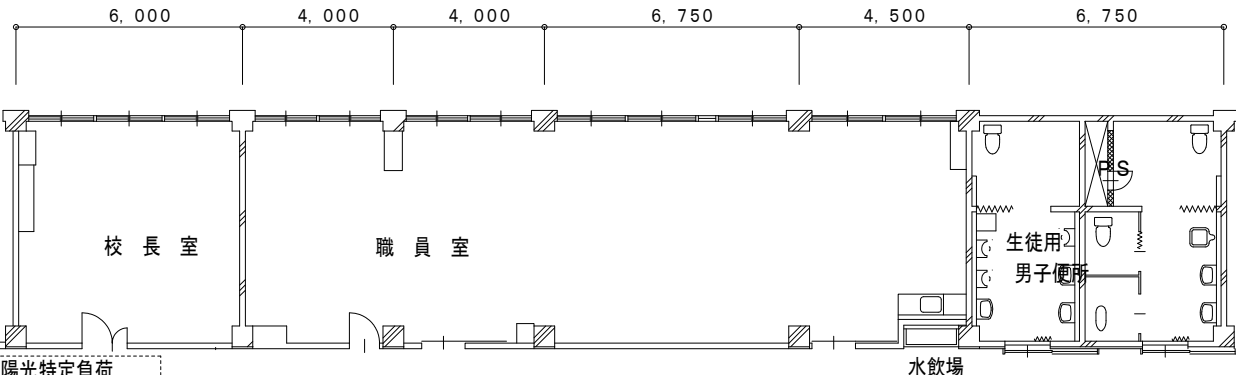
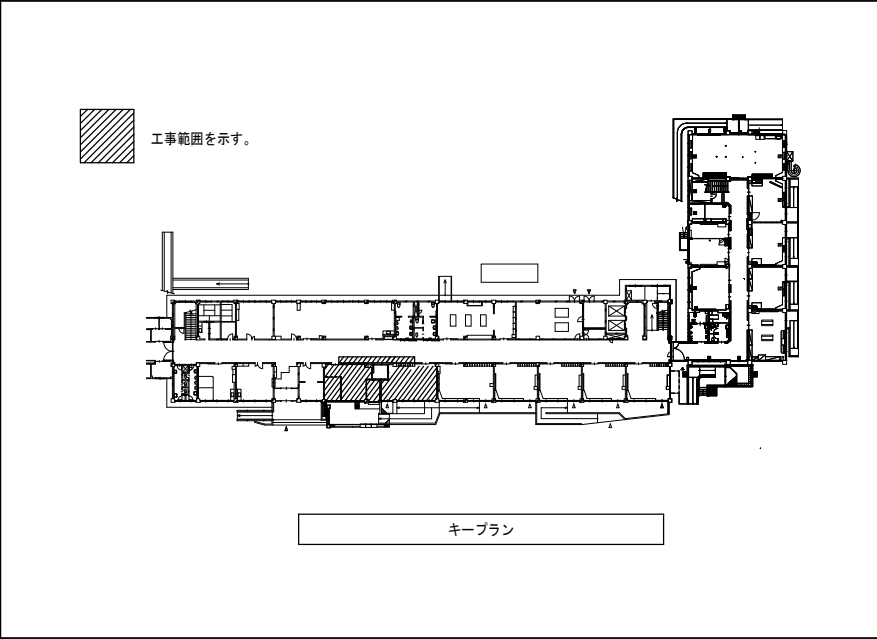
既存太陽光特定負荷
電灯分電盤



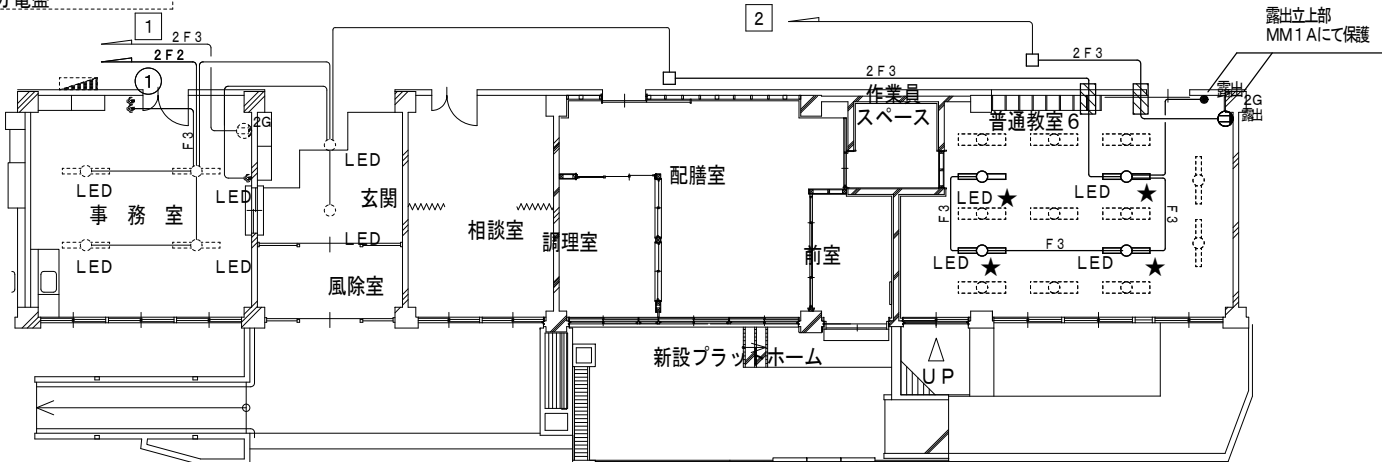
×印は撤去を示す。

（配膳室部）改修前1階電灯設備図（太陽光回路部） S=1/100

注 記	
1. 特記無き配線配管は、下記による。	
— 2F3 —	VVF 2.0-2C
— 2F2 —	VVF 2.0-3C
— F3 —	VVF 1.6-3C
— F2 —	VVF 1.6-3C
— F1 —	VVF 1.6-2C × 2
— F0 —	VVF 1.6-2C + VVF 1.6-3C
— F4 —	VVF 1.6-2C × 2 + VVF 1.6-3C
— CVS, S&A —	CV 5.5sq-2C



既存太陽光特定負荷
電灯分電盤



薄線は既存を示す。

（配膳室部）改修後1階電灯設備図（太陽光回路部） S=1/100

図記号	名 称	定 格	備 考
●	タンプスイッチ (通用大角形)	1P15A×1	
●	タンプスイッチ (通用大角形)	3W15A×1	
□	貫通補修	φ100 (壁用)	防火処理を施すこと
②G	壁付コンセント	2P15A種補修付×2 コンセント線脂部：赤色 発電機回路表示付き新金風装プレート	

注 記	
1. 特記無き配線配管は、下記による。	
防火上主要な間仕切り・小屋裏隔壁の貫通箇所は防火処理を施すこと。	
2. ケーブルの立上り引下げは電線管にて保護すること。	
— EM-EEF —	EM-EEF 1.6-2C 保護管 (PF16)
— EM-EEF —	EM-EEF 1.6-3C 保護管 (PF16)
— EM-EEF —	EM-EEF 1.6-2C × 2 保護管 (PF22)
— EM-EEF —	EM-EEF 1.6-2C + EM-EEF 1.6-3C 保護管 (PF22)
— EM-EEF —	EM-EEF 1.6-3C × 2 保護管 (PF22)
— EM-EEF —	EM-EEF 2.0-3C 保護管 (PF22)
— EM-CE —	EM-CE 5.5sq-2C 保護管 (PF22)

NOTE

工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事

縮尺 1/100(A1判) 1/200(A3判) 単位 MM

令和 8 年 2 月 作製

図面名称 (配膳室部)改修前後
1階電灯設備図(太陽光回路部)

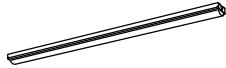



青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

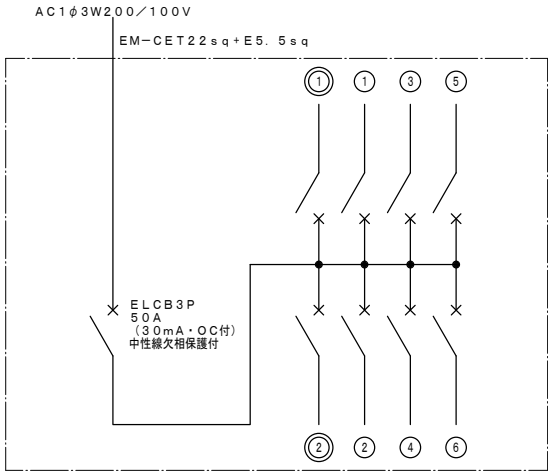
TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877

上野

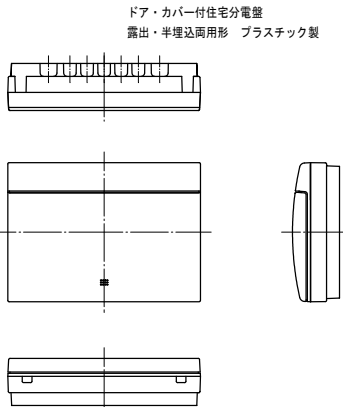
E 06

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

A	LED 直付型器具 (昼白色・一般形) LSS1MP/RP-4-64-LN	43.1VA
		
B	LED 直付型器具 (昼白色・一般形) LSS1-4-65-LN	43.1VA
		
C	LED直付型40形 W150	56VA
 <p>一般タイプ、10000lmタイプ 消費電力56W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p>		
D	LED直付型40形 黒板灯	43.1VA
 <p>集光プリズムタイプ・一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力43.1W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（プリズム） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 白色（4000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p>		



新設電灯分電盤 B-1 単線結線図



参考姿図

No 100V回路を示す。

No 200V回路を示す。

安全ブレーカー-2P1E20A × 6

安全ブレーカー-2P2E20A × 2

NOTE

工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

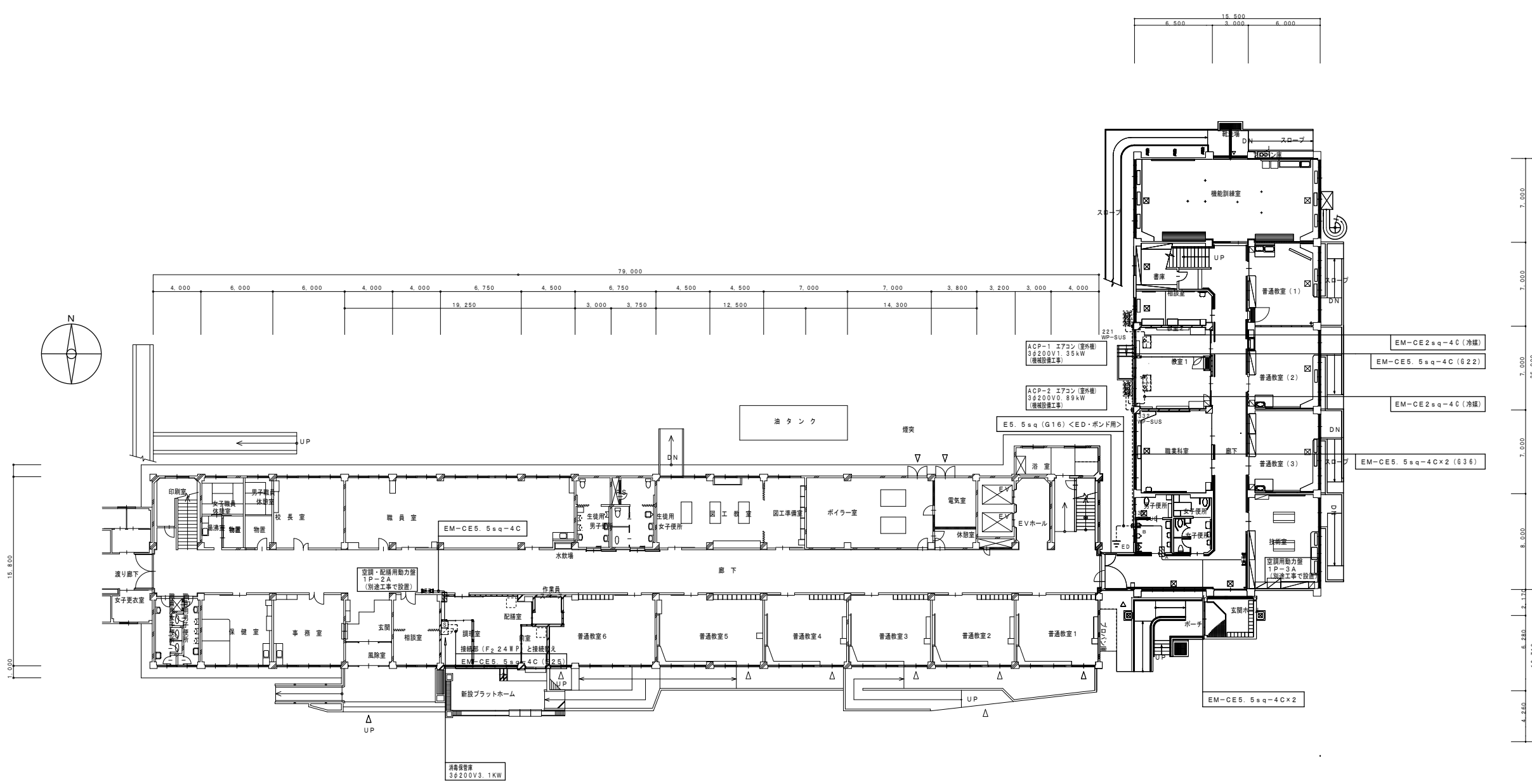
TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877

縮尺 (A1用) (A3用)		単位 MM		令和 8 年 2 月 作製	
所 長	部 長	課 長	担 当	製 図	製 図
					(上野)

E 07

図面名称 照明器具姿図・電灯分電盤結線図

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

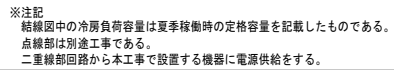


ブルボックス寸法は下記による。	
	mmn : (m×100) W× (m×100) W× (n×100) H
特記無き限り露出型ねじ止め式とする。	
記号の末尾にCの記号を付記したものは隠ぺい部に取り付ける。	
記号の末尾にWPの記号を付記したものは屋外形とする。	
記号の末尾にSUSの記号を付記したものはステンレス製とする。	
記号の末尾にVの記号を付記したものは合成樹脂製とする。	

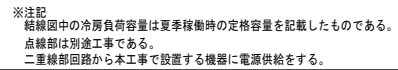
※屋外機接続部分は金属製可とう電線管（ビニル被覆あり・防水）に接続替えること。

1階動力設備設備図 S=1/200

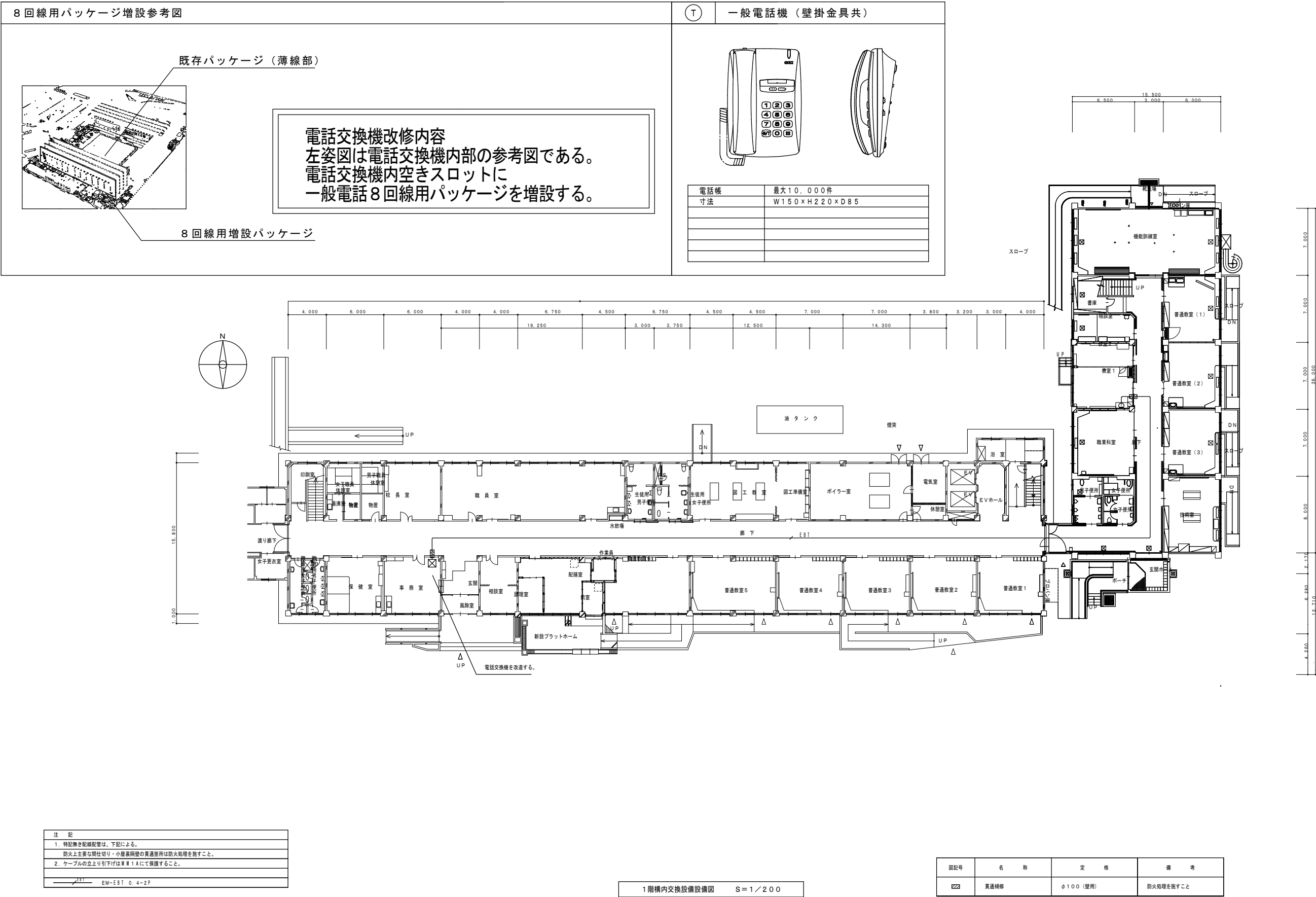
図記号	名 称	定 格	備 考
	開閉器	MCCB30AF (防湿型)	
	貫通管	φ100 (壁用)	防火処理を施すこと
	金属製可とう電線管 コンピネーションカップリング	厚鋼電線管用	配管サイズは図示



露出型
鋼板製



露出型
銅板製



●

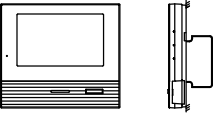
テレビドアホン（観機）

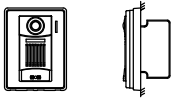
●

玄関子機

WP

防滴型天井スピーカー





電源電圧AC100V 50/60Hz

モニター7型TFTカラー液晶

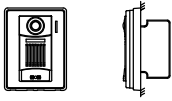
通信方式1. 9GHz TDMA-WB（時分割多元接続方式）

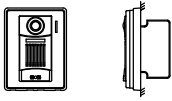
通話方式拡声自動交互通話／ブレストーク通話

録画機能自動・手動録画、再生、保存

形状1. 9GHz TDMA-WB（時分割多元接続方式）

材質本体：自己消火性樹脂、アクリルパネル部：難燃性樹脂





電源電圧モニター付観機から供給

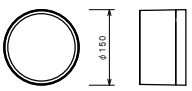
形状壁取付型（JIS1個用スイッチボックス）

材質自己消火性樹脂

カメラ1/2.7型カラーCMOS

通話方式自動交互通話

備考防塵・防まつ形（JIS C 0920 IP54 相当）



スピーカーユニット防滴10cmコーン型

定格入力1W/3W/6W

出力音圧レベル92dB/W(1m)

周波数特性150Hz~20kHz

入力インピーダンス10kΩ(1W)/3.3kΩ(3W)

1.7kΩ(6W)

防水保護等級IPX4準拠（JIS C 0920）

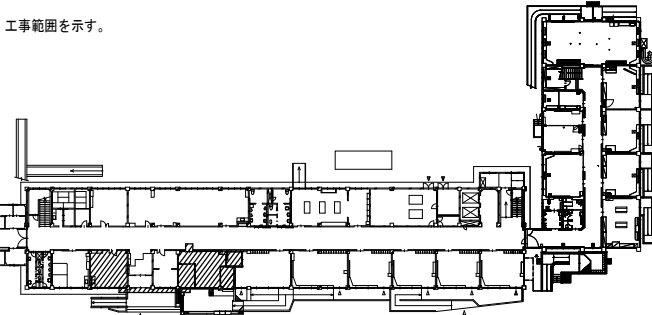
発塵性能JIS B9926の測定において発塵せず

アッテネーター4段階（大／中／小／切）

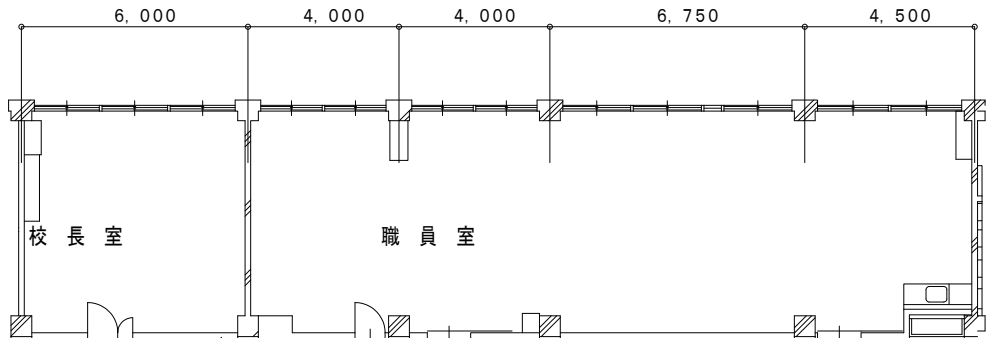
仕上耐UV白色塗装

●

工事範囲を示す。

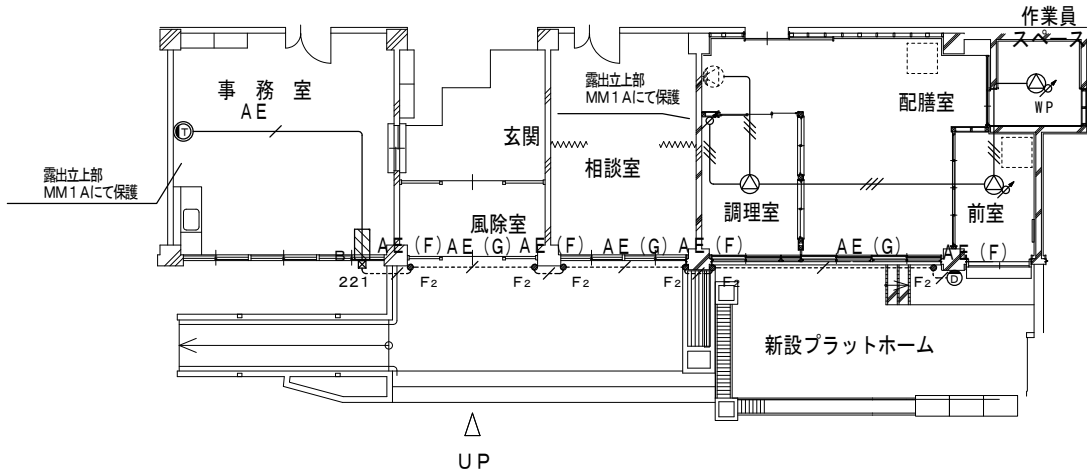


キープラン



6.000 4.000 4.000 6.750 4.500

校長室 職員室



事務室 AE 玄関 相談室 調理室 前室 配膳室 WP 作業員スペース

露出立上部 MM1Aにて保護

風除室 AE(F) AE(G) AE(F) AE(G) AE(F) AE(G) AE(F)

221 F2 F2 F2 F2 F2 F2

UP

新設プラットホーム

注 記	
1. 特記無き配線配管は、下記による。	
拡声設備	EM-HP 1. 2-3C
誘導支援設備	EM-AE1. 2-2C
	EM-AE1. 2-2C (G16)
	EM-AE1. 2-2C (F2 17WP)
テレビ共用受信設備	EM-SC-2E

ブルボックス寸法は下記による。	
mm	(m×100) W×(m×100) W×(n×100) H
特記無き露り露出型なし止め式とする。	
記号の末尾にCの記号を付記したものは隠ぺい部に取り付ける。	
記号の末尾にWPの記号を付記したものは屋外形とする。	
記号の末尾にSUSの記号を付記したものはステンレス製とする。	
記号の末尾にVの記号を付記したものは合成樹脂製とする。	

図記号	名 称	定 格	備 考
●	壁付スピーカー	SW1Hi-1V0	
●	天井スピーカー	SC4Hi-1V0-M	
●	天井スピーカー	SC4Hi-1V3-M	
●	アッテネーター	V-1S	
●	外壁貫通補修	φ100（壁・床共用）	

薄線は既存を示す。

（配膳室部）改修後1階拡声・誘導支援設備図 S=1/100

NOTE

工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877

縮尺 1/100(A1判) 1/200(A3判)

単位 MM

令和8年2月 作製

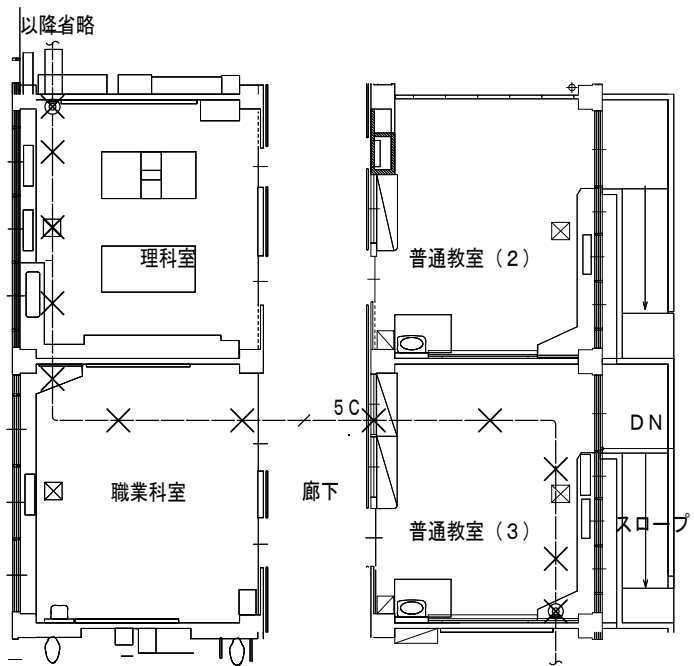
所 長 部 長 課 長 担 当 製 図 製 図

E 11

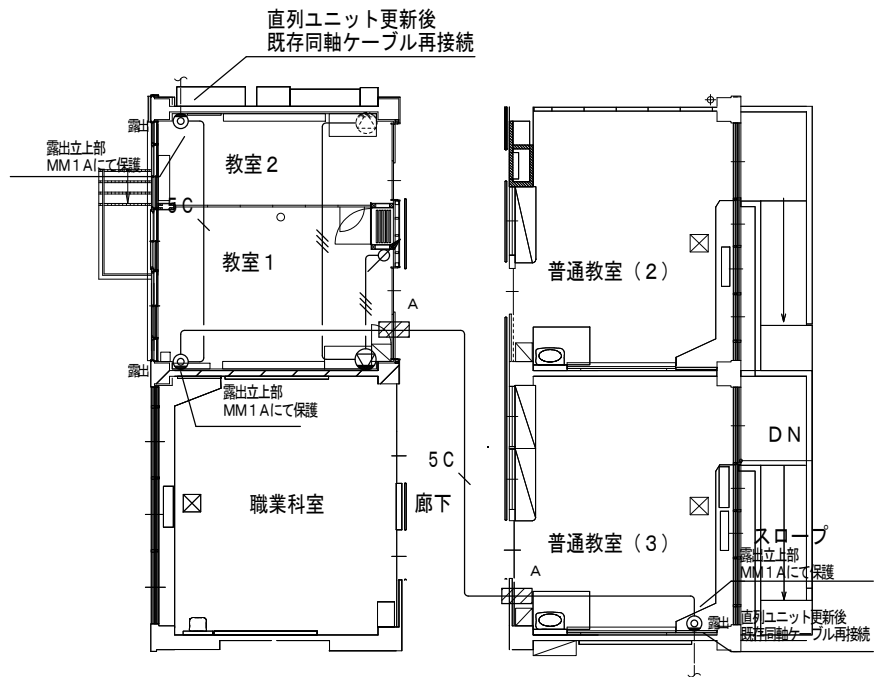
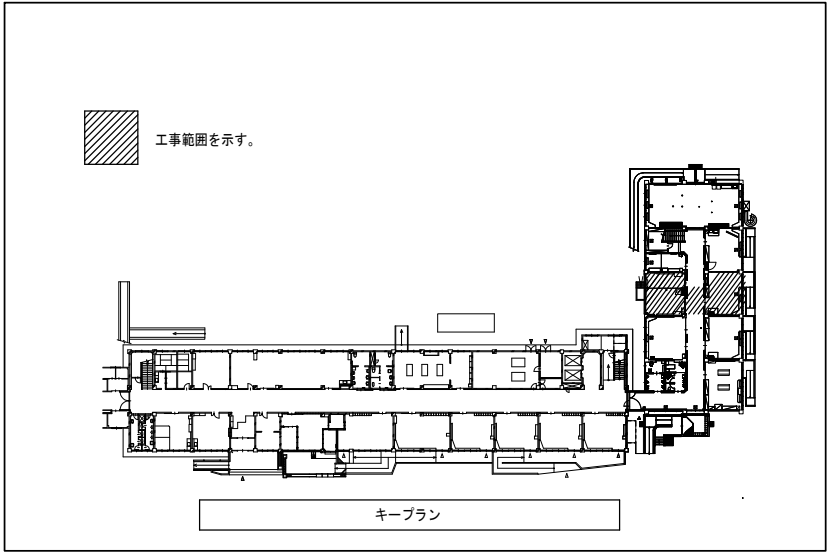
上野

図面名称 （配膳室部）改修後1階拡声・誘導支援設備図

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正



×印は撤去を示す。
(普通教室部) 改修前 1 階テレビ共同受信設備図 S=1/100



薄線は既存を示す。
(普通教室部) 改修後 1 階拡声・誘導支援・テレビ共同受信設備図 S=1/100

NOTE

工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事

縮尺 1/100 (A1判) 1/200 (A3判) 単位 MM

令和 8 年 2 月 作製

図面名称 (普通教室部改修前後) 1 階拡声・誘導支援・テレビ共同受信設備図

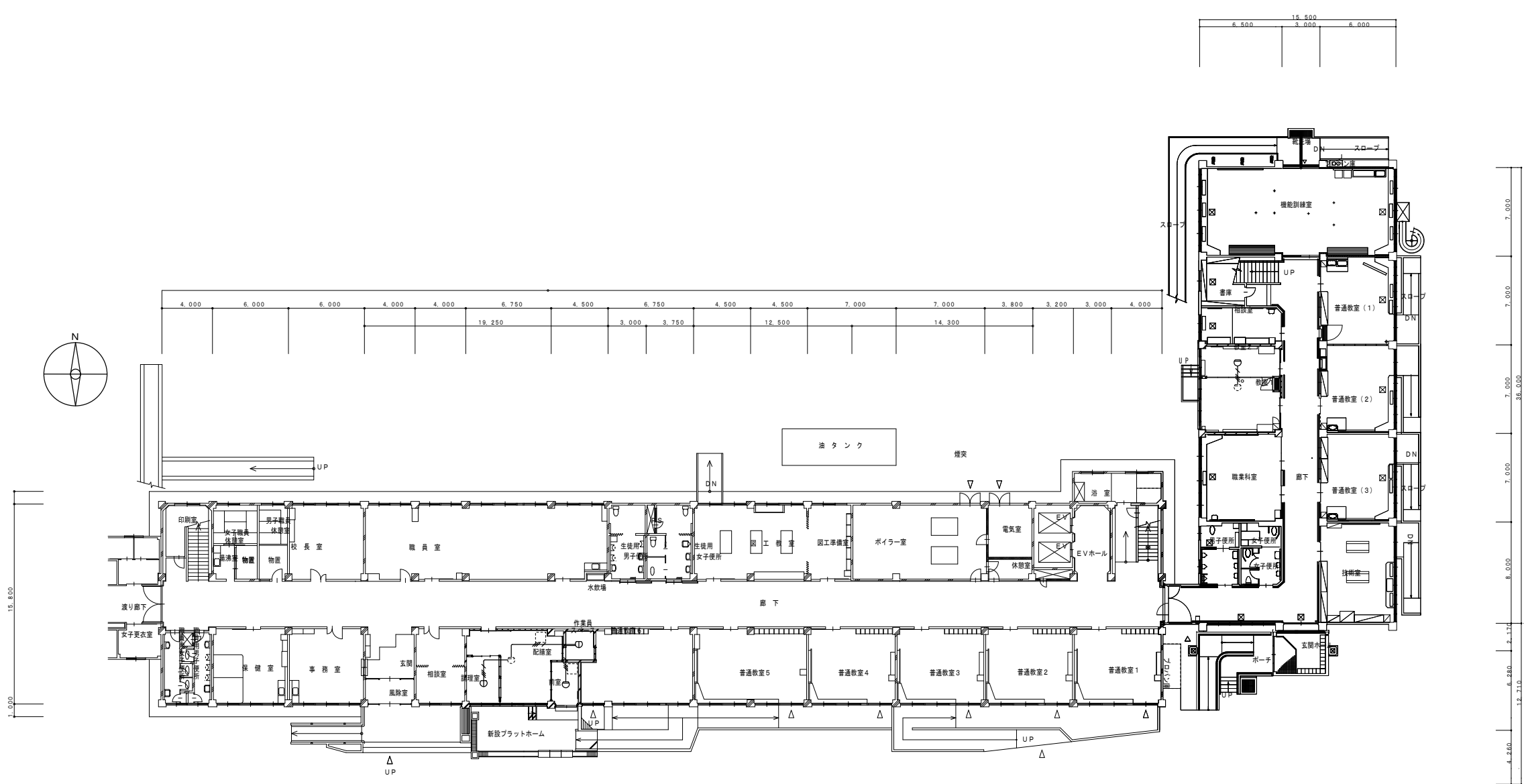
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017 (741) 6497 FAX 017 (742) 1877

所 長 部 長 課 長 担 当 製 図 製 図 (上野)

E 12

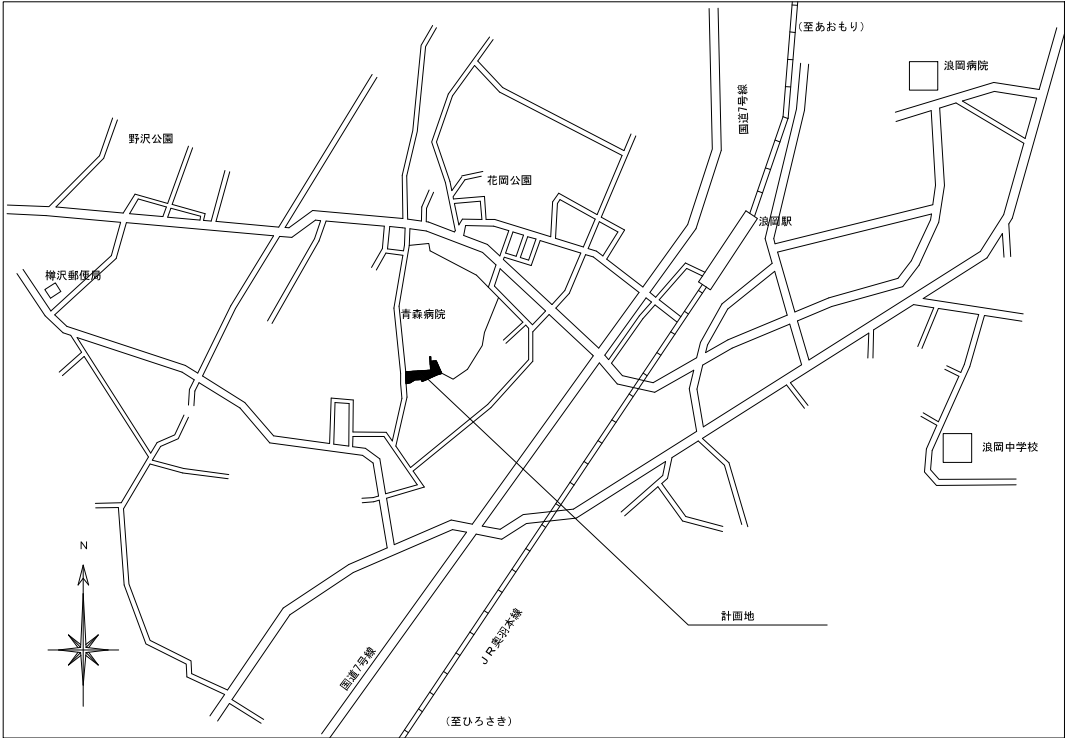
管理建築士 1 級建築士登録113986号 川島芳正



注 記	
1. 特記無き配線配管は、下記による。	
	EM-AE 0.9-4C

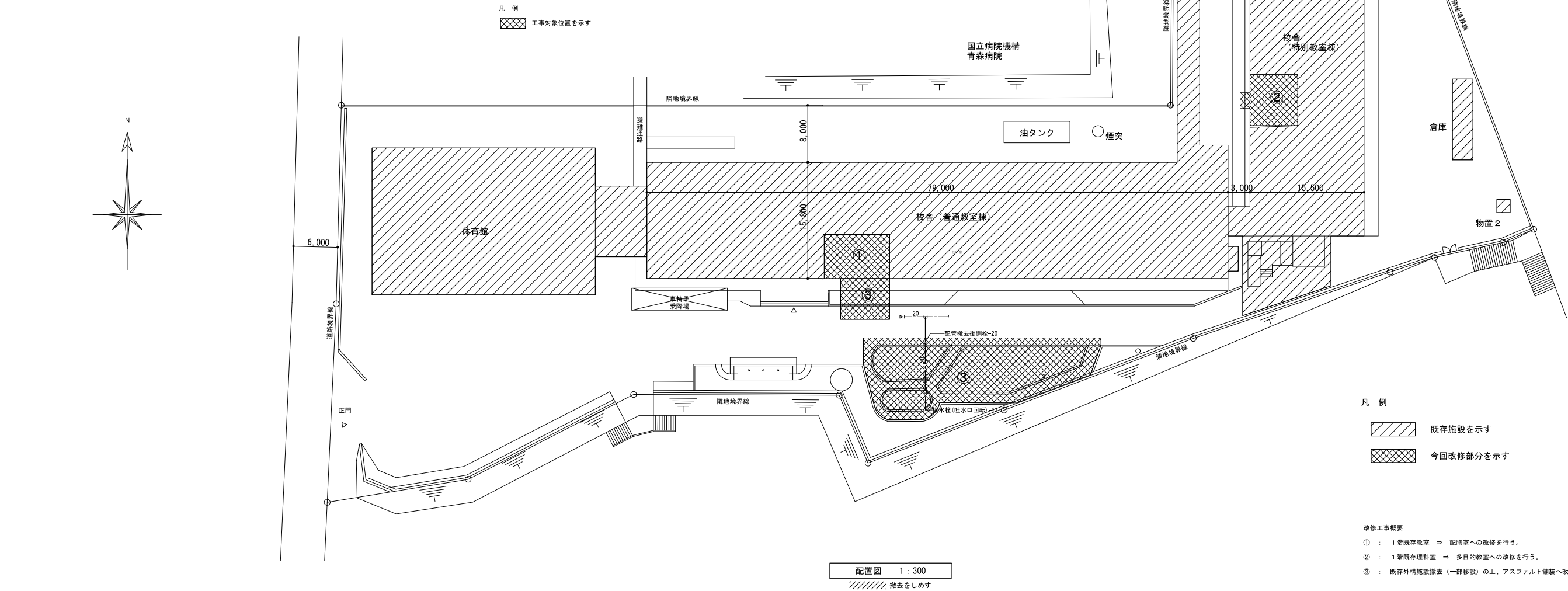
図記号	名 称	定 格
○	差動式スポット型感知器	2種 露出型
①	定温式スポット型感知器	1種 防水型

薄線は既存を示す。
1階自動火災報知設備図 S=1/200



案内図

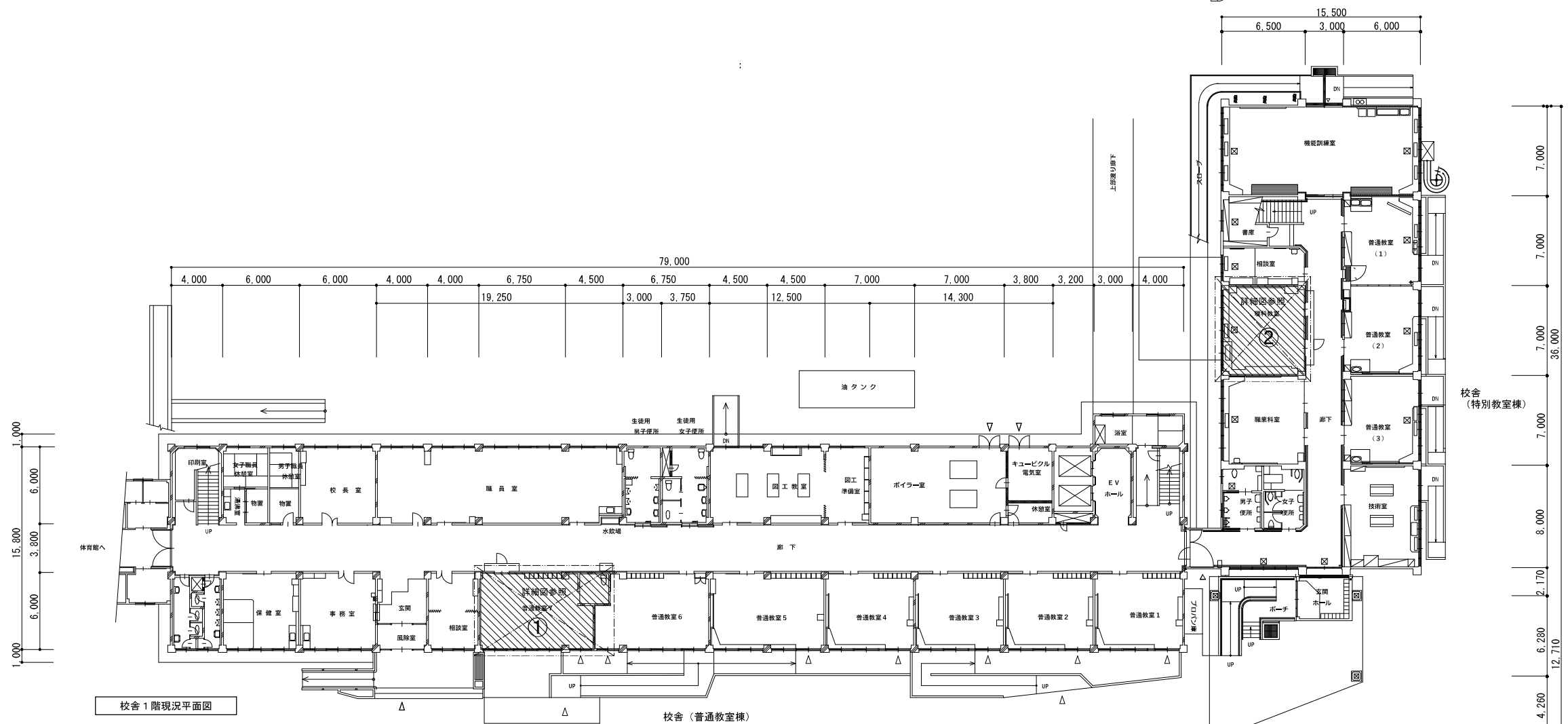
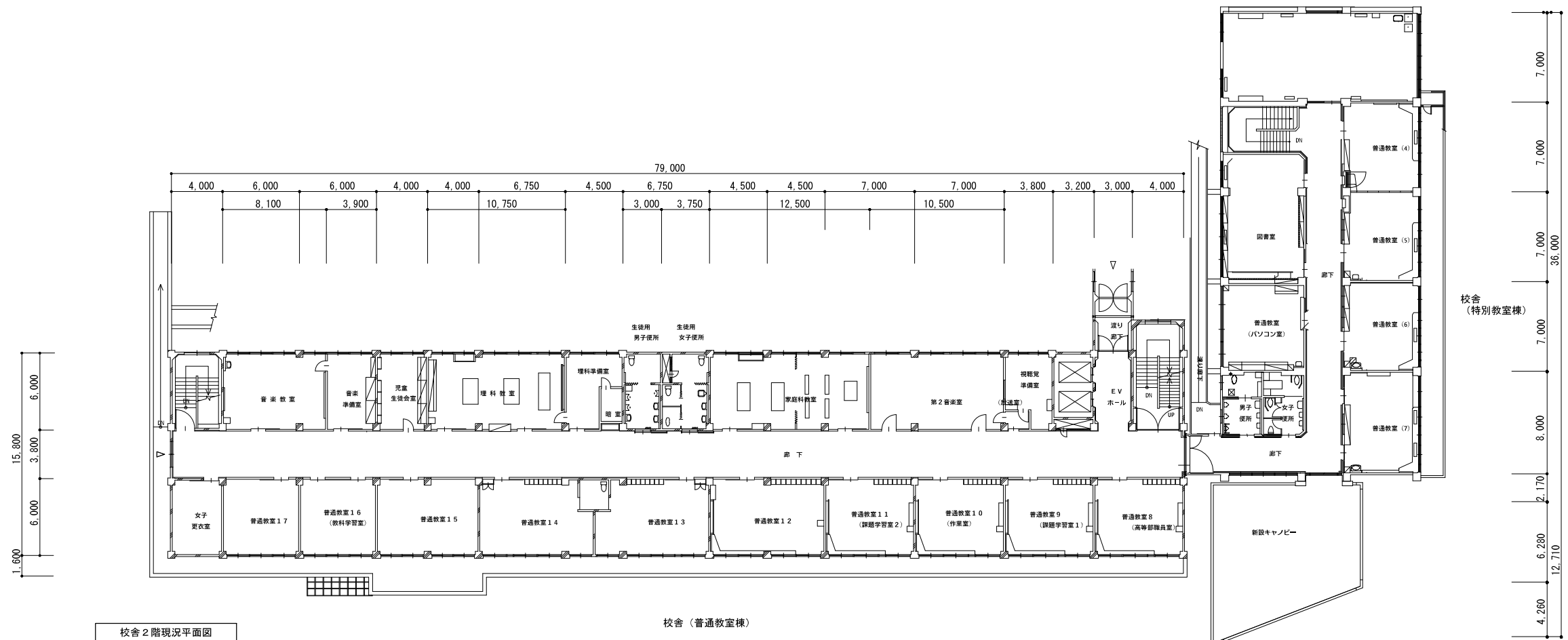
凡 例			
名 称	記 号	摘 要	備 考
冷 媒 管	——R——	一般 断熱被覆銅管 (断熱CUP) 屋 外 上記配管に化粧ダクトを施す。	
空 調 用 排 水 管	——D——	一般 硬質塩化ビニル管 (VP) 屋 外 硬質塩化ビニル管 (VP)	
給 水 管	—— -- ——	一般 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PB) 屋外露出 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PD) 屋外埋設 水道用ポリエチレン管 (PP)	
排 水 管	—————	一般 硬質塩化ビニル管 (VP)、耐火二層管 (FDVD) 埋設・ピット 硬質塩化ビニル管 (VP) 屋外埋設 硬質塩化ビニル管 (VP) ※150A以上はVU	
排 水 通 気 管	-----	一般 硬質塩化ビニル管 (VP)、耐火二層管 (FDVD)	
給 湯 管	——I——	一般 一般配管用ステンレス鋼管 (SU)	
仕 切 弁・逆 止 弁 Y 形 ス ト レ ー ナ		給 水 青銅製 (管端37付)・鉄鉄製 (ライニング) JIS10K 排 水 ステンレス製 JIS10K	
水 抜 栓		[図示による]	
床 上 掃 除 口		[図示による]	
排 水 金 物		[図示による]	
水 栓 類		[衛生器具表による]	
特 記 事 項 1. 上下水道工事に於いては、青森市水道事業者に準拠する。 2. 図面記載品番を参考とし、同等以上の仕様及び能力を有する機器・器具を使用する。 3. 給水設備の仕切弁・逆止弁及びストレーナー等に於いて、50A以下は青銅製管端コア付バルブを使用する。 4. 空調設備に於いては空調機器製造者の指導・監督の基に施工及び調整 (真空引き・冷媒補充を含む) を行う。 5. 天井・床点検口及び天井開口 (開口補強を含む) は建築工事とする。 6. 改修に伴う床解体復旧は建築工事とする。			




配置図 1: 300
撤去をしめす

- 凡 例
- 既存施設を示す
 - 今回改修部分を示す

- 改修工事概要
- ① : 1階既存教室 ⇨ 配膳室への改修を行う。
 - ② : 1階既存理科室 ⇨ 多目的教室への改修を行う。
 - ③ : 既存外構施設撤去 (一部移設) の上、アスファルト舗装へ改修を行う。



凡 例

 改修対象室位置を示す

① ー 普通教室（CR7）

② ー 理科教室

NOTE

工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877

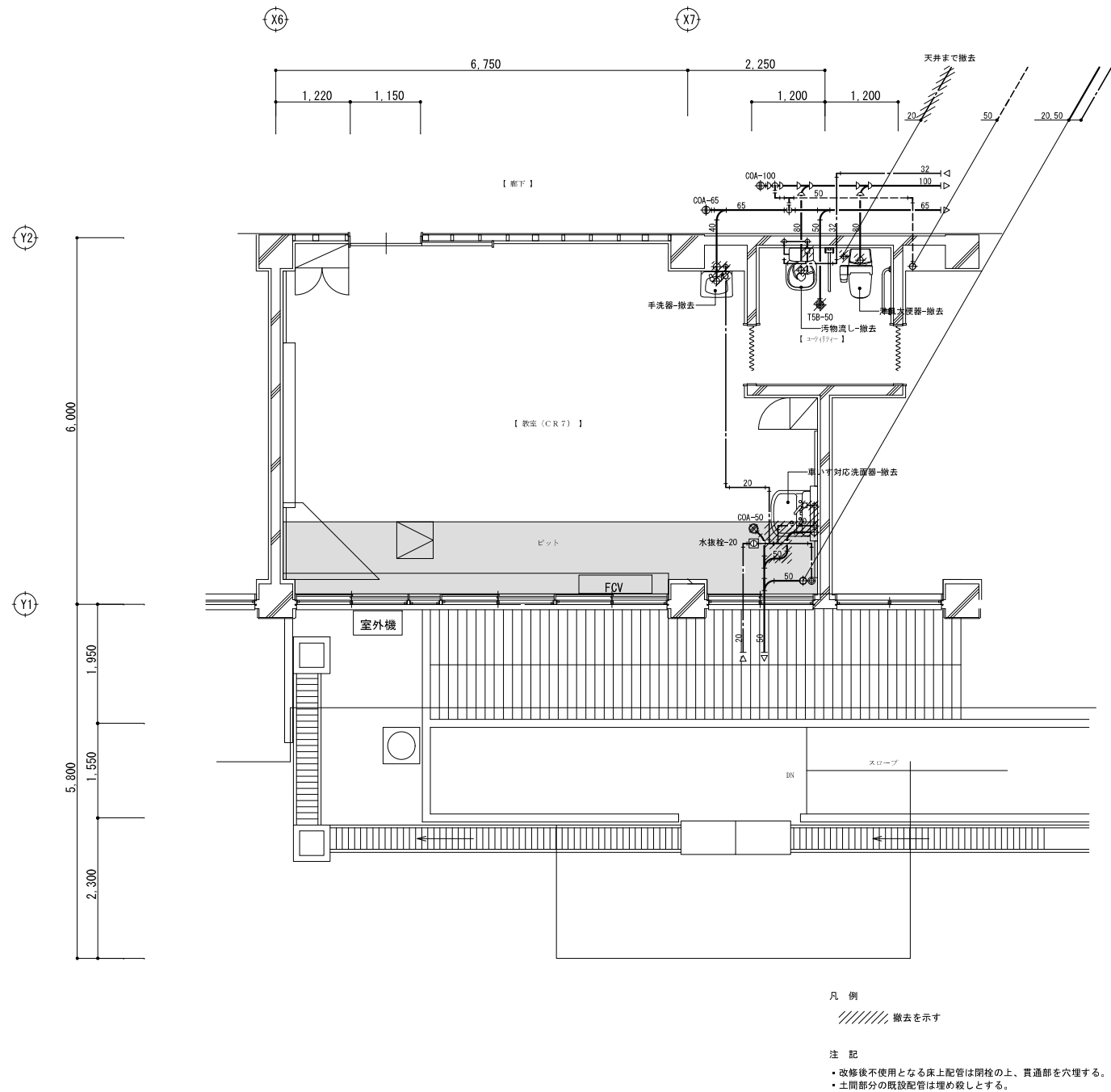
縮尺	A1=1 : 50 A3=1 : 100
----	-------------------------

単位 MM				
検 印			担 当	製 図
			山田	

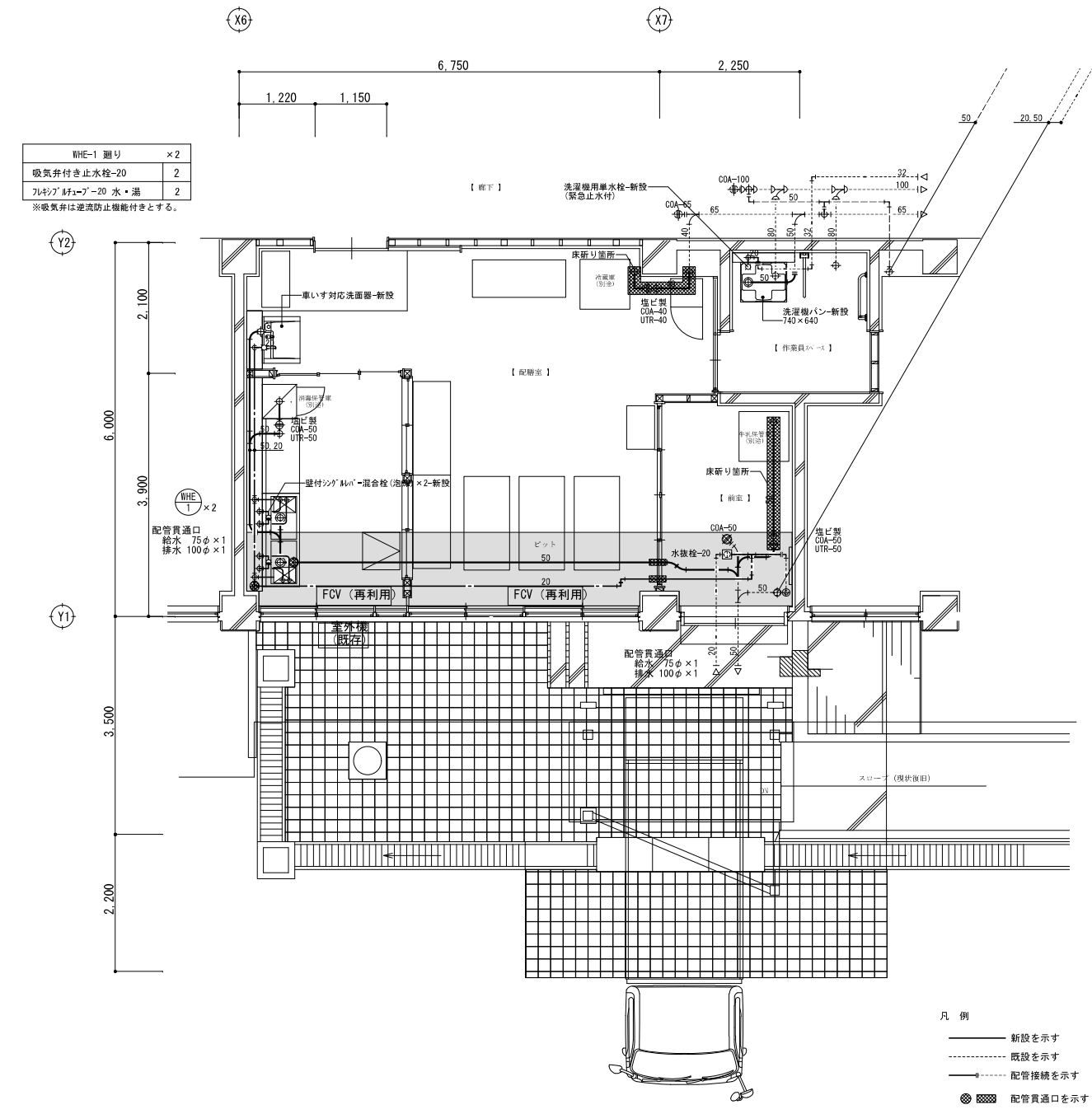
令和8年 2月 作製
M — 04

図面名称	機械設備	1階平面図
管理建築士	1級建築士登録第113986号	川島芳正

現況平面図（教室）



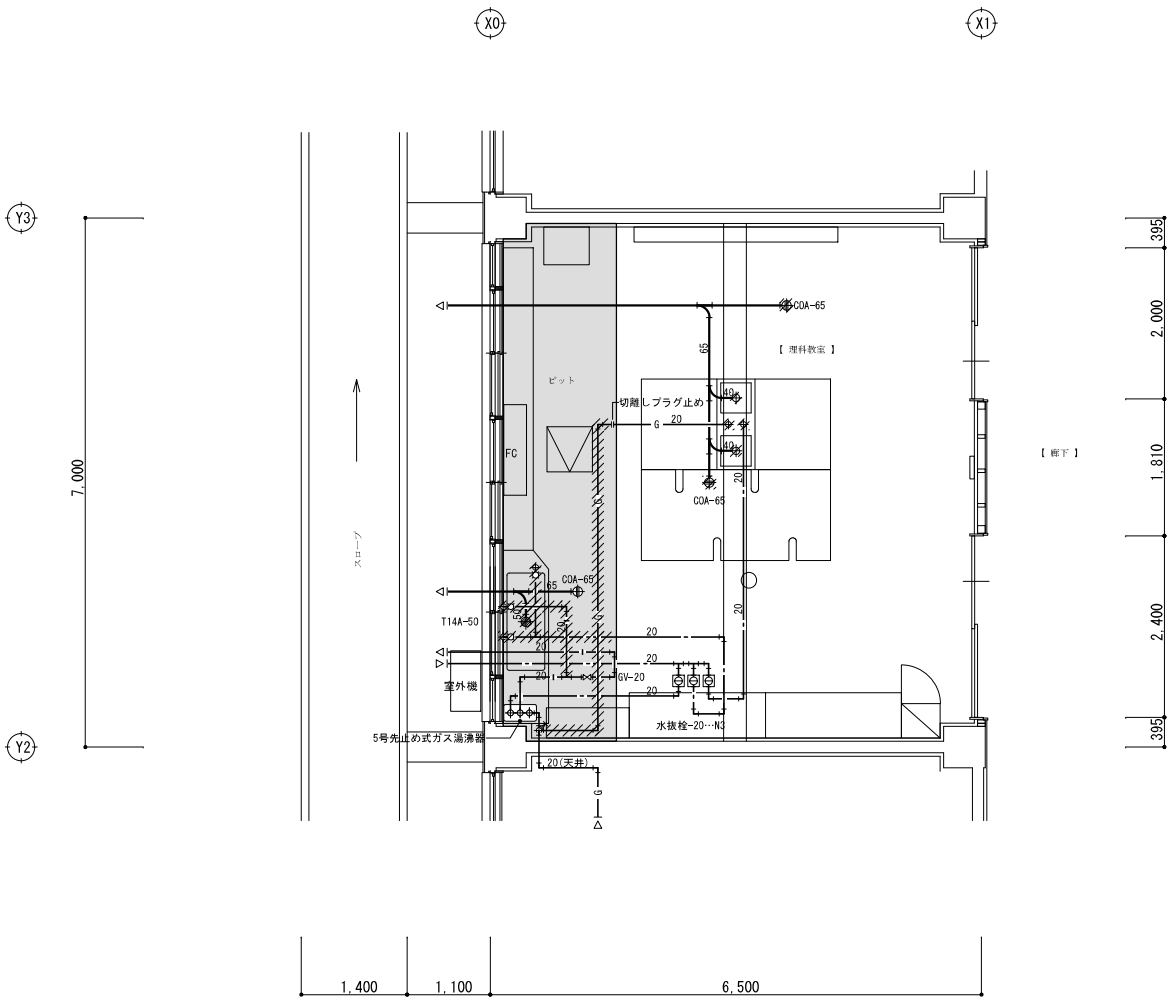
改修後 給排水衛生設備平面図（配膳室）



衛 生 機 器 表						
記 号	名 称	仕 様 及 び 付 属 品	電 気 容 量			備 考
			φ	V	kW	
WH-E-1	小 型 電 気 温 水 器	形 式 据置型貯湯式(飲料用、先止式) 仕 様 タンク容量 12L 通間9付付 沸き上り温度 60～90℃ 付属品 減圧弁・逃し弁内蔵、7/8付止水栓、排水器具、温度過昇防止器、他一式	1	200	1.50	2 1F～配膳室 参考型番 EHPN-KB12ECV3

衛 生 器 具 表						
名 称	参 考 型 式		仕 様 及 び 付 属 品	1 階	数 量	備 考
	LIXIL	TOTO		配 膳 室		
車 椅子 対 応 洗 面 器 [新 設]	DCXC-755SYN(P)	LDSML075BUDFY1	合付シャワー付混合栓、7/8付止水栓×2、壁給水、壁排水	1	1	

現況平面図（理科教室）

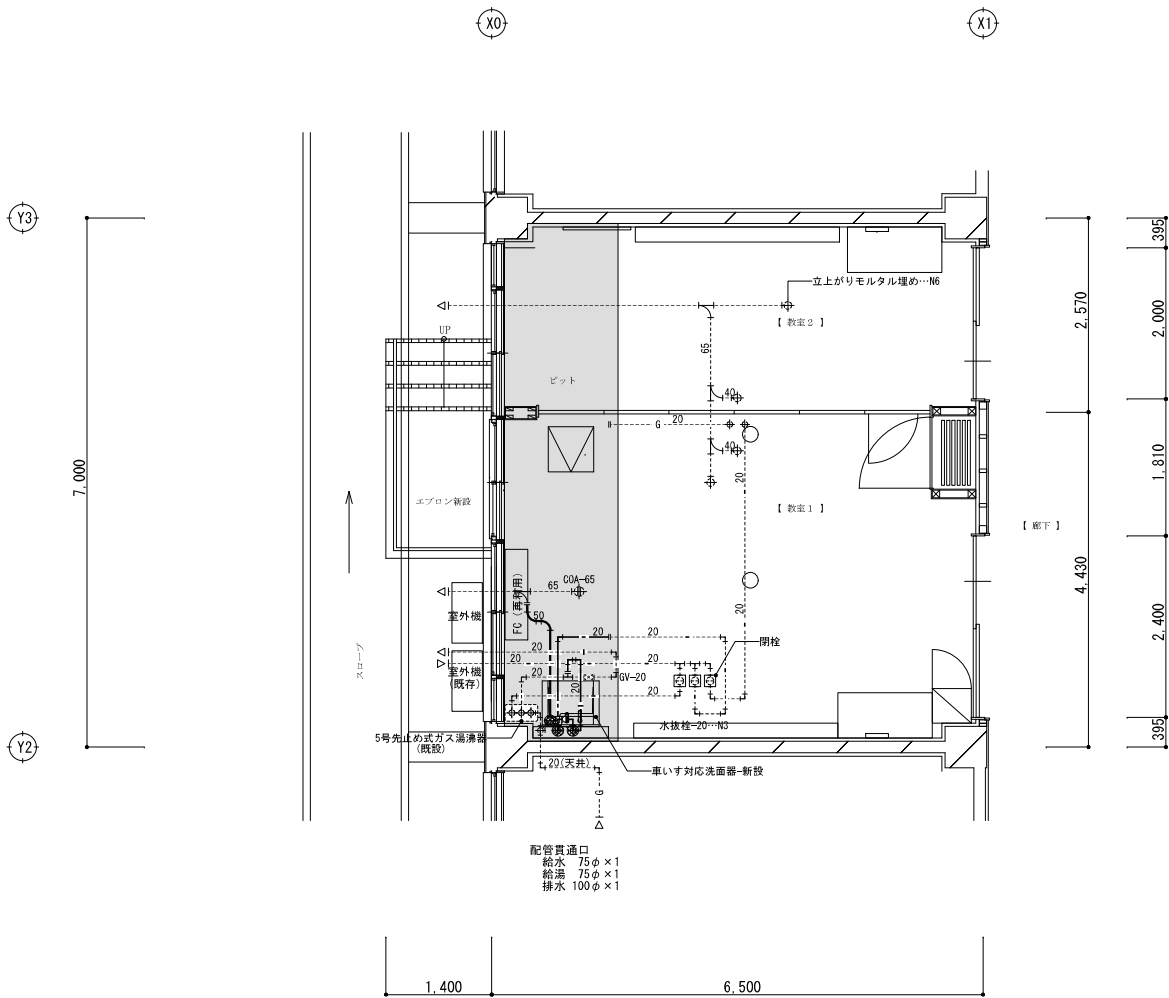


凡 例
撤去を示す
注 記
改修後不使用となる床上配管は閉栓の上、貫通部を穴埋する。
土間部分の既設配管は埋め殺しとする。

衛 生 器 具 表

名 称	参 考 型 式		仕 様 及 び 付 属 品	1 階		備 考
	LIXIL	TOTO		理 料 室	数 量	
立 形 自 在 水 栓 [撤 去]	LF-14F-13-U	T136SUNR13C	立水栓	3	3	

改修後 給排水衛生設備平面図（普通教室）



凡 例
新設を示す
既設を示す
配管接続を示す
配管貫通口を示す

衛 生 器 具 表

名 称	参 考 型 式		仕 様 及 び 付 属 品	1 階		備 考
	LIXIL	TOTO		散 室	数 量	
車 椅子 対 応 洗 面 器 [新 設]	DCX0-755SYW(P)	LDSML075BUDFY1	台付シャワー付混合栓、フッ素止水栓×2、壁給水、壁排水	1	1	

NOTE

工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877

縮尺 A1=1:50
A3=1:100

単位 NM

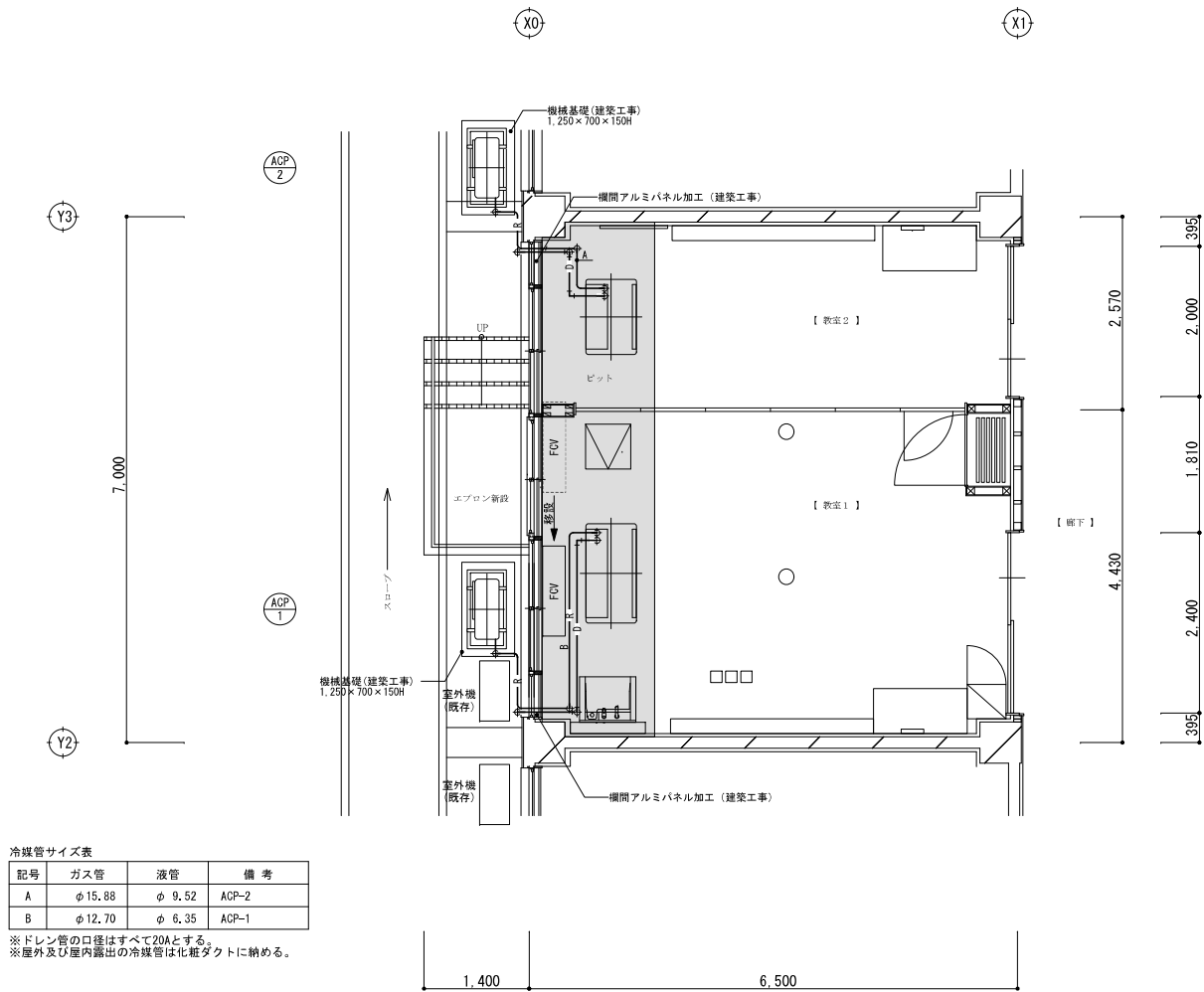
令和8年 2 月 作製

図面名称 給排水衛生設備 平面詳細図 2

M — 0 6

管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正

改修後 空氣調和設備平面図（普通教室）



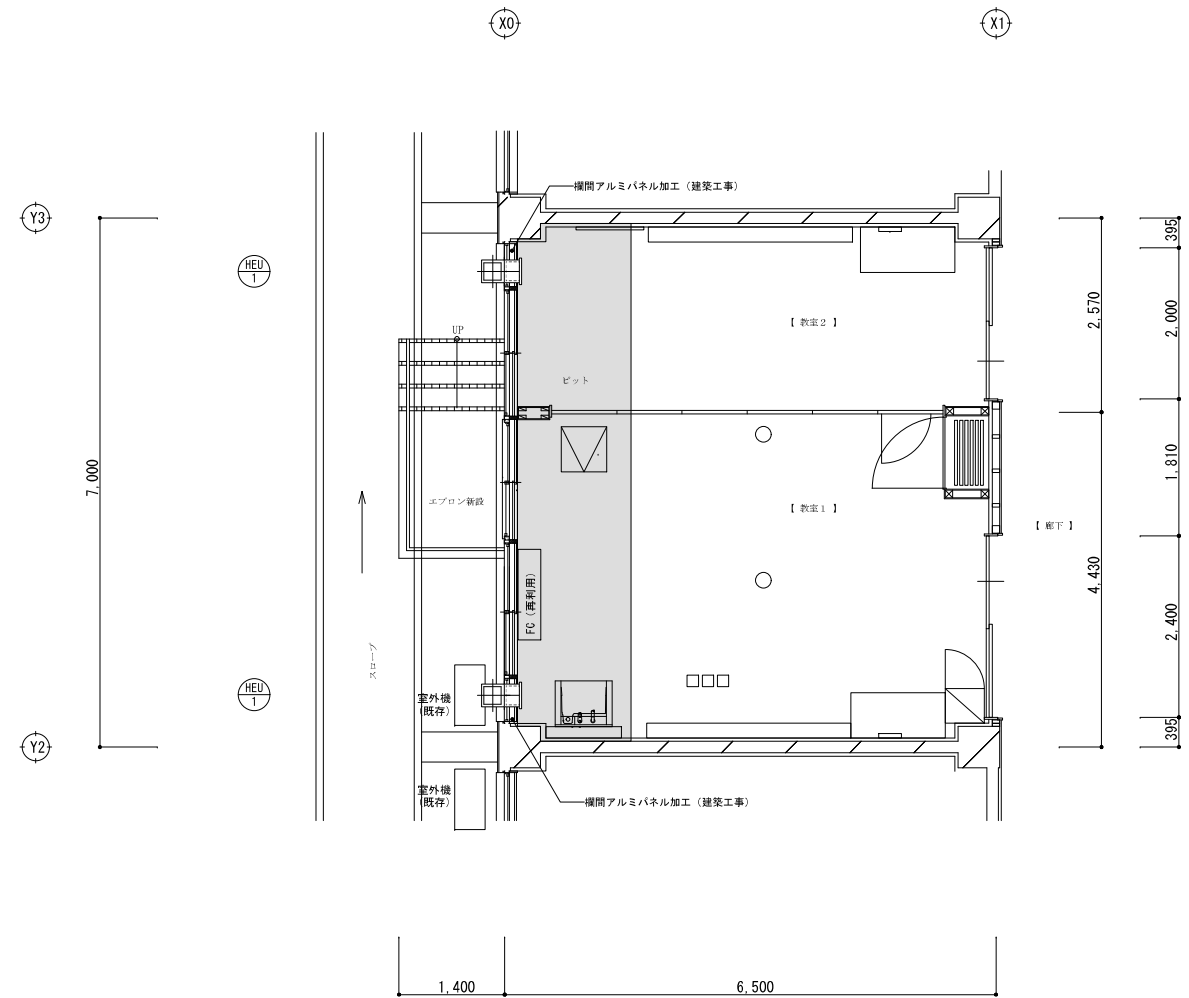
記号	ガス管	液管	備 考
A	φ 15.88	φ 9.52	ACP-2
B	φ 12.70	φ 6.35	ACP-1

※ドレン管の口径はすべて20Aとする。
※屋外及び屋内露出の冷媒管は化粧ダクトに納める。

空 調 機 器 表

記号	名 称	仕 様 と し て の 主 要 な 技 術 的 特 徴	電気容量 kW				数 量	設 置 場 所	備 考
			φ	V	定格	極低温			
ACP-1 [新設]	パッケージエアコン	形 式 空冷ヒートポンプ式（天吊露出シグナル）耐障害仕様 仕 様 冷房能力：5.6kW(JIS) 暖房能力：6.3kW(JIS) 圧縮機：1.05kW INV始動 付属品 クレジットカード、受光部コード、ドレンアップ材、転倒防止金具。 鋼製架台(溶融亜鉛メッキ/床置用800H)、鋼製屋根、他一式	3	200	1.35		1	1F=教室1	参考型番 RPO-GP63RSH11
ACP-2 [新設]	パッケージエアコン	形 式 寒冷地向け空冷ヒートポンプ式（天吊露出シグナル）耐障害仕様 仕 様 冷房能力：3.6kW(JIS) 暖房能力：4.0kW(JIS) 圧縮機：0.55kW INV始動 付属品 クレジットカード、受光部コード、ドレンアップ材、転倒防止金具。 鋼製架台(溶融亜鉛メッキ/床置用800H)、鋼製屋根、他一式	3	200	0.89	1.61	1	1F=教室2	参考型番 RPO-GP40RSH11

改修後 換氣設備平面図（普通教室）



換氣機器表

記 号	名 称	仕 様 及 び 付 属 品	電 気 容 量			数量	設 置 場 所	備 考
HEU-1	熱 交 換 気 ユ ニ ッ ト	形 式 壁埋込形(寒冷地仕様)				2	1F- 教室1, 教室2	参考型番 VL-12RX3-D
[新設]		仕 様 300□×100m3/h (弱)65m3/h	1	100	30.0			
		付属品 ヲイロシメコン、SUS製パイプ→パイプ(寒冷地用)、取付枠、他一式						

NOTE

工事名称 浪岡養護学校配膳室設置転用改修工事

縮尺	A1=1 : 50 A3=1 : 100
----	-------------------------

單位 MM

令和8年 2月 作製

図面名称 空気調和設備・換気設備 平面詳細図

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877

M — 07

管理建築士 1級建築士登録第113986号 川島芳正